

使用説明書

〈スキャナー機能編〉



-
- 1** 読み取った文書をメールで送信する
 - 2** 読み取った文書をフォルダーに送信する
 - 3** スキャナー機能を使って文書を蓄積する
 - 4** 読み取った文書を外部メディアに保存する
 - 5** ネットワークTWAINスキャナーで文書を読み取る
 - 6** いろいろな読み取りの設定
 - 7** スキャナー初期設定
 - 8** 付録
-

ご使用の前に、この使用説明書を最後までよくお読みの上、正しくお使いください。また、この使用説明書が必要になったとき、すぐに利用できるように保管してください。安全に正しくお使いいただくために、操作の前には必ず『本機をお使いになる方へ』「安全上のご注意」をお読みください。

目次

使用説明書の紹介	6
はじめに	8
複製、印刷が禁止されているもの	8
この本の読みかた	9
正しくお使いいただくために	9
マークについて	9
本書についてのご注意	10
おもなオプションと略称	10
スキャナー機能について	11
画面について	13
簡単画面について	13
確認画面について	14
原稿の読み取り開始方法について	20
1. 読み取った文書をメールで送信する	
メール送信をする前に	21
メール送信の概要	21
メール送信するための準備について	22
メールアドレスのアドレス帳への登録について	24
メール送信画面について	25
基本的なメール送信の操作手順	28
メール送信画面に切り替える	31
メール送信先を指定する	32
本機のアドレス帳に登録されている送信先を選択するとき	32
メールアドレスを直接入力するとき	35
宛先履歴から送信先を選択するとき	36
LDAP サーバーから送信先を検索して選択するとき	37
直接入力した宛先をアドレス帳に登録する	40
宛先履歴からメールアドレスをアドレス帳に登録する	41
メール送信者を指定する	43
送信者一覧から送信者を選択するとき	43
登録番号を入力して送信者を選択するとき	44
本機のアドレス帳から送信者を検索して選択するとき	44
メールの件名を入力する	47

メールの本文を入力する	48
本文を一覧から選択するとき	48
本文を直接入力するとき	49
メール送信と蓄積を同時に使う	50
メールにセキュリティーの設定をする	52
メールを暗号化して送信する	52
メールに署名して送信する	53
URL アドレスをメール送信する	55
2. 読み取った文書をフォルダーに送信する	
フォルダー送信をする前に	57
フォルダー送信の概要	57
フォルダー送信するための準備について	59
送信先フォルダーのアドレス帳への登録について	66
フォルダー送信画面について	67
基本的なフォルダー送信の操作手順	70
フォルダー送信画面に切り替える	73
フォルダー送信先を指定する	74
本機のアドレス帳に登録されている送信先を選択するとき	74
ネットワーク上の共有フォルダーに送信するとき	77
FTP サーバーに送信するとき	81
NetWare サーバーに送信するとき	83
宛先履歴から送信先を選択するとき	86
指定した送信先のパスをアドレス帳に登録する	87
宛先履歴から送信先のパスをアドレス帳に登録する	88
フォルダー送信と蓄積を同時に使う	90
3. スキャナー機能を使って文書を蓄積する	
蓄積をする前に	91
スキャナー機能を使った蓄積の概要	91
基本的な蓄積の操作手順	93
文書情報を設定する	95
ユーザー名を設定する	95
文書名を設定する	95
パスワードを設定する	96

蓄積した文書の一覧表示について.....	98
一覧画面について.....	98
一覧画面から目的の文書を検索する.....	99
蓄積文書を確認する.....	102
一覧画面から蓄積文書を確認する.....	102
クライアントコンピューターから蓄積文書を確認する.....	104
蓄積文書を送信する.....	106
蓄積されている文書を送信する.....	106
蓄積文書の管理.....	108
蓄積文書を消去する.....	108
蓄積文書の文書情報を変更する.....	109
4. 読み取った文書を外部メディアに保存する	
メディアに読み取った文書を保存する前に.....	113
メディア保存の概要.....	113
基本的なメディア保存の操作手順.....	115
5. ネットワーク TWAIN スキャナーで文書を読み取る	
TWAIN スキャナーを使用する前に.....	119
TWAIN スキャナーの概要.....	119
TWAIN スキャナーを使うための準備について.....	120
付属 CD-ROM から TWAIN ドライバーをインストールする.....	122
TWAIN スキャナーの使いかた.....	124
TWAIN スキャナー使用時の読み取りの設定.....	125
TWAIN スキャナー使用時の原稿セット方向を設定する.....	125
6. いろいろな読み取りの設定	
読み取り条件を設定する.....	127
読み取り条件の設定項目.....	128
原稿種類.....	128
解像度.....	128
読み取りサイズ.....	129
編集.....	129
不定形サイズの原稿を読み取る.....	130
不定形サイズの原稿の全面を読み取る場合.....	130
不定形サイズの原稿の一部分を読み取る場合.....	132

不定形サイズで原稿を読み取る場合の原稿のセットのしかた	134
読み取り濃度を調整する	136
次原稿を待機する	137
原稿送りについて設定する	138
原稿セット方向	138
複数枚の原稿を 1 つの文書として読み取る	140
原稿追加に時間制限を設ける時	140
原稿追加に時間制限を設けないとき	141
ファイル形式とファイル名を設定する	143
ファイル形式を設定する	143
ファイル名を設定する	145
PDF ファイルにセキュリティーを設定する	147
プログラム	152
よく使う設定を登録する	152
登録内容を呼び出す	153
登録されている内容を変更する	153
登録されている内容を消去する	154
プログラムの登録名称を変更する	154
スキャナー初期画面に表示される機能を変更する	156

7. スキャナー初期設定

初期設定を変更する	157
初期設定の変更	157
初期設定の終了	158
基本設定	159
読み取り設定	161
送信設定	162
導入設定	165

8. 付録

解像度と読み取りサイズの関係	167
メール送信、フォルダー送信、蓄積機能を使用するとき	167
TWAIN スキャナーとして使用するとき	170
CD-ROM 収録ソフトウェア	174
オートランプログラムについて	174

TWAIN ドライバー（スキャナードライバー）	174
送信/蓄積機能の各設定項目の値.....	176
送信機能.....	176
蓄積機能.....	178
仕様.....	179
リサイクル部品について.....	181
商標.....	182
索引.....	185

使用説明書の紹介

本機には紙の使用説明書と画面で見る使用説明書(PDF)が用意されています。画面で見る使用説明書は付属のCD-ROM⑤に収録されています。説明書の開きかたや使いかたについては、『本機をお使いになる方へ』「画面で見る使用説明書の使いかた」を参照してください。

以下は本機で用意されている説明書の一覧です。

本機をお使いになる方へ (img alt="book icon" data-bbox="345 258 365 278")

「安全上のご注意」について記載しています。本機のご利用前に必ずお読みください。

また、本機で使用できる機能の概要、機械を使うための準備、操作部の説明、文字入力方法、付属のCD-ROMのインストール方法、消耗品の交換などについても説明しています。

トラブル解決編 (img alt="book icon" data-bbox="275 366 295 386")

困ったときの対処方法などについて説明しています。

コピー機能&ドキュメントボックス機能編 (⑥)

コピーを使うための設定、機能と操作方法、原稿の設定方法について説明しています。また、ドキュメントボックスの使用方法についても説明しています。

プリンター機能編 (⑦)

プリンターを使うための設定、機能と操作方法について説明しています。

スキャナー機能編 (⑧)

スキャナーを使うための設定、機能と操作方法について説明しています。

ネットワーク&システム初期設定編 (⑨)

ネットワーク環境で使う方法、機器の接続方法、および付属のCD-ROMに収録されたソフトウェアを使う方法について説明しています。また、システム初期設定の変更方法やアドレス帳の登録方法についても説明しています。

セキュリティー編 (img alt="book icon" data-bbox="305 662 325 682")

管理者向けの説明書です。本機のセキュリティー機能を活用することにより、機器の不正使用、データ改ざん、情報漏洩などを未然に防止することができます。

セキュリティー強化のために、最初に下記の設定を行うことをお勧めします。

- ・機器証明書を導入する
- ・SSLを有効にする
- ・Web Image Monitorで、管理者のユーザー名とパスワードを変更する

詳しくは、『セキュリティー編』「まずははじめに」を参照してください。

セキュリティー強化機能や認証の設定を行うときには必ずお読みください。

PostScript 3 編 (◎)

PostScript 3 エミュレーションを使用して印刷するための設定や操作方法について説明しています。

RP-GL/2 編 (◎)

RP-GL/2 エミュレーションを使用して印刷するための設定や操作方法について説明しています。

RTIFF 編 (◎)

RTIFF エミュレーションを使用して印刷するための設定や操作方法について説明しています。

その他の使用説明書

- クイックガイド (BOOK)

▼ 補足

- PDF 形式の使用説明書をご覧になるには、Adobe Acrobat Reader/Adobe Reader が必要です。
- 使用説明書の分冊により、提供形態が異なります。
- RPDL エミュレーションについては、販売店にご確認ください。

はじめに

複製、印刷が禁止されているもの

この本の読みかた

この説明書の読みかたや、使われているマークについて説明します。

正しくお使いいただくために

この使用説明書は、製品の正しい使い方や使用上の注意について記載してあります。ご使用の前に、この使用説明書を最後までよくお読みの上、正しくお使いください。また、この使用説明書が必要になったとき、すぐに利用できるように保管してください。

安全に正しくお使いいただくために、操作の前には必ず『本機をお使いになる方へ』「安全上のご注意」をお読みください。

マークについて

本書で使われているマークには次のような意味があります。

★ 重要

機能をご利用になるときに留意していただきたい項目を記載しています。紙づまり、原稿破損、データ消失などの原因になる項目も記載しているので、必ずお読みください。

↓ 補足

機能についての補足項目、操作を誤ったときの対処方法などを記載しています。

□ 参照

説明、手順の中で、ほかの記載を参照していただきたい項目の参照先を示しています。

各タイトルの一番最後に記載しています。

[]

キーとボタンの名称を示します。

『』

本書以外の分冊名称を示します。

本書についてのご注意

おもなオプションと略称

おもなオプションの名称と、本文中で使用している略称を示します。

商品名	略称
拡張無線 LAN ボード タイプ 7	拡張無線 LAN ボード
メディアスロット タイプ W7	メディアスロット

 **補足**

- その他のオプションについては『本機をお使いになる方へ』「おもなオプションと略称」を参照してください。

スキャナー機能について

本機のスキャナー機能を利用してできることを説明します。

本機のスキャナー機能を利用すると、読み取った文書をコンピューターへ送信したり、TWAIN ドライバーを使用してコンピューターから読み取りを指示したり、本機のハードディスクに文書を蓄積したりできます。

各機能については、それぞれの章を参照してください。

本機から文書を送信する（ネットワークスキャナー）

本機で読み取った文書を、用途や環境に合わせた方法でパソコンに送信・保存できます。

- メール送信

読み取った文書を、指定したメールアドレスに送信できます。

1章「読み取った文書をメールで送信する」を参照してください。

- フォルダー送信

読み取った文書を、ネットワーク上の共有フォルダーや FTP サーバー、NetWare サーバーに直接保存できます。

2章「読み取った文書をフォルダーに送信する」を参照してください。

クライアントコンピューターからスキャナーを使用する

- TWAIN スキャナー

TWAIN ドライバーから読み取りを実行し、文書を読み取ります。

6章「ネットワーク TWAIN スキャナーで文書を読み取る」を参照してください。

文書を蓄積する

読み取った文書を本機のハードディスクに保存したり、外部メディアに保存できます。

- 本機に蓄積

本機に蓄積した文書は、共有フォルダーへの保存やメール送信など、さまざまな用途に活用できます。

3章「スキャナー機能を使って文書を蓄積する」を参照してください。

- 外部メディアに保存

読み取った文書を、USB メモリーや SD カードのメディアに保存できます。

4章「読み取った文書を外部メディアに保存する」を参照してください。

↓ 補足

- 本機のスキャナー機能は、ネットワーク接続環境でのみ利用できます。USB 接続環境では利用できません。

 参照

- P.21 「読み取った文書をメールで送信する」
- P.57 「読み取った文書をフォルダーに送信する」
- P.119 「ネットワーク TWAIN スキャナーで文書を読み取る」
- P.91 「スキャナー機能を使って文書を蓄積する」
- P.113 「読み取った文書を外部メディアに保存する」

画面について

簡単画面と3つの確認画面（設定確認画面、プレビュー画面、送信結果表示/送信中止画面）について説明します。

メール送信画面、フォルダー送信画面、蓄積文書の一覧画面については、それぞれの章で説明しています。「メール送信画面について」、「フォルダー送信画面について」、「蓄積した文書の一覧表示について」を参照してください。

参考

- P.25 「メール送信画面について」
- P.67 「フォルダー送信画面について」
- P.98 「蓄積した文書の一覧表示について」

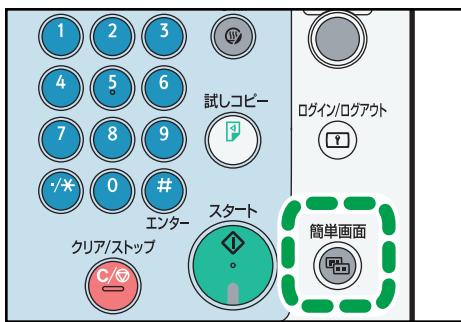
簡単画面について

簡単画面への切り替え方法や、表示されるキーについて説明します。

簡単画面とは、主な機能のみを表示した画面です。

【簡単画面】 キーを押すと、スキャナー初期画面から簡単画面に切り替わります。

文字サイズとキーサイズが拡大され、より簡単に操作することができます。



BUX012

メール送信簡単画面



1

BA0003S

1. [キー色反転]

キーの色を変更し、画面のコントラストを強めたいときに押します。
スキャナー初期画面には適用されません。

補足

- スキャナー初期画面に切り替えたいときは、再度 [簡単画面] キーを押してください。
- 簡単画面では表示されないキーがあります。

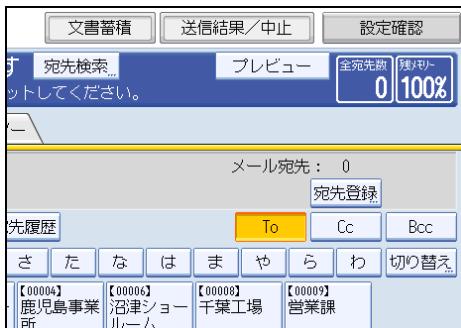
確認画面について

設定確認画面、プレビュー画面、送信結果表示/送信中止画面について説明します。

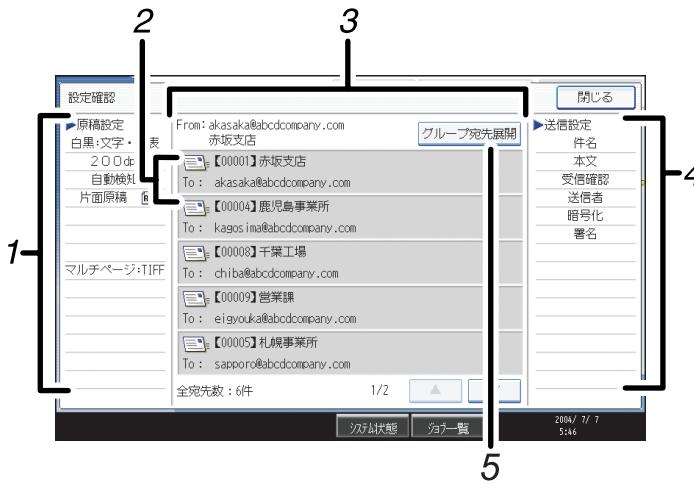
設定確認画面について

設定確認画面とは、原稿読み取りの設定と送信の設定を確認できる画面です。

[設定確認] を押すと、スキャナー初期画面から設定確認画面に切り替わります。



設定確認画面



1. 原稿設定

読み取り条件や原稿送りなどの読み取り時の設定が表示されます。

2. 送信機能アイコン

設定した送信機能のアイコンが表示されます。

グループの宛先には、グループを示すマーク (👥) が表示されます。

暗号化してメール送信できる宛先には、暗号化できることを示すマーク (🔒) が表示されます。

3. 送信者と送信先

指定した送信者と送信先が表示されます。

4. 送信設定

送信者や件名などの送信時の設定が表示されます。

セキュリティー（暗号化・署名）の設定も確認できます。

5. [グループ宛先展開]

グループに含まれる宛先を一覧表示できます。

プレビュー画面について

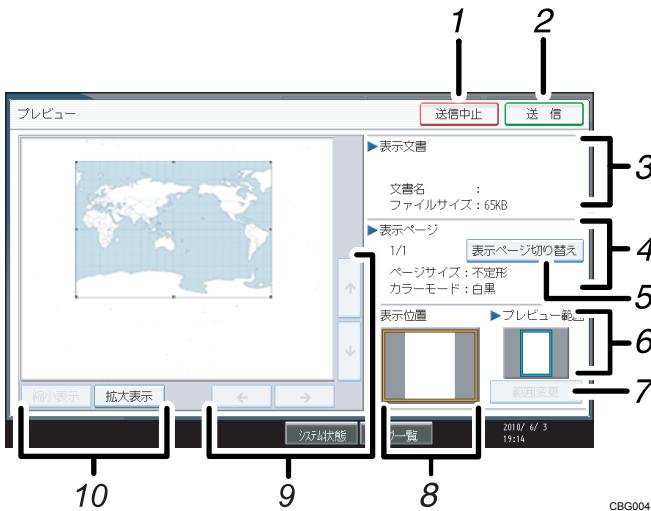
プレビュー画面とは、読み取った文書の内容を確認する画面です。

ここでは、メール送信、フォルダー送信前に確認するプレビュー画面について説明します。

読み取り前に [プレビュー] を押し、反転されている状態で読み取りを開始すると、プレビュー画面が表示されます。

読み取り内容を確認した後で送信、または送信を中止できます。

プレビュー画面



1. [送信中止]

プレビュー画面を閉じて送信を中止します。

2. [送信]

プレビュー画面を閉じて送信します。

3. 表示文書

文書名、ファイルサイズが表示されます。

4. 表示ページ

表示ページ番号と総ページ数、ページサイズ、カラーモードが表示されます。

5. [表示ページ切り替え]

選択した文書の表示ページを変更します。

6. プレビュー範囲

原稿のどの部分をプレビュー表示しているかが表示されます。

A2 または 457mm×609mm より大きいサイズの場合、原稿のすべての領域はプレビュー表示されず、特定した位置、サイズ、向きで切り出した画像が表示されます。

切り出し位置は [範囲変更] ボタンから設定できます。

7. [範囲変更]

A2 または 457mm×609mm より大きいサイズの場合、プレビュー表示させる原稿の位置、サイズ、向きを変更できます。

8. 表示位置

画像を拡大したときに、文書に対して表示されている位置が表示されます。

9. [←] [→] [↑] [↓]

表示させる部分を移動できます。

10. [縮小表示]、[拡大表示]

文書を縮小または拡大して表示できます。

▼ 補足

- ・長さが 1219mm を超える原稿を読み取った場合、プレビュー表示できません。
- ・[本体に蓄積] を選択して読み取る場合は、プレビュー画面は使用できません。蓄積した文書の内容を確認したいときは、蓄積文書の一覧画面からプレビュー画面を表示してください。蓄積文書のプレビュー表示については「一覧画面から蓄積文書を確認する」を参照してください。
- ・画像ファイルの破損などの理由で、プレビューが表示されないときがあります。再度読み取ってください。

▶ 参照

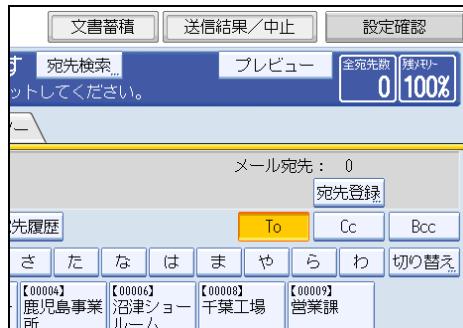
- ・P.102 「一覧画面から蓄積文書を確認する」

送信結果表示/送信中止画面について

送信結果表示/送信中止画面の表示方法や、表示される項目について説明します。

送信結果表示/送信中止画面とは、メール送信、フォルダー送信の結果を確認できる画面です。

[送信結果/中止] を押すと、送信結果表示/送信中止画面が表示されます。



送信結果は一度に 9 件まで表示されます。[▲] または [▼] を押すと表示が切り替わります。

送信結果表示/送信中止画面



BAO004S

1. 送信日時

本機からの送信指示を受け付けた日時、または完了、不達、中止が確定した日時が表示されます。

2. 送信機能アイコン

使用した送信機能のアイコンが表示されます。

暗号化してメール送信した場合、暗号化されたメール送信であることを示すマーク (✉) が表示されます。

3. 宛先

送信した宛先が表示されます。

複数の送信先を選択した場合は、1件目に選択した送信先が表示されます。

メール送信や配信で複数の送信者を選択した場合は、1件目に選択した送信先のみが表示され、残りの送信先は「他 XX 件」と表示されます。

4. 送信者

送信者名が表示されます。

5. 文書名

蓄積と同時に送信を行ったときと、蓄積されている文書を送信したときは、蓄積文書名が表示されます。

6. 状態

「完了」、「送信中」、「待機中」、「不達」、「中止」のいずれかの送信状態が表示されます。

7. [送信中止]

状態が「待機中」の文書を選択して [送信中止] を押すと、送信を中止できます。

8. [リスト印刷]

送信結果が印刷されます。

↓ 補足

- ・画面下部にある【ジョブ一覧】からは、スキャナー機能を使った送信結果は確認できません。送信結果の確認は、【送信結果/中止】を押して表示される送信結果表示/送信中止画面で確認できます。
- ・セキュリティーの設定によっては、すべての送信結果が表示されない場合があります。

原稿の読み取り開始方法について

原稿の読み取りを開始する方法には、次の2通りがあります。

- 原稿をセットする
- [スタート] キーを押す

工場出荷時の設定では、[スタート] キーを押さなくても、原稿をセットするだけで読み取り、文書の蓄積、および配信が開始されます。このとき、[スタート] キーは消灯しています。ただし、以下の場合は、[スタート] キーを押す必要があります。

- 送信履歴の印刷
- 読み取るための条件が不足していた場合（たとえば、送信先を選択していない等）、その条件を設定したあと

▼ 補足

- [スタート] キーを押して原稿の読み取りを開始するように設定することもできます。設定方法については、「スキャナー初期設定」を参照してください。

■ 参照

- P.157 「スキャナー初期設定」

1. 読み取った文書をメールで送信する

スキャナーから読み取った文書をメールに添付し、電子メールシステムを使って LAN やインターネット経由で送信できます。

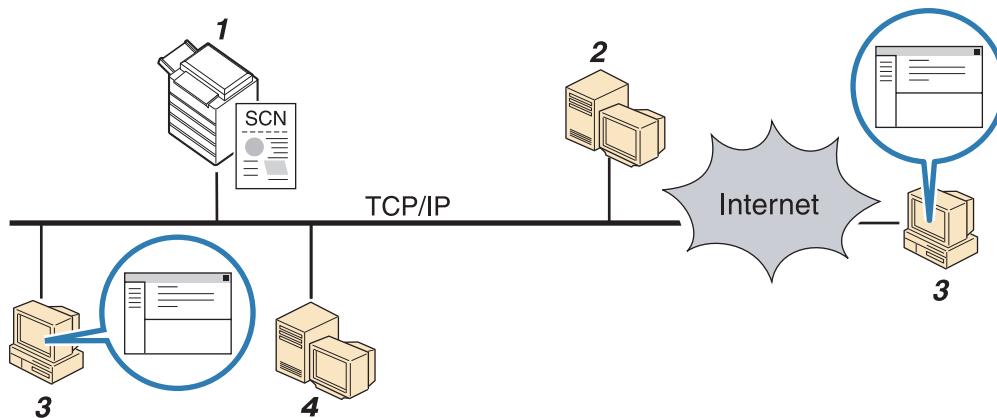
1

メール送信をする前に

メール送信するために必要な準備や操作などについて説明します。

メール送信の概要

スキャナー機能を使ったメール送信の概要について説明します。



1. 本機

読み取った文書を電子メールに添付し、メールサーバーに送信します。暗号化、署名をしてメール送信することもできます。

2. SMTP サーバー

SMTP プロトコルの電子メール送信サーバーです。SMTP サーバーは必ず同一 LAN 上に存在する必要があります。SMTP の電子メールが使える環境であれば利用できます。送信された電子メールを指定された宛先に LAN やインターネット経由で転送します。

3. クライアントコンピューター

電子メールソフトで、文書の添付されたメールを受信します。

4. LDAP サーバー

メールアカウントなどを管理し、ネットワーク上にあるコンピューターからの照会や検索に対応するサーバーです。LDAP サーバーを設置すると、本機から宛先を検索できます。

↓ 補足

- ・本機では SMTPS (SMTP over SSL) は対応していません。

1

メール送信するための準備について

メール送信するためには、事前に以下の準備が必要です。

- ・ネットワーク環境への接続を確認する
- ・[システム初期設定] でネットワークを設定する
- ・[スキャナー初期設定] で各項目を設定する

ネットワーク環境への接続を確認する

本機がネットワーク環境に接続されているかを確認します。

接続の方法については、『ネットワーク&システム初期設定編』「接続と設定」を参照してください。

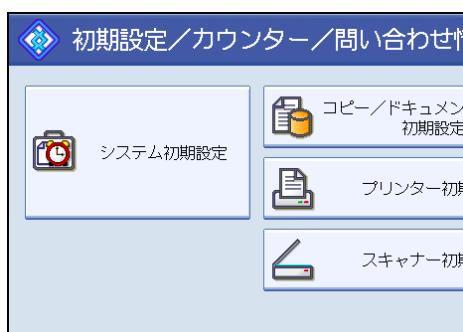
[システム初期設定] でネットワークを設定する

ご使用の環境や目的に応じて、[システム初期設定] でネットワークの各項目を設定します。

ここでは、本機のネットワーク接続にイーサネットケーブルおよび IPv4 を使用する場合を例に、設定手順を説明します。

ご使用の環境によって設定項目は異なります。詳しい設定方法や設定項目については、『ネットワーク&システム初期設定編』「ネットワークの設定」を参照してください。

1. [初期設定／カウンター／問い合わせ情報] キーを押して表示される画面で、[システム初期設定] を押します。



システム初期設定画面が表示されます。

2. [インターフェース設定] タブを押します。



3. [本体 IPv4 アドレス] を押して、本機に IPv4 アドレスを設定します。

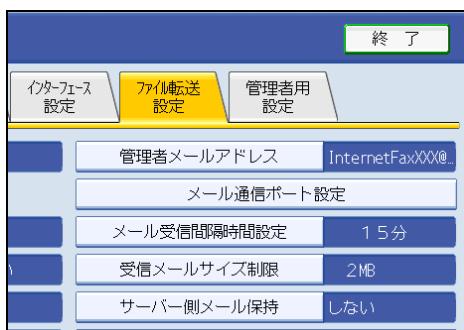
本機に固定の IPv4 アドレスを設定する場合は、[指定] を押し、IPv4 アドレスとサブネットマスクをそれぞれ入力します。

DHCP サーバーから IPv4 アドレスを自動で取得する場合は、[自動的に取得 (DHCP)] を押します。

4. [IPv4 ゲートウェイアドレス] を押し、IPv4 ゲートウェイアドレスを入力します。

5. [有効プロトコル] を押し、[IPv4] を有効にします。

6. [ファイル転送設定] タブを押します。



7. [SMTP サーバー] を押します。

8. [サーバー名] の右の [変更] を押して、SMTP サーバーのホスト名または IPv4 アドレスを入力し、[OK] を押します。

必要に応じて、ポート番号の右の [変更] を押して、ポート番号を設定します。

9. [終了] を 2 回押します。

補足

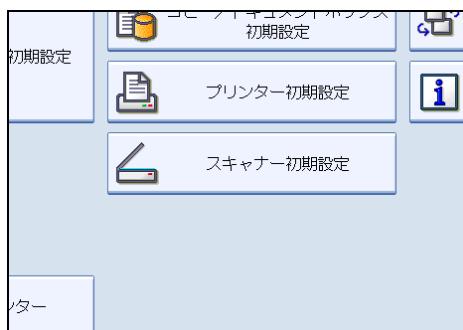
- 拡張無線 LAN ボードを装着している場合で、イーサネット接続するときは、[インターフェース設定] タブの [ネットワークインターフェース選択] で、[イーサネット] を選択する必要があります。

[スキャナー初期設定] で各項目を設定する

[スキャナー初期設定] では、読み取ったデータの圧縮や送信履歴の印刷など、スキャナー機能に関する項目を設定します。ご使用の環境や目的によって、必要に応じて設定してください。

ここでは、スキャナー初期設定画面の表示方法を説明します。各設定項目については、「スキャナー初期設定」を参照してください。

1. [初期設定／カウンター／問合せ情報] キーを押して表示される画面で、[スキャナー初期設定] を押します。



スキャナー初期設定画面が表示されます。

2. 目的に応じて、[基本設定]、[読み取り設定]、[送信設定]、[導入設定] の設定項目タブを押し、設定します。

参考

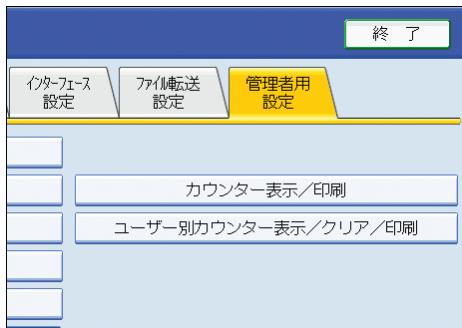
- P.157 「スキャナー初期設定」

メールアドレスのアドレス帳への登録について

よく使うメールアドレスは、あらかじめアドレス帳に登録しておくと便利です。メールアドレスの登録方法について説明します。

1. [初期設定／カウンター／問合せ情報] キーを押して表示される画面で、[システム初期設定] を押します。

2. [管理者用設定] タブを押します。



3. [アドレス帳登録/変更/消去] を押します。

4. [新規登録] を押して必要な情報を入力します。

登録したメールアドレスはグループにも登録できます。

5. [終了] を2回押します。

↓ 補足

- メールアドレスのアドレス帳への登録については、『ネットワーク&システム初期設定編』「宛先・ユーザーを登録する」を参照してください。
- Web Image Monitor を使用してアドレス帳に登録することもできます。Web Image Monitor の表示方法については、『ネットワーク&システム初期設定編』「機器の監視」、アドレス帳登録方法については、Web Image Monitor のヘルプを参照してください。
- 暗号化の設定をしている宛先にメール送信する場合、暗号化して送信できます。暗号化してメール送信する方法については、「メールにセキュリティーの設定をする」を参照してください。

参考

- P.52 「メールにセキュリティーの設定をする」

メール送信画面について

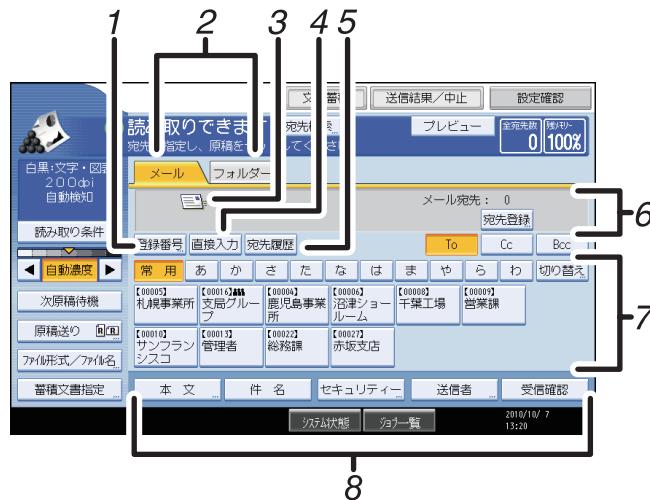
メール送信するときの画面の構成について説明します。

画面に表示されているそれぞれの機能項目は、選択キーになっています。押すことによって、項目を選んだり、指定したりすることができます。

機能項目を選択または指定したとき、**TIFF** のように反転表示されます。機能項目を選択または指定できないときは、**文書番号** のようにうすく表示されます。

1. 読み取った文書をメールで送信する

1



CFS001

1. [登録番号]

送信先を 5 桁の登録番号で指定するときに押します。

2. メール/フォルダー

メール送信画面とフォルダー送信画面を切り替えるときに押します。

また、同じ文書をメール送信とフォルダー送信の両方の宛先へ、同時に送るときに切り替えます。

3. メール送信アイコン

メール送信画面であることを示すアイコンです。

4. [直接入力]

アドレス帳に登録されていない送信先を指定する場合に、ここを押して表示されたソフトキーボードからメールアドレスを入力します。

5. [宛先履歴]

[直接入力] で指定した宛先を選択できます。宛先履歴が複数あるときは、[▲] または [▼] を押すと、宛先が順に表示されます。

6. 送信先表示欄

指定した送信先が表示されます。送信先が複数指定されているときは、[▲] または [▼] を押すと、選択した送信先が順に表示されます。

7. 宛先表一覧

本機で管理している宛先表の一覧が表示されます。一覧をすべて表示しきれない場合は、[▲] または [▼] を押して表示を切り替えます。

グループの宛先には、グループを示すマーク (●●●) が表示されます。

暗号化してメール送信できる宛先には、暗号化できることを示すマーク (● または ●●) が表示されます。

8. [本文] [件名] [セキュリティー] [送信者] [受信確認]

送信する文書の本文、件名、セキュリティー（暗号化・署名）、送信者名、メールの受信確認を設定します。

基本的なメール送信の操作手順

メール送信の基本的な操作手順について説明します。

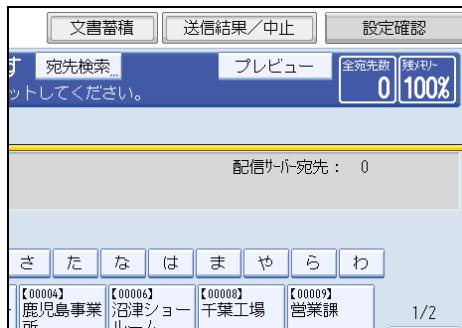
1

1. 前の設定が残っていないことを確認します。

前の設定が残っているときは [リセット] キーを押します。

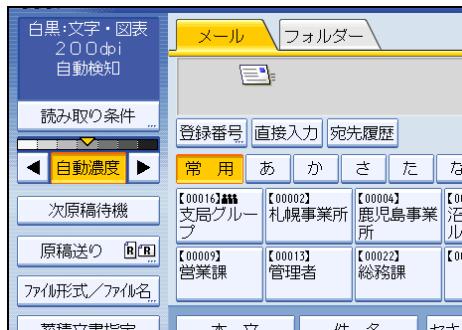
2. フォルダー送信の画面が表示されている場合は、メール送信の画面に切り替えます。

「メール送信画面に切り替える」を参照してください。



3. 必要に応じて [読み取り条件] を押し、解像度や読み取りサイズなどを設定します。

[読み取り条件] での設定内容については、「いろいろな読み取りの設定」を参照してください。



4. 必要に応じて、読み取り濃度を調整します。

「読み取り濃度を調整する」を参照してください。

5. 必要に応じて [次原稿待機] を押します。

「次原稿を待機する」を参照してください。

6. 必要に応じて [原稿送り] を押し、原稿のセット方向を設定します。

「原稿送りについて設定する」を参照してください。

7. 必要に応じて [ファイル形式/ファイル名] を押し、ファイル形式とファイル名などを設定します。

「ファイル形式とファイル名を設定する」を参照してください。

8. 送信先を指定します。

複数の送信先を指定できます。

「メール送信先を指定する」を参照してください。

9. 必要に応じて [本文] を押し、本文を設定します。

「メールの本文を入力する」を参照してください。

10. 必要に応じて [件名] を押し、件名を入力します。

「メールの件名を入力する」を参照してください。

11. 必要に応じて [セキュリティー] を押し、[暗号化] または [署名] の設定をします。

「メールにセキュリティーの設定をする」を参照してください。

12. [送信者] を押して送信者（メールの送信元）を指定します。

「メール送信者を指定する」を参照してください。

13. メールの受信確認をする場合は、[受信確認] を押します。

[受信確認] を選択した場合は、メール送信先の相手がメールを読んだことを通知するメールが、選択した送信者宛に送られます。

14. 原稿をセットします。

読み取りが自動で開始されない場合、[スタート] キーを押します。

↓ 補足

- 送信先を複数選択したときは、送信先表示欄横の [▲] または [▼] を押すと選択した送信先が順に表示されます。
- 送信先の選択を解除するには、解除する送信先を送信先表示欄に表示させ、[クリア/ストップ] キーを押します。宛先表一覧から選択した送信先の場合は、選択されている送信先をもう一度押して、送信先の選択を解除することもできます。
- [システム初期設定] で、管理者メールアドレスを [送信者] に指定しておくことができます。管理者メールアドレスを [送信者] に設定しておくと、メール送信時に [送信者] を指定することなく、送信できます。管理者メールアドレスについては、『ネットワーク&システム初期設定編』「ファイル転送設定」を参照してください。
- セキュリティーの設定によっては、ログインしたユーザーが [送信者] に設定される場合があります。
- 受信確認機能は送信者を設定した場合とユーザーログインしている場合に有効になります。ただし、メール送信先で使用しているメールソフトが MDN (Message Disposition Notification) に対応していない場合など、[受信確認] 通知メールが送信されないことがあります。

- 1
- ・[スタート] キーを押す前に [設定確認] を押すと、スキャナー初期画面から設定確認画面に切り替わり、送信先などの設定を確認できます。設定確認画面の表示内容については、「設定確認画面について」を参照してください。
 - ・[プレビュー] を押し、反転されている状態で読み取りを開始すると、プレビュー画面が表示されます。送信前に文書がどのような状態で読み取られるのかを確認し、送信を中止するか継続するかを選択できます。プレビュー画面の表示内容については、「プレビュー画面について」を参照してください。
 - ・読み取りを中止するには [クリア/ストップ] キーを押します。
 - ・メール送信と蓄積を同時に行うこともできます。「メール送信と蓄積を同時に行う」を参照してください。
 - ・暗号化できる宛先と暗号化できない宛先を混在して複数選択し、[セキュリティー] の [暗号化] を設定してメール送信するときは、確認画面が表示されます。
 - ・送信の完了後は、送信先、送信者、件名、本文、ファイル名の設定内容は自動的にリセットされます。送信完了後にこれらの設定内容を自動的にリセットさせたくない場合は、サービス実施店または販売店にお問い合わせください。

参照

- ・P.14 「設定確認画面について」
- ・P.15 「プレビュー画面について」
- ・P.31 「メール送信画面に切り替える」
- ・P.32 「メール送信先を指定する」
- ・P.43 「メール送信者を指定する」
- ・P.47 「メールの件名を入力する」
- ・P.48 「メールの本文を入力する」
- ・P.52 「メールにセキュリティーの設定をする」
- ・P.50 「メール送信と蓄積を同時に行う」
- ・P.127 「いろいろな読み取りの設定」
- ・P.136 「読み取り濃度を調整する」
- ・P.137 「次原稿を待機する」
- ・P.138 「原稿送りについて設定する」
- ・P.140 「複数枚の原稿を 1 つの文書として読み取る」
- ・P.143 「ファイル形式とファイル名を設定する」

メール送信画面に切り替える

メール送信画面に切り替える操作手順について説明します。

フォルダー送信画面が表示されている場合は、[メール] を押し、メール送信画面に切り替えます。

1. フォルダー送信画面が表示されている場合は、[メール] を押します。



メール送信画面が表示されます。

メール送信先を指定する

メールの送信先の指定方法について説明します。

1

メール送信先を指定するには、次の方法があります。

- 本機のアドレス帳に登録されている送信先を選択する
- メールアドレスを直接入力する
- 宛先履歴から送信先を選択する
- LDAP サーバーから送信先を検索して選択する

送信先を選択する前に [To] を選択していることを確認してください。また、必要に応じて [Cc] または [Bcc] を押して、送信先を選択してください。

 **補足**

- 複数の送信先を指定できます。

本機のアドレス帳に登録されている送信先を選択するとき

本機のアドレス帳に登録されている送信先の選択方法について説明します。

 **重要**

- 送信先はあらかじめ [システム初期設定] でアドレス帳に登録しておきます。アドレス帳への登録については、『ネットワーク&システム初期設定編』「宛先・ユーザーを登録する」を参照してください。

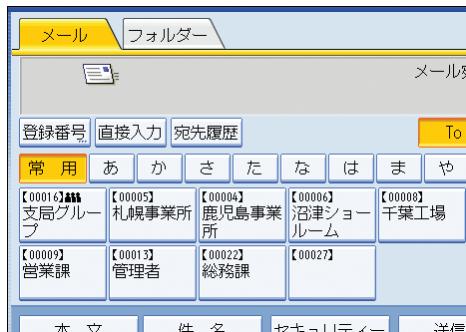
本機のアドレス帳に登録されている送信先を選択するには、次の方法があります。

- 宛先表一覧から送信先を選択する
- 登録番号を入力して送信先を選択する
- 本機のアドレス帳から送信先を検索して選択する

宛先表一覧から送信先を選択するとき

宛先表一覧から、目的の送信先を選択します。

1. 宛先表一覧から、文書の送信先を押します。



1

選択した送信先は反転表示され、画面上部の送信先表示欄に表示されます。

補足

- 目的の送信先が表示されていないときは、次の方法で表示させます。
 - 送信先の頭文字を見出しから選択して表示させる
 - 宛先表一覧横の [▲] または [▼] を押して表示させる
- セキュリティーの設定によっては、宛先表一覧に表示される宛先が制限される場合があります。

登録番号を入力して送信先を選択するとき

本機のアドレス帳に送信先ごとに設定されている登録番号から、送信先を選択します。

1. [登録番号] を押します。



2. 送信先ごとに設定されている 5 行の登録番号をテンキーで入力します。

5 行未満の数値を入力したときは、最後に [#] キーを押します。

例) 00003 を入力する場合

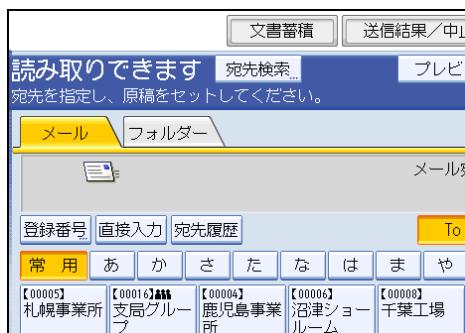
[3]、[#] の順にテンキーを押します。

3. [OK] を押します。

本機のアドレス帳から送信先を検索して選択するとき

本機のアドレス帳から送信先を検索して選択します。

1. [宛先検索] を押します。



2. 名前またはヨミガナから検索する場合は、[名前/ヨミガナ] を押します。

メールアドレスから検索する場合は、[メールアドレス] を押します。

ソフトキーボードが表示されます。

[名前/ヨミガナ] と [メールアドレス] を組み合わせた絞り込み検索もできます。

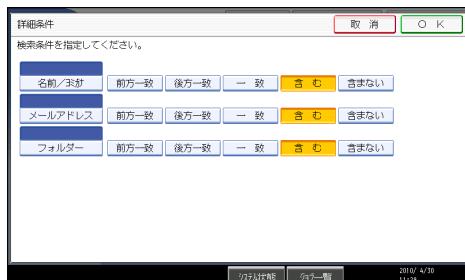
3. 検索する送信先名の文字列の一部を入力します。

メールアドレスから検索する場合は、メールアドレスの文字列の一部を入力します。

4. [OK] を押します。

5. 必要に応じて [詳細条件] を押し、検索条件を細かく設定します。

[詳細条件] を押すと、[名前/ヨミガナ]、[メールアドレス]、[フォルダー] などの検索条件から検索できます。検索条件には [前方一致]、[後方一致] などの一致条件を設定できます。条件を組み合わせることで、絞り込み検索ができます。



画面はサンプル例です。表示される項目が実際のものと違う場合があります。

6. [検索実行] を押します。

検索条件に一致した宛先が表示されます。

7. 送信先を選択します。

8. [To]、[Cc] または [Bcc] を選択します。

9. [OK] を押します。

↓ 補足

- ・[システム初期設定] で [LDAP 検索] を [する] に設定している場合は、[本体アドレス帳] が選択されていることを確認してから、検索を実行してください。
 - ・[詳細条件] で表示される、[名前/ヨミガナ]、[メールアドレス]、[フォルダー] などは本機のアドレス帳に登録されている項目です。アドレス帳の登録については、『ネットワーク&システム初期設定編』「宛先・ユーザーを登録する」を参照してください。
 - ・[詳細条件] で表示される一致条件は次のとおりです。
 - ・[前方一致]：入力した文字が、前方に位置する名称を検索
例) “ABC” を検索したい場合は “A” を入力
 - ・[後方一致]：入力した文字が、後方に位置する名称を検索
例) “ABC” を検索したい場合は “C” を入力
 - ・[一致]：入力した文字と一致する名称を検索
例) “ABC” を検索したい場合は “ABC” を入力
 - ・[含む]：入力した文字を含む名称を検索
例) “ABC” を検索したい場合は “A” か “B” か “C” を入力
 - ・[含まない]：入力した文字を含まない名称を検索
例) “ABC” を検索したい場合は “D” を入力
 - ・[詳細] を押すと、選択した宛先の詳細情報が確認できます。
 - ・検索結果は 100 件まで表示できます。

1

メールアドレスを直接入力するとき

メールアドレスを直接入力します。

1. [直接入力] を押します。



1. 読み取った文書をメールで送信する

メールアドレスのソフトキーボードが表示されます。

2. 送信先のメールアドレスを入力します。

3. [OK] を押します。

1

↓ 補足

- セキュリティの設定によっては、[直接入力] が表示されない場合があります。
- 入力した送信先メールアドレスを変更する場合は、送信先表示欄の左側の [編集] を押します。送信先メールアドレスが入力されたソフトキーボードが表示されるので、任意のメールアドレスを入力して [OK] を押します。
- 直接入力したメールアドレスは、本機のアドレス帳に登録できます。「直接入力した宛先をアドレス帳に登録する」を参照してください。

F 参照

- P.40 「直接入力した宛先をアドレス帳に登録する」

宛先履歴から送信先を選択するとき

直接入力した宛先の履歴から、送信先を選択します。

1. [宛先履歴] を押します。



直接入力した宛先の履歴が表示されます。

2. 送信先を選択します。



1

3. [OK] を押します。

補足

- セキュリティーの設定によっては、[宛先履歴] が表示されない場合があります。
- 宛先履歴が複数あるときは、宛先履歴表示欄横の [▲] または [▼] を押すと宛先が順に表示されます。
- 宛先履歴は、10 件まで表示されます。履歴は、古いものから順に削除されます。
- 宛先履歴のメールアドレスは、本機のアドレス帳に登録できます。「宛先履歴からメールアドレスをアドレス帳に登録する」を参照してください。

参照

- P.41 「宛先履歴からメールアドレスをアドレス帳に登録する」

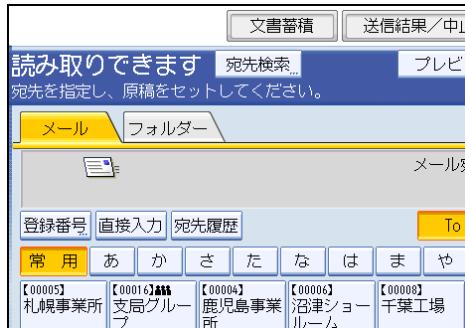
LDAP サーバーから送信先を検索して選択するとき

LDAP サーバーに登録されているアドレスを検索し、メール送信の宛先として設定できます。

★ 重要

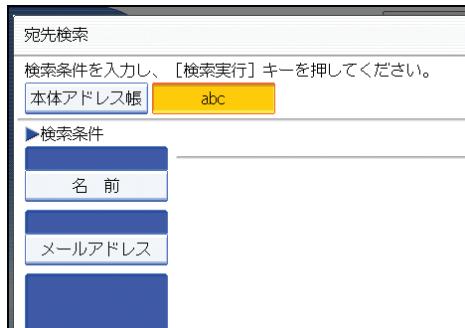
- この機能を利用するには、LDAP サーバーがお使いのネットワーク環境に接続されている必要があります。
- LDAP サーバーは、あらかじめ [システム初期設定] で登録しておきます。また、[システム初期設定] で [LDAP 検索] を [する] にしてください。LDAP サーバーの設定については、『ネットワーク&システム初期設定編』「システム初期設定」を参照してください。

1. [宛先検索] を押します。



2. [本体アドレス帳] の横に表示されている目的の LDAP サーバーを選択します。

LDAP サーバーはあらかじめ [システム初期設定] で登録しておきます。



選択したサーバーに認証が必要な場合は、認証画面が表示されます。正しいユーザー名、パスワードを入力します。

3. 名前から検索する場合は、[名前] を押します。

メールアドレスから検索する場合は、[メールアドレス] を押します。

ソフトキーボードが表示されます。

[名前] と [メールアドレス] を組み合わせた絞り込み検索もできます。

検索条件の [名前] で検索する場合、苗字で検索するか名前で検索するかは、LDAP サーバーの設定によります。管理者にお問い合わせください。

4. 検索する送信先名の文字列の一部を入力します。

メールアドレスから検索する場合は、メールアドレスの文字列の一部を入力します。

5. [OK] を押します。

6. 必要に応じて [詳細条件] を押し、検索条件を細かく設定します。

[詳細条件] を押すと、[名前]、[ファクス宛先]、[メールアドレス]、[会社名]、[部署名] などの検索条件から検索できます。検索条件には [前方一致]、[後方一致] な

どの一致条件を設定できます。条件を組み合わせることで、絞り込み検索ができます。



画面はサンプル例です。表示される項目が実際のものと違う場合があります。

7. [検索実行] を押します。

検索条件に一致した宛先が表示されます。

8. 送信先を選択します。

9. [To]、[Cc] または [Bcc] を選択します。

10. [OK] を押します。

補足

- ・[詳細条件] で表示される [名前]、[ファックス宛先]、[メールアドレス]、[会社名]、[部署名] などは LDAP サーバーに登録されている項目です。[システム初期設定] の [LDAP サーバー登録/変更/消去] で任意検索条件を登録しておくと、[詳細条件] で表示される検索項目を 1 つ追加することができます。詳細については、『ネットワーク&システム初期設定編』「システム初期設定」を参照してください。
- ・[詳細条件] で表示される一致条件は次のとおりです。
 - ・[前方一致]：入力した文字が、前に位置する名称を検索
例) “ABC” を検索したい場合は “A” を入力
 - ・[後方一致]：入力した文字が、後方に位置する名称を検索
例) “ABC” を検索したい場合は “C” を入力
 - ・[一致]：入力した文字と一致する名称を検索
例) “ABC” を検索したい場合は “ABC” を入力
 - ・[含む]：入力した文字を含む名称を検索
例) “ABC” を検索したい場合は “A” か “B” か “C” を入力
 - ・[含まない]：入力した文字を含まない名称を検索
例) “ABC” を検索したい場合は “D” を入力
 - ・[あいまい]：あいまい検索（あいまい検索の機能は LDAP サーバーがサポートする方式に依存します）
- ・[詳細] を押すと、選択した宛先の詳細情報が確認できます。

1. 読み取った文書をメールで送信する

- 検索結果は100件まで表示できます。
- LDAPサーバーから検索したメールアドレスは、文字数が多すぎると正しい宛先として指定できません。指定可能な文字数については、「メール送信」を参照してください。
- LDAPサーバーには、1アカウントにつき複数のメールアドレスを登録できますが、本機の検索でヒットするのは1件だけです。どのメールアドレスがヒットするかはLDAPサーバーに依存しますが、一般的には最初に登録したアドレスです。

参照

- P.176 「メール送信」

直接入力した宛先をアドレス帳に登録する

直接入力した宛先を、本機のアドレス帳に登録する操作手順について説明します。また、LDAPサーバーから選択した宛先も登録できます。

1. 登録する送信先を送信先表示欄に表示させます。



2. [宛先登録] を押します。



3. [登録情報] を押し、名前やヨミガナなどの登録情報を設定します。

登録情報の設定については、『ネットワーク&システム初期設定編』「宛先・ユーザーを登録する」を参照してください。

4. [設定] を押します。

補足

- セキュリティーの設定によっては [宛先登録] が表示されず、登録できない場合があります。
- LDAP サーバーから検索して選択した宛先を、本機のアドレス帳に登録する場合は、宛先を表示した後に [宛先登録] を押します。

宛先履歴からメールアドレスをアドレス帳に登録する

宛先履歴からメールアドレスを、本機のアドレス帳に登録する操作手順について説明します。

1. [宛先履歴] を押します。



直接入力したメールアドレスの履歴が表示されます。

2. 登録するメールアドレスの右側にある [宛先登録] を押します。



3. [登録情報] を押し、名前やヨミガナなどの登録情報を設定します。

登録情報の設定については、『ネットワーク&システム初期設定編』「宛先・ユーザーを登録する」を参照してください。

4. [設定] を押します。

1. 読み取った文書をメールで送信する

↓ 補足

- セキュリティーの設定によっては [宛先履歴] が表示されない場合があります。
- 宛先履歴が複数あるときは、宛先履歴表示欄横の [▲] または [▼] を押すと宛先が順に表示されます。

メール送信者を指定する

メールの送信者を指定する設定手順について説明します。

本機からメール送信をする場合、送信するメールの送信者を指定する必要があります。

メール送信者を指定するには、次の方法があります。

- ・送信者一覧から送信者を選択する
- ・登録番号を入力して送信者を選択する
- ・本機のアドレス帳から送信者を検索して選択する

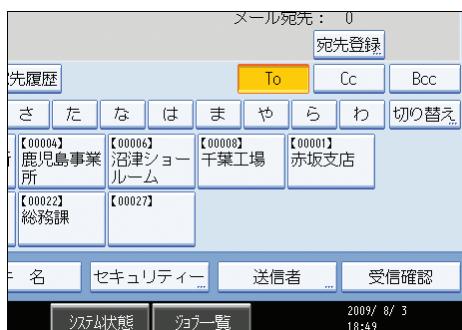
補足

- ・送信者はあらかじめ【システム初期設定】でアドレス帳に登録しておきます。アドレス帳への登録については、『ネットワーク&システム初期設定編』「宛先・ユーザーを登録する」を参照してください。
- ・【システム初期設定】で、管理者メールアドレスを【送信者】に指定しておくことができます。管理者メールアドレスを【送信者】に設定しておくと、メール送信時に【送信者】を指定することなく、送信できます。管理者メールアドレスについては、『ネットワーク&システム初期設定編』「ファイル転送設定」を参照してください。
- ・セキュリティーの設定によっては、ログインしたユーザーが【送信者】に設定される場合があります。
- ・宛先保護コードが設定されている場合は、送信者を選択すると、宛先保護コード入力画面が表示されます。テンキーで宛先保護コードを入力し、【実行】を押します。宛先保護コードが一致すると、送信者名が表示されます。

送信者一覧から送信者を選択するとき

本機の送信者一覧から送信者を選択します。

1. [送信者] を押します。



2. 送信者を選択します。

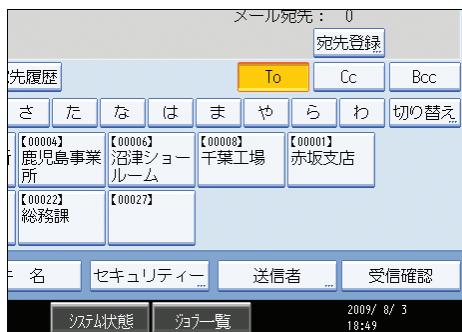
1. 読み取った文書をメールで送信する

3. [OK] を押します。

1 登録番号を入力して送信者を選択するとき

本機のアドレス帳にユーザーごとに設定されている登録番号から送信者を選択します。

1. [送信者] を押します。



2. [登録番号指定] を押します。

3. ユーザーごとに設定されている 5 行の登録番号をテンキーで入力します。

5 行未満の数値を入力したときは、最後に [#] キーを押します。

例) 00006 を入力する場合

[6]、[#] の順にテンキーを押します。

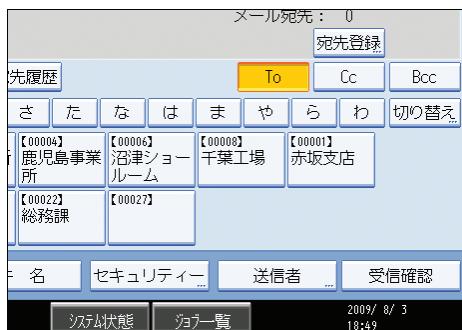
[変更] を押すと、指定した送信先を変更できます。

4. [OK] を 2 回押します。

2 本機のアドレス帳から送信者を検索して選択するとき

本機のアドレス帳から送信者を検索して選択します。

1. [送信者] を押します。



2. [検索] を押します。

3. 名前またはヨミガナから検索する場合は、[名前/ヨミガナ] を押します。

メールアドレスから検索する場合は、[メールアドレス] を押します。

ソフトキーボードが表示されます。

[名前/ヨミガナ] と [メールアドレス] を組み合わせた絞り込み検索もできます。

4. 検索する送信者の文字列の一部を入力します。

メールアドレスから検索する場合は、メールアドレスの文字列の一部を入力します。

5. [OK] を2回押します。

6. 必要に応じて [詳細条件] を押し、検索条件を細かく設定します。

[詳細条件] を押すと、[名前/ヨミガナ]、[メールアドレス]、[フォルダー] などの検索条件から検索できます。検索条件には [前方一致]、[後方一致] などの一致条件を設定できます。条件を組み合わせることで、絞り込み検索ができます。



画面はサンプル例です。表示される項目が実際のものと違う場合があります。

7. [検索実行] を押します。

検索条件に一致した宛先が表示されます。

8. 送信者を選択します。

9. [OK] を押します。

補足

- [詳細条件] で表示される、[名前/ヨミガナ]、[メールアドレス]、[フォルダー] などは本機のアドレス帳に登録されている項目です。アドレス帳の登録については、『ネットワーク&システム初期設定編』「宛先・ユーザーを登録する」を参照してください。
- [詳細条件] で表示される一致条件は次のとおりです。
 - [前方一致]：入力した文字が、前方に位置する名称を検索
例）“ABC”を検索したい場合は“A”を入力
 - [後方一致]：入力した文字が、後方に位置する名称を検索
例）“ABC”を検索したい場合は“C”を入力
 - [一致]：入力した文字と一致する名称を検索

例) “ABC” を検索したい場合は “ABC” を入力

- [含む] : 入力した文字を含む名称を検索

例) “ABC” を検索したい場合は “A” か “B” か “C” を入力

- [含まない] : 入力した文字を含まない名称を検索

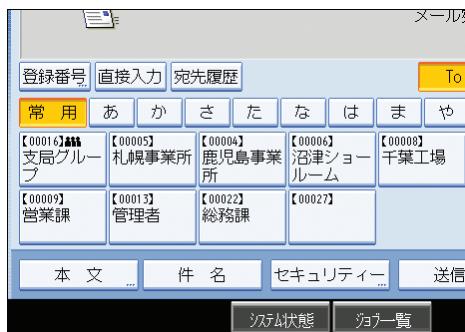
例) “ABC” を検索したい場合は “D” を入力

- [詳細] を押すと、選択した宛先の詳細情報が確認できます。

メールの件名を入力する

メールの件名を入力する手順を説明します。

1. [件名] を押します。



2. 件名を入力します。

文字列を直接入力したいときは、ソフトキーボードを使用します。

本機に登録されている定型文字列を入力したいときは、[定型文字列] を押します。

文字の入力方法については、『本機をお使いになる方へ』「文字入力のしかた」を参照してください。

3. [OK] を押します。

補足

- ・[件名] を省略した場合、[スキャナー初期設定] の [送信設定] タブで設定した [デフォルトメール件名] の内容が反映されます。[デフォルトメール件名] の設定内容は、「送信設定」を参照してください。

参考

- ・P.162 「送信設定」

メールの本文を入力する

送信するメールに、本文を入力する手順を説明します。

1

本文を入力するには、次の方法があります。

- 登録している本文を一覧から選択する
- 本文を直接入力する

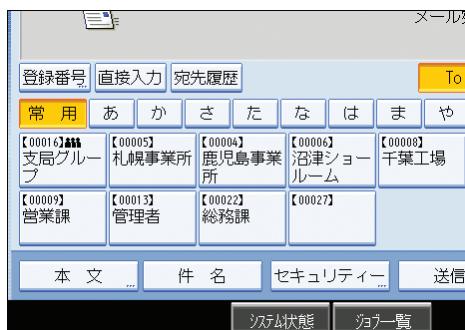
★ 重要

- 一覧から選択する本文は、あらかじめ【システム初期設定】で登録しておきます。送信メール本文の登録については、『ネットワーク&システム初期設定編』「ファイル転送設定」を参照してください。

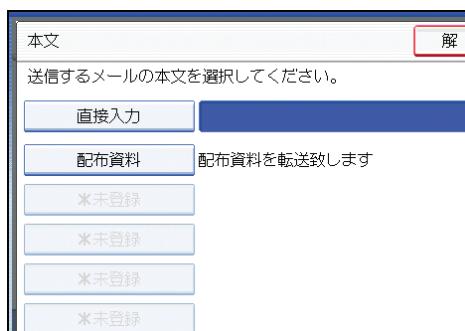
本文を一覧から選択するとき

本文を一覧から選択する手順を説明します。

1. [本文] を押します。



2. 設定する本文を選択します。

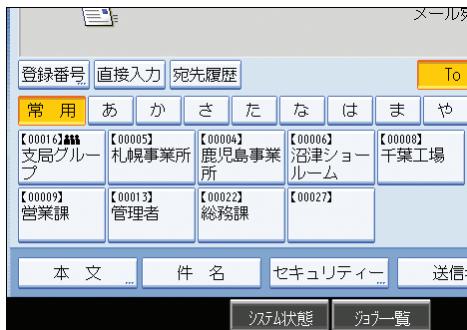


3. [OK] を押します。

本文を直接入力するとき

本文を直接入力する手順を説明します。

1. [本文] を押します。



2. [直接入力] を押します。

本文のソフトキーボードが表示されます。

3. 本文を入力します。

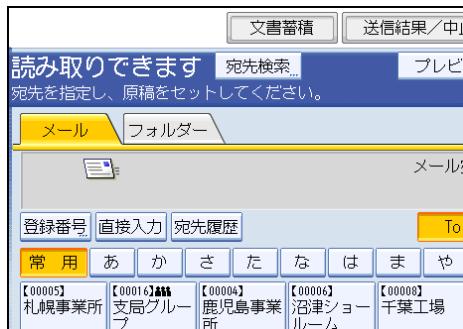
4. [OK] を2回押します。

メール送信と蓄積を同時に行う

メール送信と蓄積を同時に行う操作手順について説明します。

1

1. [文書蓄積] を押します。



2. [本体に蓄積+送信] を選択します。

3. 必要に応じて、ユーザー名、文書名、パスワードなどの蓄積文書に関する情報を設定します。

「文書情報を設定する」を参照してください。

4. [OK] を押します。

5. 送信先アドレスの指定など、メール送信するための設定をします。

メールを送信する手順については、「基本的なメール送信の操作手順」を参照してください。

6. 原稿をセットします。

読み取りが自動で開始されない場合、[スタート] キーを押します。

補足

- セキュリティの設定によっては、[ユーザー名] が [アクセス権] と表示される場合があります。[アクセス権] の設定手順については、管理者にお問い合わせください。
- 蓄積した文書は、再送信できます。再送信する場合は、[蓄積文書指定] 画面で文書を選択してから送信してください。詳しい手順については、「蓄積文書を送信する」を参照してください。
- [セキュリティ] を設定してメール送信と蓄積を同時に行なった場合、送信したメールは暗号化・署名されますが、蓄積文書自体は暗号化・署名されません。
- 蓄積文書の暗号化については、『セキュリティ編』「蓄積データを暗号化する」を参照してください。

参考

- P.28 「基本的なメール送信の操作手順」

- P.95 「文書情報を設定する」
- P.106 「蓄積文書を送信する」

メールにセキュリティーの設定をする

ここでは、本機から送信するメールにセキュリティー（暗号化・署名）を設定する手順を説明します。

1

セキュリティー（暗号化・署名）を設定してメールを送信することで、なりすましや情報漏洩を防止できます。

補足

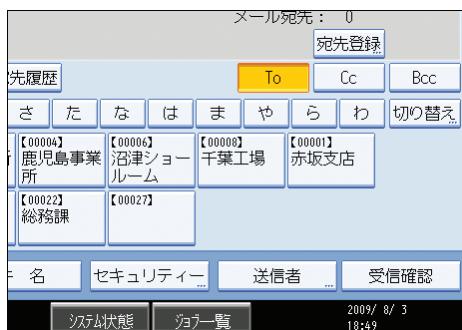
- セキュリティーは、S/MIME 認証機能を使用して設定されます。セキュリティー設定については、管理者にお問い合わせください。
- セキュリティーを設定してメールを送信すると、処理速度が遅くなる場合があります。

メールを暗号化して送信する

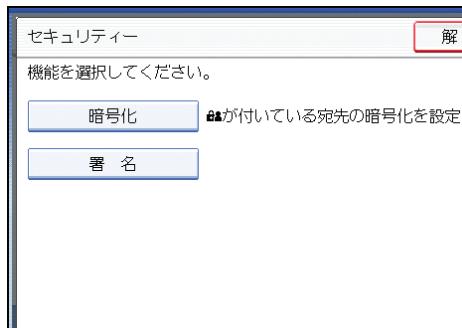
送信ごとに暗号化設定が可能な宛先を指定し、メールを暗号化して送信する場合の設定手順を説明します。

送信ごとに暗号化設定が可能な宛先には、暗号化の個別設定が可能であることを示すマーク (✉) が表示されます。

1. [セキュリティー] を押します。



2. [暗号化] を選択します。



1

3. [OK] を押します。

↓ 補足

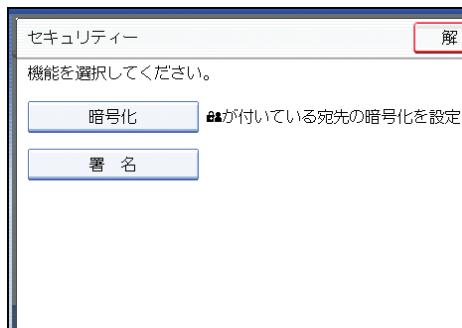
- 暗号化の設定をすると、メールサイズが通常よりも大きくなります。
- 常にメールが暗号化されることを示すマーク (✉) が付いた宛先を送信先に指定している場合、[セキュリティー] での暗号化の設定に関わらず、暗号化したメールが送信されます。
- 送信先を複数選択したとき、送信先に暗号化設定されていない宛先が含まれている場合、暗号化の設定をしても、その宛先へのメールは暗号化されません。
- [本体に蓄積+送信] を行った場合、メールは暗号化されますが、蓄積文書自体は暗号化されません。
- 蓄積文書の暗号化については、『セキュリティー編』「蓄積データを暗号化する」を参照してください。

メールに署名して送信する

メールに署名して送信する手順を説明します。

1. [セキュリティー] を押します。

2. [署名] を選択します。



3. [OK] を押します。

↓ 補足

- 1 • メールへの署名には、本機にインストールされた証明書（機器証明書）が使用されます。
- 管理者による設定によっては、以下の場合があります。
 - [署名] が表示されず、メールに署名して送信できません。
 - [署名] の設定は変更できず、メール送信時は常に署名されます。

URL アドレスをメール送信する

読み取った文書の URL アドレスをメール送信する手順について説明します。

ネットワーク環境に制限があり、メールに文書を添付して送信できない場合などに、この機能を使用します。

★ 重要

- メールソフトによっては、メールを受信したときに、フィッシングの警告が出る可能性があります。回避方法については、メールソフトのヘルプを参照の上、送信者を警告対象外に設定してください。

1. [スキャナー初期設定] の [送信設定] タブの [蓄積文書メール内容] で [URL リンク] を選択します。

[蓄積文書メール内容] の設定については、「送信設定」を参照してください。

2. スキャナー初期画面に戻り、[文書蓄積] を押して [本体に蓄積+送信] を選択します。

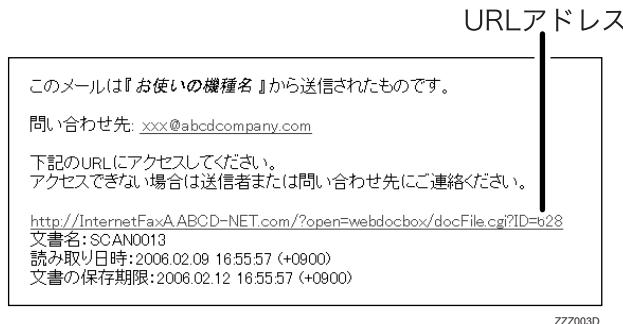
文書の読み取りと同時に URL アドレスを送信するには、[本体に蓄積+送信] の選択が必要です。設定方法については、「メール送信と蓄積を同時に使う」を参照してください。

3. [OK] を押します。

4. 送信先アドレスの指定など、メール送信するための設定をし、送信します。

メールを送信する手順については、「基本的なメール送信の操作手順」を参照してください。

送信先には次のようなメールが送信されます。



5. メール送信先で、URL アドレスをクリックします。

Web Image Monitor が開きます。

6. Web Image Monitor から、ネットワーク経由で文書の閲覧、送信、削除およびダウンロードをします。

 **補足**

- Web Image Monitor の機能や、使用するための設定については、『ネットワーク&システム初期設定編』「機器の監視」を参照してください。
- Web Image Monitor は、同一ネットワーク環境での使用を推奨します。
- 使用する環境によっては、メール送信された URL アドレスをクリックしても、Web ブラウザーが起動せず、文書が閲覧できない場合があります。その場合は、同じ URL アドレスを再度クリックするか、ブラウザーのアドレス入力欄に、手動で URL アドレスを入力してください。
- Web Image Monitor を使った蓄積文書管理機能の詳細は、Web ブラウザーに表示された各画面右上の【ヘルプ】をクリックして表示させてください。
- URL アドレスをメール送信するのと同時に、フォルダー送信することもできます。フォルダー送信先には URL アドレスではなく、文書が送信されます。
- 蓄積文書を後からメール送信するには、「蓄積文書を送信する」を参照してください。

 **参照**

- P.162 「送信設定」
- P.50 「メール送信と蓄積を同時に使う」
- P.28 「基本的なメール送信の操作手順」
- P.106 「蓄積文書を送信する」

2. 読み取った文書をフォルダーに送信する

スキャナーから読み取った文書をネットワーク経由で、共有フォルダー、FTP サーバーのフォルダー、NetWare のフォルダーへ送信できます。共有フォルダー送信では、原稿をセットして、操作パネルから宛先指定するだけで、読み取った文書を指定のコンピューターの共有フォルダーへ送信できます。

2

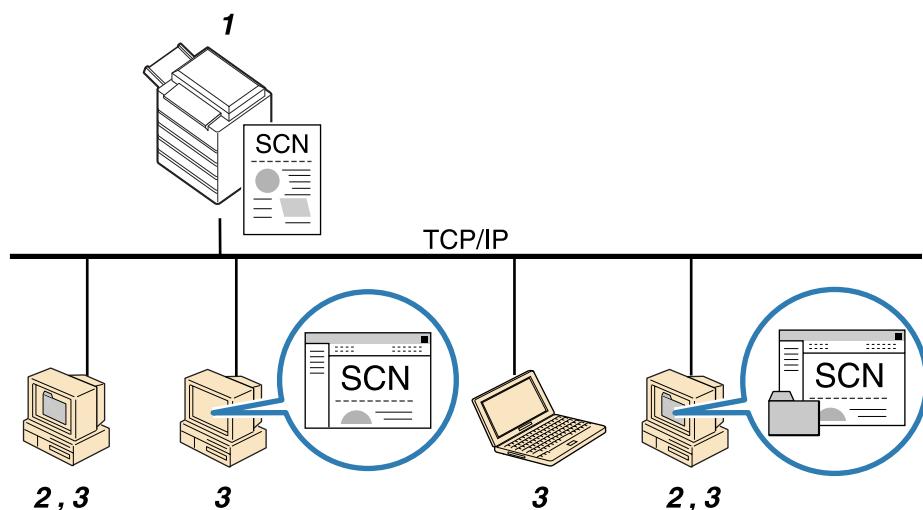
フォルダー送信をする前に

フォルダー送信するために必要な準備や操作などについて説明します。

フォルダー送信の概要

スキャナー機能を使ったフォルダー送信の概要について説明します。

共有フォルダーに送信するとき



ZZZ802S

1. 本機

原稿をセットして、操作パネルから宛先指定するだけで、読み取った文書を指定のコンピューターの共有フォルダーへ送信します。

2. 指定したコンピューター

読み取った文書が指定の共有フォルダーへ送信されます。

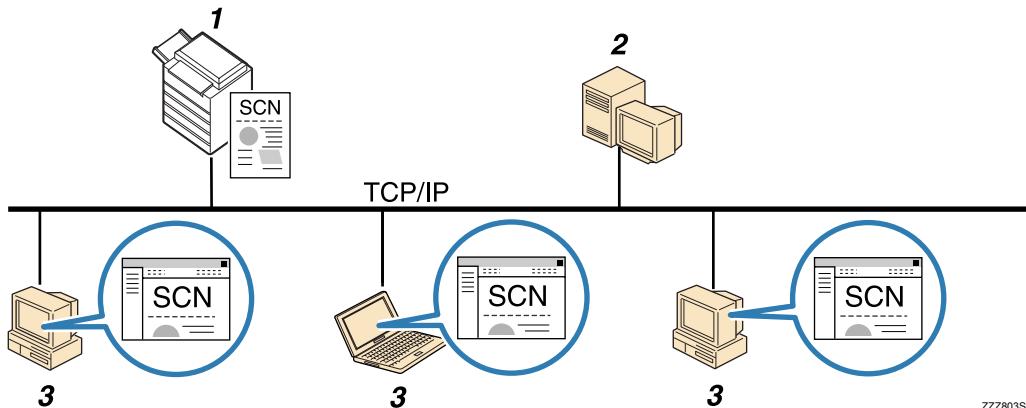
2. 読み取った文書をフォルダーに送信する

3. クライアントコンピューター

読み取った文書が指定の共有フォルダーへ送信されます。また他のコンピューターの共有フォルダーに送信された文書を、クライアントコンピューターから閲覧できます。

FTP サーバーに送信するとき

2



ZZZ803S

1. 本機

スキャナーから読み取った文書を FTP サーバーへ送信します。FTP サーバーのフォルダーへ送信するときは FTP プロトコルを使用します。

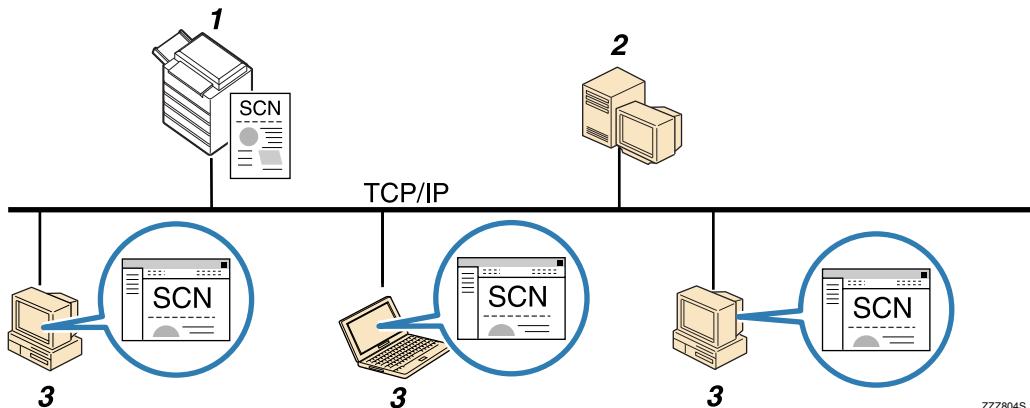
2. FTP サーバー

ネットワーク上のコンピューターとの間でファイル転送サービスを行うサーバーです。送信された文書が保存されます。同一 LAN/WAN 上の FTP サーバーが利用できます。プロキシサーバー経由でのアクセスはできません。

3. クライアントコンピューター

FTP サーバーに保存された画像ファイルを閲覧します。FTP サーバーに接続するためには、FTP クライアントツールが必要です。

NetWare サーバーに送信するとき



2

ZZZ804S

1. 本機

スキャナーから読み取った文書を NetWare サーバーへ送信します。NetWare サーバーのフォルダーへ送信するときは NCP プロトコルを使用します。

2. NetWare サーバー

NetWare 上でファイル共有サービスを行うサーバーです。送信された文書が保存されます。

3. クライアントコンピューター

クライアント用ソフトウェアを組み込んだコンピューターでログインし、文書をダウンロードします。

フォルダー送信するための準備について

フォルダー送信するためには、事前に以下の準備が必要です。

- ネットワーク環境への接続を確認する
- 【システム初期設定】でネットワークを設定する
- 【スキャナー初期設定】で各項目を設定する
- Windows の環境に共有フォルダーを作成/コンピューターの情報を確認する
- Mac OS の環境に共有フォルダーを作成/コンピューターの情報を確認する

補足

- 共有フォルダーへの送信に対応する OS は、Windows 2000/XP/Vista/7、Windows Server 2003/2003 R2/2008/2008 R2、Mac OS X 10.2 以降です。
- 共有フォルダー、FTP サーバー、NetWare サーバーは必要に応じてあらかじめネットワーク上に準備しておいてください。
- SMB プロトコルによるフォルダー送信は、NetBIOS over TCP/IP の環境下でだけ有効です。NetBEUI では SMB プロトコルによる フォルダー送信はできません。

 参照

- P.60 「ネットワーク環境への接続を確認する」
- P.60 「[システム初期設定] でネットワークを設定する」
- P.61 「[スキャナー初期設定] で各項目を設定する」
- P.62 「Windows の環境に共有フォルダーを作成/コンピューターの情報を確認する」
- P.65 「Mac OS の環境に共有フォルダーを作成/コンピューターの情報を確認する」

2

ネットワーク環境への接続を確認する

本機がネットワーク環境に接続されているかを確認します。

接続の方法については、『ネットワーク&システム初期設定編』「接続と設定」を参照してください。

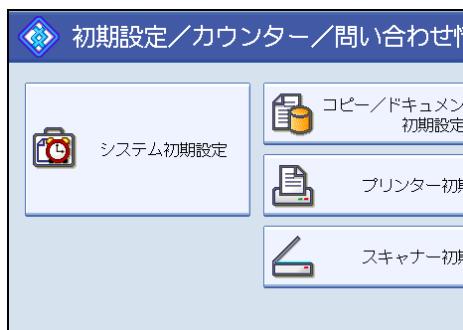
[システム初期設定] でネットワークを設定する

ご使用の環境や目的に応じて、[システム初期設定] でネットワークの各項目を設定します。すでにプリンターで印刷できるなどネットワークに接続されているときは、設定の必要はありません。

ここでは、本機のネットワーク接続にイーサネットケーブルおよび IPv4 を使用する場合を例に、設定手順を説明します。

ご使用の環境によって設定項目は異なります。詳しい設定方法や設定項目については、『ネットワーク&システム初期設定編』「ネットワークの設定」を参照してください。

1. [初期設定／カウンター／問い合わせ情報] キーを押して表示される画面で、[システム初期設定] を押します。



システム初期設定画面が表示されます。

2. [インターフェース設定] タブを押します。



2

3. [本体 IPv4 アドレス] を押して、本機に IPv4 アドレスを設定します。

本機に固定の IPv4 アドレスを設定する場合は、[指定] を押し、IPv4 アドレスとサブネットマスクをそれぞれ入力します。

DHCP サーバーから IPv4 アドレスを自動で取得する場合は、[自動的に取得 (DHCP)] を押します。

4. [IPv4 ゲートウェイアドレス] を押し、IPv4 ゲートウェイアドレスを入力します。

5. [有効プロトコル] を押し、[IPv4] を有効にします。

6. [終了] を 2 回押します。

補足

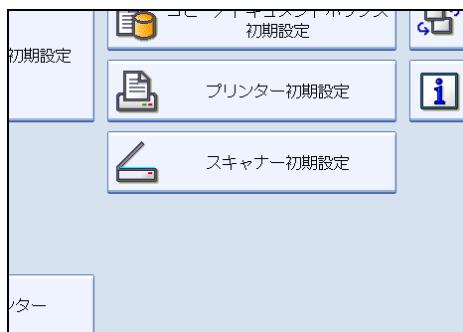
- 拡張無線 LAN ボードを装着している場合で、イーサネット接続するときは、[インターフェース設定] タブの [ネットワークインターフェース選択] で、[イーサネット] を選択する必要があります。

[スキャナー初期設定] で各項目を設定する

[スキャナー初期設定] では、読み取ったデータの圧縮や送信履歴の印刷など、スキャナー機能に関する項目を設定します。ご使用の環境や目的によって、必要に応じて設定してください。

ここでは、スキャナー初期設定画面の表示方法を説明します。各設定項目については、「スキャナー初期設定」を参照してください。

1. [初期設定／カウンター／問合せ情報] キーを押して表示される画面で、[スキャナー初期設定] を押します。



2

スキャナー初期設定画面が表示されます。

2. 目的に応じて、[基本設定]、[読み取り設定]、[送信設定]、[導入設定] の設定項目タブを押し、設定します。

 参照

- P.157 「スキャナー初期設定」

Windows の環境に共有フォルダーを作成/コンピューターの情報を確認する

Windows の環境に送信先の共有フォルダーを作成し、コンピューターの情報を確認します。

手順 1：コンピューター名とログインユーザー名を確認する

読み取った文書を送信するコンピューターのコンピューター名とログインユーザー名を確認します。

1. クライアントコンピューターの [スタート] ボタンをクリックし、[すべてのプログラム] をポイントして [アクセサリ] から [コマンドプロンプト] をクリックします。

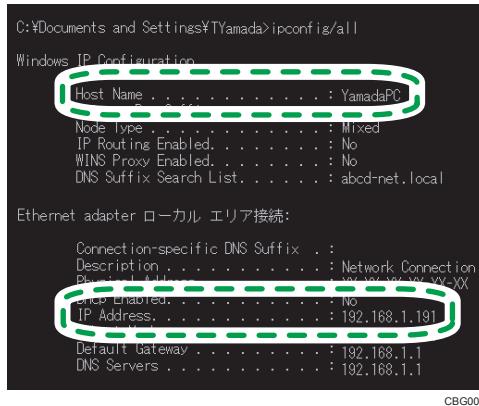
コマンドプロンプトが起動します。

2. “ipconfig/all” と入力して、[Enter] キーを押します。

3. 表示されたコンピューター名を確認します。

[Host Name] でコンピューター名が確認できます。

IPv4 アドレスは、[IP Address] の表示で確認できます。



```
C:\$Documents and Settings\$TYamada>ipconfig/all
Windows IP Configuration

Host Name . . . . . : YamadaPC
Node Type . . . . . : Mixed
IP Routing Enabled. . . . . : No
WINS Proxy Enabled. . . . . : No
DNS Suffix Search List. . . . . : abcd-net.local

Ethernet adapter ローカル エリア接続:

Connection-specific DNS Suffix . :
Description . . . . . : Network Connection
Physical Address . . . . . : 00-0C-XX-XX-XX-XX
Link Layer Enabled. . . . . : No
IP Address. . . . . : 192.168.1.191
Default Gateway . . . . . : 192.168.1.1
DNS Servers . . . . . : 192.168.1.1

CBG001
```

2

4. 続けて、“set user” と入力して、[Enter] キーを押します。

“set” と “user” の間には、半角スペースを入れます。

5. 表示されたユーザー名を確認します。

[USERNAME] でユーザー名が確認できます。



```
C:\$Documents and Settings\$TYamada>set user
USERNSDOMAIN=ABCD-NET.LOCAL
USERDOMAIN=ABCD-NET
USERNAME=TYamada
USERPROFILE=C:\$Documents and Settings\$TYamada

CBG002
```

補足

- OS やセキュリティの設定によってはパスワードのないユーザー名は使用できない場合があります。パスワードのあるログインユーザー名をご利用いただくことを推奨します。

手順 2 : Windows の環境に共有フォルダーを作成する

Windows の環境に送信先の共有フォルダーを作成し、共有化の設定を行います。ここでは、OS が Windows XP Professional およびコンピューターがドメインに参加している場合を例に説明します。

重要

- この操作を行うには管理者権限が必要です。Administrators グループのメンバーとしてログオンしてください。
- 手順 5 で「Everyone」を選択していると、作成したフォルダーに対して、すべてのユーザーがアクセスできます。セキュリティ上に問題が発生することがあるため、特定ユーザーだけにアクセス権を与えることを推奨します。ここでは、「Everyone」を削除し、特定のユーザーにアクセス権を与える手順を説明します。

補足

- 共有フォルダーを作成する前に簡易共有の設定を無効にしてください。

2

1. 通常のフォルダ作成手順と同様に、コンピューター内の任意の場所にフォルダを作成します。
2. 作成したフォルダーを右クリックし、[共有とセキュリティ] をクリックします。
3. [共有] タブで、[このフォルダを共有する] をクリックします。
4. [アクセス許可] をクリックします。
5. [グループ名またはユーザー名] の一覧から「Everyone」を選択し、[削除] をクリックします。
6. [追加] をクリックします。
7. [詳細設定] をクリックします。
8. [オブジェクトの種類]、[場所] を選択して、[今すぐ検索] をクリックします。
9. アクセス権を設定するグループやユーザーを選択し、[OK] をクリックします。
10. [OK] をクリックします。
11. 追加したユーザーを選択し、アクセス許可の一覧から [変更] の [許可] にチェックマークを付けます。
アクセス許可はグループまたはユーザーごとに設定します。
12. [OK] をクリックします。
他のグループやユーザーにアクセス権を設定する
 1. 上記手順 1 で作成したフォルダーを右クリックし、[共有とセキュリティ] をクリックします。
 2. [セキュリティ] タブをクリックして、[グループ名またはユーザー名] に追加したいグループやユーザーを追加します。
 3. [グループ名またはユーザー名] の一覧から手順 2 で追加したグループやユーザーを選択し、アクセス許可の一覧で [変更] の [許可] にチェックマークを付けます。
 4. [OK] を 2 回クリックします。

↓ 補足

- 初めて、ご使用的コンピューターに共有フォルダーを作成する場合は、ファイル共有の設定を有効にしておく必要があります。詳しくは、Windows のヘルプを参照してください。

- よく使う共有フォルダーは、本機のアドレス帳に登録できます。アドレス帳に登録する際は、コンピューターのIPアドレスまたはコンピューター名、共有フォルダーナー、コンピューターのログインユーザー名、パスワードをご確認ください。

目 **参照**

- 共有フォルダーの宛先登録の方法については、『ネットワーク&システム初期設定編』「フォルダーを登録する」を参照してください。

2

Mac OS の環境に共有フォルダーを作成/コンピューターの情報を確認する

Mac OS の環境に送信先の共有フォルダーを作成し、コンピューターの情報を確認します。ここでは、Mac OS 10.5 を例に説明します。

手順 1：Mac OS の環境に共有フォルダーを作成する

Mac OS の環境に共有フォルダーを作成します。

★ **重要**

- この操作を行うには管理者権限が必要です。Administrators グループのメンバーとしてログオンしてください。

- 送信先のフォルダーを任意の場所に作成します。
- アップルメニューから【システム環境設定】をクリックします。
- 【共有】をクリックします。
- 【ファイル共有】を有効にします。
- 【オプション】をクリックします。
- 【SMB を使用してファイルやフォルダを共有】を有効にします。
- 対象のアカウントを有効にします。
- 【認証】画面が表示されたら、対象アカウントのパスワードを入力して【OK】をクリックし、【完了】をクリックします。
- 【共有フォルダ】の下の【+】(新規)をクリックします。
- 手順 1 で作成したフォルダーを指定し、【追加】をクリックします。
- このフォルダーにアクセスするユーザーの権限が「読み/書き」に設定されていることを確認します。

↓ **補足**

- よく使う共有フォルダーは、本機のアドレス帳に登録できます。アドレス帳に登録する際は、コンピューターのIPアドレス、共有フォルダーナー、共有フォルダーにアクセス許可をもつユーザー名とパスワードをご確認ください。

手順2：コンピューター名とログインユーザー名を確認する

読み取った文書を送信するコンピューターのコンピューター名とログインユーザー名を確認します。

1. アップルメニューから【このMacについて】をクリックします。

「このMacについて」画面が表示されます。

2

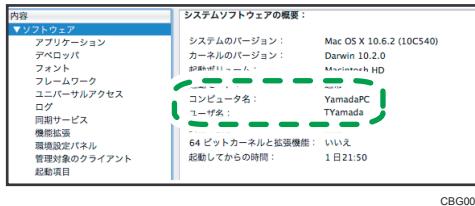
2. 【詳しい情報】をクリックします。

コンピューターの情報画面が表示されます。

3. 表示されたコンピューター名、ユーザー名を確認します。

【コンピュータ名】でコンピューター名が確認できます。

【ユーザ名】でユーザー名が確認できます。



補足

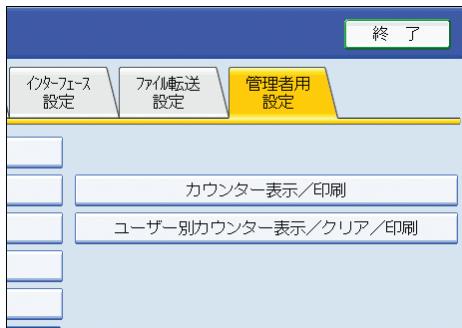
- OS やセキュリティの設定によってはパスワードのないユーザー名は使用できない場合があります。パスワードのあるログインユーザー名をご利用いただくことを推奨します。
- IP アドレスを確認する場合は、アップルメニューから【システム環境設定】をポイントして【ネットワーク】>【Ethernet】をクリックします。IP アドレスの欄に表示されているのが IP アドレスになります。

送信先フォルダーのアドレス帳への登録について

よく使う送信先フォルダーは、あらかじめアドレス帳に登録しておくと便利です。送信先フォルダーの登録方法について説明します。

1. 【初期設定/カウンター/問合せ情報】キーを押して表示される画面で、【システム初期設定】を押します。

2. [管理者用設定] タブを押します。



2

3. [アドレス帳登録/変更/消去] を押します。

4. [新規登録] を押して必要な情報を入力します。

登録した送信先フォルダーはグループにも登録できます。

↓ 補足

- 送信先フォルダーのアドレス帳への登録については、『ネットワーク&システム初期設定編』「フォルダーを登録する」を参照してください。
- Web Image Monitor を使用してアドレス帳に登録することもできます。Web Image Monitor の表示方法については、『ネットワーク&システム初期設定編』「機器の監視」、アドレス帳登録方法については、Web Image Monitor のヘルプを参照してください。

フォルダー送信画面について

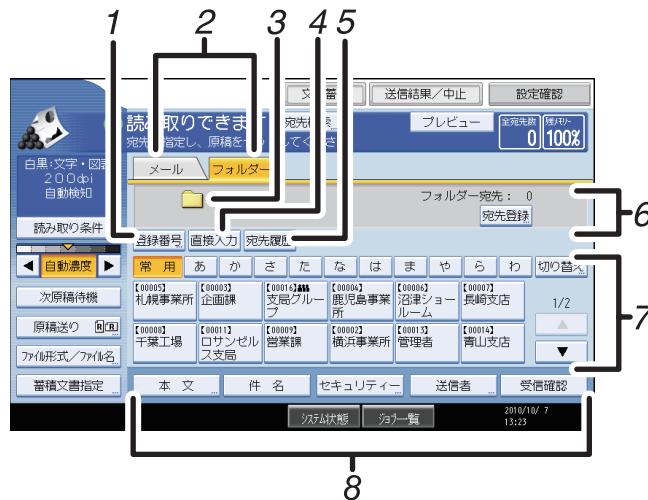
フォルダー送信画面の構成について説明します。

表示されているそれぞれの機能項目は、選択キーになっています。選択キーを押すによって、項目を選んだり、指定したりすることができます。

機能項目を選択または指定したとき、**TIFF** のように反転表示されます。機能項目を選択または指定できないときは、**文書番号** のようにうすく表示されます。

2. 読み取った文書をフォルダーに送信する

2



CFS002

1. [登録番号]

送信先を 5 衞の登録番号で指定するときに押します。

2. メール/フォルダー

メール送信画面とフォルダー送信画面を切り替えるときに押します。

また、同じ文書をフォルダー送信とメール送信の両方の宛先へ、同時に送るときに切り替えます。

3. フォルダー送信アイコン

フォルダー送信画面であることを示すアイコンです。

4. [直接入力]

アドレス帳に登録されていない送信先を指定する場合に、ここを押して表示されたソフトキーボードからフォルダー送信先を入力します。

5. [宛先履歴]

[直接入力] で指定した宛先を選択できます。宛先履歴が複数あるときは、[▲] または [▼] を押すと、宛先が順に表示されます。

6. 送信先表示欄

指定した送信先が表示されます。送信先を複数指定しているときは、[▲] または [▼] を押すと、選択した送信先が順に表示されます。

7. 宛先表一覧

本機で管理している宛先表の一覧が表示されます。

一覧をすべて表示しきれない場合は、[▲] または [▼] を押して表示を切り替えます。

グループの送信先には、グループを示すマーク (●●●) が表示されます。

8. [本文] [件名] [セキュリティー] [送信者] [受信確認]

送信する文書の本文、件名、メールのセキュリティー（暗号化・署名）、送信者名、メールの受信確認を設定します。フォルダー送信とメール送信を同時に使うときに、メール送信の宛先だ

けに送られるメール送信のための機能です。メール送信については、「読み取った文書をメールで送信する」を参照してください。

 参照

- P.21 「読み取った文書をメールで送信する」

基本的なフォルダー送信の操作手順

フォルダー送信の基本的な操作手順について説明します。

↓ 補足

2

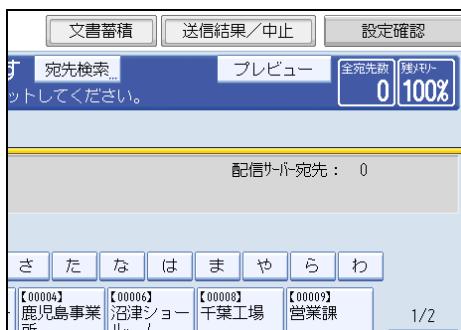
- 本手順を行う前に、「フォルダー送信するための準備について」を参照し、送信先コンピューターの情報を確認してください。また、『ネットワーク&システム初期設定編』「フォルダーを登録する」を参照して、アドレス帳に送信先フォルダーを登録しておいてください。

1. 前の設定が残っていないことを確認します。

前の設定が残っているときは [リセット] キーを押します。

2. メール送信の画面が表示されている場合は、フォルダー送信の画面に切り替えます。

「フォルダー送信画面に切り替える」を参照してください。



3. 必要に応じて [読み取り条件] を押し、解像度や読み取りサイズなどを設定します。

「読み取り条件」での設定内容については、「いろいろな読み取りの設定」を参照してください。



4. 必要に応じて、読み取り濃度を調整します。

「読み取り濃度を調整する」を参照してください。

5. 必要に応じて [次原稿待機] を押します。

「次原稿を待機する」を参照してください。

6. 必要に応じて、[原稿送り] を押し、原稿のセット方向を設定します。

「原稿送りについて設定する」を参照してください。

7. 必要に応じて [ファイル形式/ファイル名] を押し、ファイル形式とファイル名などを設定します。

「ファイル形式とファイル名を設定する」を参照してください。

8. 送信先を指定します。

複数の送信先を指定できます。「フォルダー送信先を指定する」を参照してください。

9. 原稿をセットします。

読み取りが自動で開始されない場合、[スタート] キーを押します。

補足

- 送信先を複数選択したときは、送信先表示欄横の [▲] または [▼] を押すと選択した送信先が順に表示されます。
- 送信先の選択を解除するには、解除する送信先を送信先表示欄に表示させ、[クリア/ストップ] キーを押します。宛先表一覧から選択した送信先の場合は、選択されている送信先をもう一度押して、送信先の選択を解除することもできます。
- [スタート] キーを押す前に [設定確認] を押すと、スキャナー初期画面から設定確認画面に切り替わり、送信先などの設定を確認できます。設定確認画面の表示内容については、「設定確認画面について」を参照してください。
- [プレビュー] を押し、反転されている状態で読み取りを開始すると、プレビュー画面が表示されます。送信前に文書がどのような状態で読み取られているのかを確認し、送信を中止するか継続するかを選択できます。プレビュー画面の表示内容については、「プレビュー画面について」を参照してください。
- 読み取りを中止するには [クリア/ストップ] キーを押します。
- フォルダー送信と蓄積を同時に行うこともできます。「フォルダー送信と蓄積を同時に行う」を参照してください。
- 送信の完了後は、送信先、ファイル名の設定内容は自動的にリセットされます。送信完了後にこれらの設定内容を自動的にリセットさせたくない場合は、サービス実施店または販売店にお問い合わせください。

参照

- P.59 「フォルダー送信するための準備について」
- P.14 「設定確認画面について」
- P.15 「プレビュー画面について」
- P.73 「フォルダー送信画面に切り替える」
- P.74 「フォルダー送信先を指定する」

- P.90 「フォルダー送信と蓄積を同時に行う」
- P.127 「いろいろな読み取りの設定」
- P.136 「読み取り濃度を調整する」
- P.137 「次原稿を待機する」
- P.138 「原稿送りについて設定する」
- P.140 「複数枚の原稿を 1 つの文書として読み取る」
- P.143 「ファイル形式とファイル名を設定する」

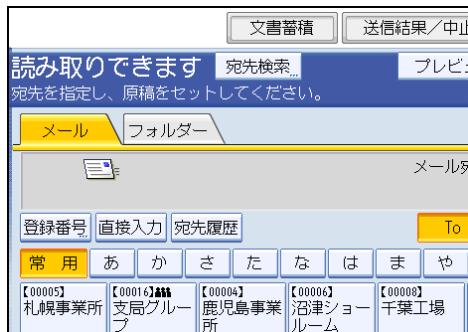
フォルダー送信画面に切り替える

フォルダー送信画面に切り替える操作手順について説明します。

メール送信画面が表示されている場合は、[フォルダー] を押し、フォルダー送信画面に切り替えます。

1. メール送信画面が表示されている場合は、[フォルダー] を押します。

2



フォルダー送信画面が表示されます。

フォルダー送信先を指定する

フォルダー送信先の指定方法について説明します。

フォルダー送信先を指定するには、次の方法があります。

- ・本機のアドレス帳に登録されている送信先を選択する
- ・ネットワーク上の共有フォルダーに送信する
- ・FTP サーバーに送信する
- ・NetWare サーバーに送信する
- ・宛先履歴から送信先を選択する

2

↓ 補足

- ・複数の送信先を指定できます。

本機のアドレス帳に登録されている送信先を選択するとき

本機のアドレス帳に登録されている送信先の選択方法について説明します。

★ 重要

- ・送信先はあらかじめ [システム初期設定] で登録しておきます。

本機のアドレス帳に登録されている送信先を選択するには、次の方法があります。

- ・宛先表一覧から送信先を選択する
- ・登録番号を入力して送信先を選択する
- ・本機のアドレス帳から送信先を検索して選択する

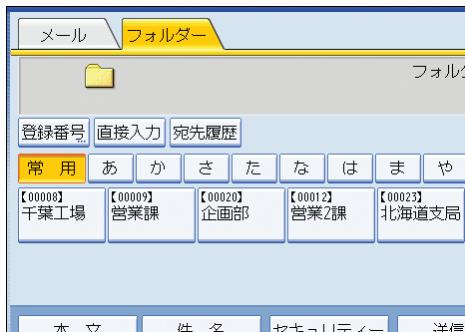
↓ 補足

- ・アドレス帳登録時に宛先保護コードを設定した場合は、宛先保護コード入力画面が表示されます。テンキーで宛先保護コードを入力し、[実行] を押します。宛先保護コードが一致すると、フォルダー宛先を指定できます。
- ・セキュリティーの設定によっては、表示される宛先が制限される場合があります。

宛先表一覧から送信先を選択するとき

宛先表一覧から、目的の送信先を選択します。

1. 宛先表一覧から、文書の送信先を押します。



2

選択した送信先は反転表示され、画面上部の送信先表示欄に表示されます。

補足

- 目的の送信先が表示されていないときは、次の方法で表示させます。
 - 送信先の頭文字を見出しから選択して表示させる
 - 宛先表一覧横の [▲] または [▼] を押して表示させる
- セキュリティーの設定によっては、宛先表一覧に表示される宛先が制限される場合があります。

登録番号を入力して送信先を選択するとき

本機のアドレス帳に登録されている登録番号から送信先を選択します。

1. [登録番号] を押します。



2. 送信先ごとに設定されている 5 行の登録番号をテンキーで入力します。

5 行未満の数値を入力したときは、最後に [#] キーを押します。

例) 00004 を入力する場合

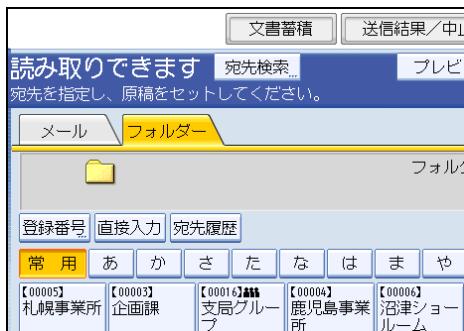
[4]、[#] の順にテンキーを押します。

3. [OK] を押します

本機のアドレス帳から送信先を検索して選択するとき

本機のアドレス帳から送信先を検索して選択します。

1. [宛先検索] を押します。



2. 名前またはヨミガナから検索する場合は、[名前/ヨミガナ] を押します。

パスから検索する場合は、[フォルダー] を押します。

ソフトキーボードが表示されます。

[名前/ヨミガナ] と [フォルダー] を組み合わせた絞り込み検索もできます。

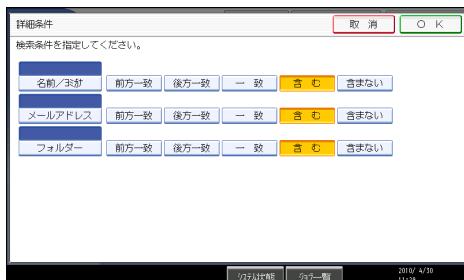
3. 検索する送信先名の文字列の一部を入力します。

パスから検索する場合は、パスの文字列の一部を入力します。

4. [OK] を押します。

5. 必要に応じて [詳細条件] を押し、検索条件を細かく設定します。

[詳細条件] を押すと、[名前/ヨミガナ]、[メールアドレス]、[フォルダー] などの検索条件から検索できます。検索条件には [前方一致]、[後方一致] などの一致条件を設定できます。条件を組み合わせることで、絞り込み検索もできます。



画面はサンプル例です。表示される項目が実際のものと違う場合があります。

6. [検索実行] を押します。

検索条件に一致した宛先が表示されます。

7. 送信先フォルダーネ名を選択します。

8. [OK] を押します。

補足

- ・[詳細条件] で表示される、[名前/ヨミガナ]、[メールアドレス]、[フォルダー] などは本機のアドレス帳に登録されている項目です。アドレス帳の登録については、『ネットワーク&システム初期設定編』「宛先・ユーザーを登録する」を参照してください。
- ・[詳細条件] で表示される一致条件は次のとおりです。
 - ・[前方一致]：入力した文字が、前方に位置する名称を検索
例）“ABC” を検索する場合は “A” を入力
 - ・[後方一致]：入力した文字が、後方に位置する名称を検索
例）“ABC” を検索する場合は “C” を入力
 - ・[一致]：入力した文字と一致する名称を検索
例）“ABC” を検索する場合は “ABC” を入力
 - ・[含む]：入力した文字を含む名称を検索
例）“ABC” を検索する場合は “A” か “B” か “C” を入力
 - ・[含まない]：入力した文字を含まない名称を検索
例）“ABC” を検索する場合は “D” を入力
- ・[詳細] を押すと、選択した宛先の詳細情報が確認できます。
- ・検索結果は 100 件まで表示できます。

2

ネットワーク上の共有フォルダーに送信するとき

ネットワーク上の共有フォルダーに送信するときの送信先の指定方法について説明します。

★ 重要

- ・ネットワーク上の共有フォルダーに送信する際は「フォルダー送信するための準備について」を参照して、送信先コンピューターの以下の項目を確認しておく必要があります。
 - ・送信先のコンピューター
 - ・送信先コンピューターのログインユーザー名とパスワード
 - ・送信する共有フォルダーネ名
- ・クライアントコンピューターの OS によっては、共有フォルダーにアクセス権の設定が必要です。

参照

- ・P.59 「フォルダー送信するための準備について」

ネットワーク上の共有フォルダーに送信するには、次の方法があります。

- ・送信先フォルダーのコンピューター名を直接入力する
- ・ネットワーク上のコンピューターから送信先を参照して、パスを指定する

送信先フォルダーのコンピューター名を直接入力する

2

1. [直接入力] を押します。



2. [SMB] を押します。

3. パス名入力欄右の [直接入力] を押します。

ソフトキーボードが表示されます。

4. 送信先フォルダーのコンピューター名および共有フォルダ名を入力します。

たとえば、コンピューター名が “YamadaPC”、共有フォルダ名が “usr” の場合のパスは、¥YamadaPC¥usr となります。

5. [OK] を押します。

6. 送信先の設定に応じて、クライアントコンピューターにログインするときのユーザー名を入力します。

ユーザー名入力欄右の [直接入力] を押すと、ソフトキーボードが表示されます。

7. 送信先の設定に応じて、クライアントコンピューターにログインするときのパスワードを入力します。

パスワードの [直接入力] を押すと、ソフトキーボードが表示されます。

8. [接続テスト] を押します。

指定した共有フォルダーへの接続を確認するために、接続テストが開始されます。

「送信先への接続に失敗しました。設定内容を確認してください。」のメッセージが表示されたときは、『トラブル解決編』「スキャナー機能がうまく使えないとき」を参照してください。

9. 接続テストの結果を確認し、[確認] を押します。

10. [OK] を押します。

↓ 補足

- ・フォルダーにアクセス権の設定がされている場合は、ログイン画面が表示されます。正しいユーザー名、パスワードを入力してください。
- ・フォルダーネ名やユーザー名、パスワードがすでに入力されているときに、プロトコルを切り替えると、確認のメッセージが表示されます。
- ・入力した送信先フォルダーネ名を変更する場合は、送信先表示欄の左側の【編集】を押します。正しいフォルダーネ名を入力して【OK】を押します。
- ・接続テストには、時間がかかることがあります。
- ・接続テスト中に【接続中止】を押した直後は、【接続テスト】を押せないことがあります。
- ・接続テストが成功しても、共有フォルダーに書き込み権限がない場合、またはディスク容量の残りがない場合は、フォルダー送信に失敗することがあります。
- ・送信先のフォルダーは、本機のアドレス帳に登録できます。「指定した送信先のパスをアドレス帳に登録する」を参照してください。
- ・クライアントコンピューターに固定IPアドレスが設定されているとき、送信先フォルダーのパスを入れる際は次のように指定してください。たとえば、IPアドレスが“192.168.1.191”、作成した共有フォルダ名が“usr”的場合、“¥¥192.168.1.191¥usr”と指定します。

目 参照

- ・P.87 「指定した送信先のパスをアドレス帳に登録する」

ネットワーク上のコンピューターから送信先を参照して、パスを指定するとき

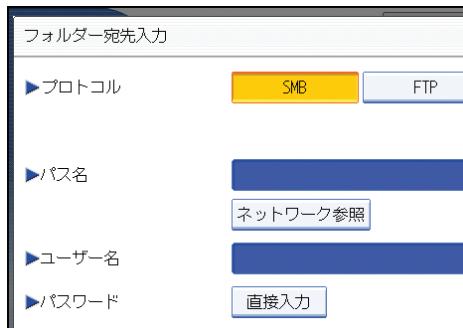
ネットワーク上のコンピューターから送信先を参照して、パスを指定します。

1. 【直接入力】を押します。



2. 【SMB】を押します。

3. パス名入力欄下の【ネットワーク参照】を押します。



ネットワーク上のドメイン、またはワークグループの一覧が表示されます。

「指定したパスは見つかりません。設定内容を確認してください。」のメッセージが表示されたときは、『トラブル解決編』「スキャナー機能がうまく使えないとき」を参照してください。

4. P.62 で確認した送信先フォルダーがあるドメイン、またはワークグループを選択します。



5. 送信先フォルダーがあるコンピューターを選択します。

目的のコンピューターが見つからない場合などは、【ひとつ上の階層へ】を押して、目的のコンピューターを見つけます。

選択したコンピューターに認証が必要な場合は、ログイン画面が表示されます。正しいユーザー名、パスワードを入力します。

6. 送信先フォルダーを選択します。

選択したフォルダーにサブフォルダーがある場合は、サブフォルダーリストが表示されます。

目的のフォルダーが見つからない場合は、【ひとつ上の階層へ】を押して、目的のフォルダーを見つけます。

7. [OK] を2回押します。

↓ 補足

- ・フォルダーにアクセス権の設定がされている場合は、ログイン画面が表示されます。正しいユーザー名、パスワードを入力してください。
- ・パス名やユーザー名、パスワードがすでに入力されているときに、プロトコルを切り替えると、確認のメッセージが表示されます。
- ・表示されるコンピューターや共有フォルダーは最大 100 件までです。
- ・共有フォルダーに書き込み権限がない場合、またはディスク容量の残りがない場合は、ファイル転送に失敗することがあります。
- ・送信先のパスは、本機のアドレス帳に登録できます。「指定した送信先のパスをアドレス帳に登録する」を参照してください。

目 参照

- ・P.87 「指定した送信先のパスをアドレス帳に登録する」

FTP サーバーに送信するとき

FTP サーバーに送信するときの送信先の指定方法について説明します。

FTP サーバーのパスを直接入力するとき

FTP サーバーのフォルダーのパスを直接入力します。

1. [直接入力] を押します。**2. [FTP] を押します。****3. サーバー名入力欄右の [直接入力] を押します。**

送信先フォルダーがあるサーバー名入力のソフトキーボードが表示されます。

4. サーバー名を入力します。

サーバー名の代わりに、IPv4 アドレスを入力できます。

5. [OK] を押します。

6. パス名入力欄右の【直接入力】を押します。

7. 送信先フォルダーのパスを入力します。

たとえば、フォルダーネームが“user”のサブフォルダーネーム“lib”に送信する場合のパスは、user/libとなります。

8. [OK]を押します。

2

9. 送信先の設定に応じて、ユーザー名を入力します。

ユーザー名入力欄右の【直接入力】を押すと、ソフトキーボードが表示されます。

10. 送信先の設定に応じて、パスワードを入力します。

パスワードの右の【直接入力】を押すと、ソフトキーボードが表示されます。

11. 日本語を入力した場合は、送信先FTPサーバーに応じて【US-ASCII】、【Shift_JIS】、【EUC-JP】のいずれかの日本語文字コードを選択します。

12. 【システム初期設定】で設定されているポート番号を変更する場合は、ポート番号表示欄右の【変更】を押します。テンキーでポート番号を入力して【#】キーを押します。

13. 【接続テスト】を押します。

指定したフォルダーへの接続を確認するために、接続テストが開始されます。

「送信先への接続に失敗しました。設定内容を確認してください。」のメッセージが表示されたときは、『トラブル解決編』「スキャナー機能がうまく使えないとき」を参照してください。

14. 接続テストの結果を確認し、【確認】を押します。

15. [OK]を押します。

↓ 補足

- ・パス名やユーザー名、パスワードがすでに入力されているときに、プロトコルを切り替えると、確認のメッセージが表示されます。
- ・接続テストには、時間がかかることがあります。
- ・接続テスト中に【接続中止】を押した直後は、【接続テスト】を押せないことがあります。
- ・入力した送信先フォルダーのパスを変更する場合は、送信先表示欄の左側の【編集】を押します。正しいフォルダーのパスを入力して【OK】を押します。
- ・送信先のパスは、本機のアドレス帳に登録できます。「指定した送信先のパスをアドレス帳に登録する」を参照してください。

↓ 参照

- ・P.87「指定した送信先のパスをアドレス帳に登録する」

NetWare サーバーに送信するとき

NetWare サーバーに送信するときの送信先の指定方法について説明します。

送信先の NetWare サーバーのフォルダーは、お使いの NetWare 環境に応じて、NDS ツリーまたは NetWare バインダリサーバーから指定できます。お使いの NetWare 環境については、管理者にお問い合わせください。

NetWare サーバーに送信するには、次の方法があります。

- NetWare サーバーの送信先パスを直接入力する
- NetWare サーバーから送信先を参照して、パスを指定する

2

NetWare サーバーのパスを直接入力するとき

NetWare サーバーの送信先フォルダーのパスを直接入力します。

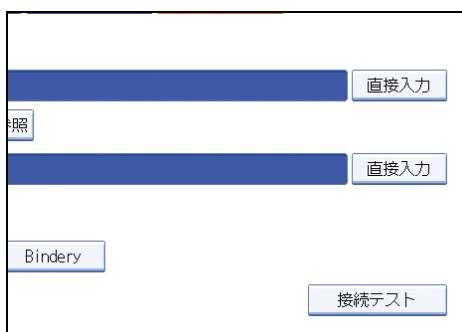
1. [直接入力] を押します。



2. [NCP] を押します。

3. 接続種別を選択します。NDS ツリーからフォルダーを指定する場合は [NDS] を選択します。NetWare のバインダリサーバーからフォルダーを指定する場合は、[Bindery] を押します。

4. パス名入力欄右の [直接入力] を押します。



送信先フォルダーのパス入力のソフトキーボードが表示されます。

5. 送信先フォルダーのパスを入力します。

接続種別で [NDS] を選択したとき、NDS ツリー名が "Tree"、ボリュームの存在するコンテキスト名が "context"、ボリューム名が "volume"、フォルダー名が "folder" である場合のパスは "¥tree¥volume.context¥folder" となります。

2

接続種別で [Bindery] を選択したとき、NetWare サーバー名が "server"、ボリューム名が "volume"、フォルダー名が "folder" である場合のパスは、"¥server¥volume¥folder" となります。

6. [OK] を押します。

7. NDS ツリーまたは NetWare のバインダリサーバーにログインするユーザー名を入力します。

ユーザー名入力欄右の [直接入力] を押すと、ソフトキーボードが表示されます。

接続種別で [NDS] を選択したときは、ユーザー名に続けてユーザーオブジェクトの存在するコンテキスト名を入力します。ユーザー名が "user"、コンテキスト名が "context" である場合の、入力するユーザー名は "user.context" になります。

8. ログインするユーザーにパスワードが設定されている場合は、パスワードを入力します。

[パスワード] の [直接入力] を押すと、ソフトキーボードが表示されます。

9. [接続テスト] を押します。

指定したフォルダーへの接続を確認するために、接続テストが開始されます。

「送信先への接続に失敗しました。設定内容を確認してください。」のメッセージが表示されたときは、『トラブル解決編』「スキャナー機能がうまく使えないとき」を参照してください。

10. 接続テストの結果を確認し、[確認] を押します。

11. [OK] を押します。

補足

- ・パス名やユーザー名、パスワードがすでに入力されているときに、プロトコルを切り替えると、確認のメッセージが表示されます。
- ・入力した送信先フォルダーのパスを変更する場合は、送信先表示欄の左側の [編集] を押します。正しいフォルダーのパスを入力して [OK] を押します。
- ・読み取り権限のないフォルダーには接続できません。
- ・接続テストには、時間がかかることがあります。
- ・接続テスト中に [接続中止] を押した直後は、[接続テスト] を押せないことがあります。
- ・接続テストが成功しても、フォルダーに書き込み権限がない場合、またはディスク容量の残りがない場合は、フォルダー送信に失敗することがあります。

- 送信先のパスは、本機のアドレス帳に登録できます。「指定した送信先のパスをアドレス帳に登録する」を参照してください。

参照

- P.87 「指定した送信先のパスをアドレス帳に登録する」

NetWare サーバーから送信先を参照して、パスを指定するとき

NDS ツリーまたは NetWare のバインダリサーバーから送信先のフォルダーを参照して、パスを指定します。

1. [直接入力] を押します。



2. [NCP] を押します。

3. 接続種別を選択します。NDS ツリーからフォルダーを指定する場合は [NDS] を選択します。NetWare のバインダリサーバーからフォルダーを指定する場合は、[Bindery] を押します。

4. パス名入力欄下の [ネットワーク参照] を押します。



接続種別で [NDS] を選択した場合は NDS ツリーの一覧が表示されます。

接続種別で [Bindery] を選択した場合は NetWare のバインダリサーバーの一覧が表示されます。

5. NDS ツリーまたは NetWare のバインダリサーバーの階層をたどり、送信するフォルダーを探します。

目的のフォルダーが見つからない場合は、[ひとつ上の階層へ] を押して、目的のフォルダーを見つけます。

6. 送信先フォルダーを選択します。

2

7. [OK] を2回押します。

↓ 補足

- ・パス名やユーザー名、パスワードがすでに入力されているときに、プロトコルを切り替えると、確認のメッセージが表示されます。
- ・読み取り権限のないフォルダーは表示されません。
- ・NDS ツリーまたは NetWare のバインダリサーバーで使用する言語が本機と異なると、NDS ツリーまたは NetWare のバインダリサーバーの一覧が正しく表示されない場合があります。
- ・一覧で表示されるのは最大で 100 件です。
- ・選択した NDS ツリーまたは NetWare のバインダリサーバーに認証が必要な場合は、ログイン画面が表示されます。NDS ツリーまたは NetWare のバインダリサーバーにログインするユーザー名とパスワードを入力します。NDS ツリーにログインするときは、ユーザー名に続けてユーザー オブジェクトの存在するコンテキスト名を入力します。ユーザー名が"user"、コンテキスト名が"context"である場合の、入力するユーザー名は"user.context"になります。
- ・送信先フォルダーに書き込み権限がない場合、またはディスク容量の残りがない場合は、フォルダー送信に失敗することがあります。
- ・送信先のパスは、本機のアドレス帳に登録できます。「指定した送信先のパスをアドレス帳に登録する」を参照してください。

目 参照

- ・P.87 「指定した送信先のパスをアドレス帳に登録する」

宛先履歴から送信先を選択するとき

直接入力した宛先の履歴から、送信先を選択します。

1. [宛先履歴] を押します。



2

直接入力した宛先の履歴が表示されます。

2. 送信先を選択します。



3. [OK] を押します。

↓ 補足

- セキュリティーの設定によっては、[宛先履歴] が表示されない場合があります。
- 宛先履歴が複数あるときは、宛先履歴表示欄横の [▲] または [▼] を押すと宛先が順に表示されます。
- 宛先履歴は、10 件まで表示されます。履歴は、古いものから順に削除されます。
- 宛先履歴の送信先のパスは、本機のアドレス帳に登録できます。「宛先履歴から送信先のパスをアドレス帳に登録する」を参照してください。

目 参照

- P.88 「宛先履歴から送信先のパスをアドレス帳に登録する」

指定した送信先のパスをアドレス帳に登録する

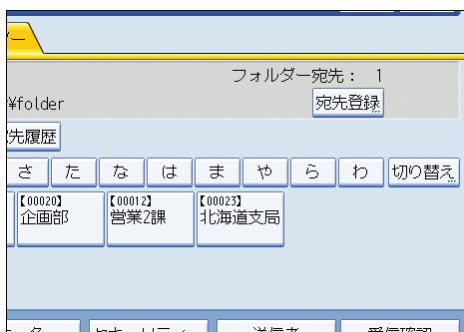
直接入力した送信先のパスやネットワークから参照した送信先のパスを、本機のアドレス帳に登録する操作手順について説明します。

1. 登録する送信先を送信先表示欄に表示させます。

2



2. [宛先登録] を押します。



3. [登録情報] を押し、名前やヨミガナなどの登録情報を設定します。

登録情報の設定については、『ネットワーク&システム初期設定編』「宛先・ユーザーを登録する」を参照してください。

4. [設定] を押します。

補足

- セキュリティの設定によっては [宛先登録] が表示されず、登録できない場合があります。

宛先履歴から送信先のパスをアドレス帳に登録する

宛先履歴から送信先のパスを、本機のアドレス帳に登録する操作手順について説明します。

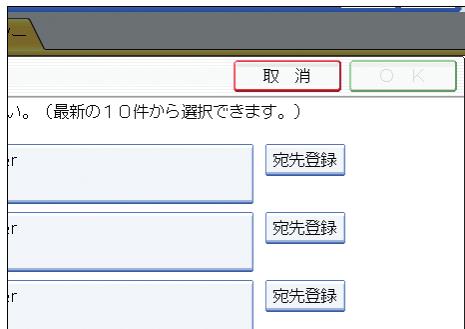
1. [宛先履歴] を押します。



2

直接入力した送信先フォルダーのパスの履歴が表示されます。

2. 登録するパスの右側にある [宛先登録] を押します。



3. [登録情報] を押し、名前やヨミガナなどの登録情報を設定します。

登録情報の設定については、『ネットワーク&システム初期設定編』「宛先・ユーザーを登録する」を参照してください。

4. [設定] を押します。

補足

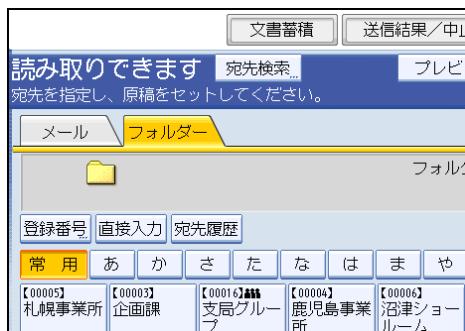
- セキュリティーの設定によっては [宛先履歴] が表示されない場合があります。
- 宛先履歴が複数あるときは、宛先履歴表示欄横の [▲] または [▼] を押すと宛先が順に表示されます。

フォルダー送信と蓄積を同時に行う

フォルダー送信と蓄積を同時に行う操作手順について説明します。

1. [文書蓄積] を押します。

2



2. [本体に蓄積+送信] が反転表示されていることを確認します。

3. 必要に応じて、[ユーザー名]、[文書名]、[パスワード] などの文書情報を設定します。

「文書情報を設定する」を参照してください。

4. [OK] を押します。

5. フォルダー送信するための設定をします。

フォルダー送信する手順については「基本的なフォルダー送信の操作手順」を参照してください。

6. 原稿をセットします。

読み取りが自動で開始されない場合、[スタート] キーを押します。

補足

- セキュリティの設定によっては、[ユーザー名] が [アクセス権] と表示される場合があります。[アクセス権] の設定手順については、管理者にお問い合わせください。
- 蓄積した文書は、再送信できます。再送信する場合は、蓄積文書指定画面で文書を選択してから送信します。「蓄積文書を送信する」を参照してください。

参照

- P.70 「基本的なフォルダー送信の操作手順」
- P.95 「文書情報を設定する」
- P.106 「蓄積文書を送信する」

3. スキャナー機能を使って文書を蓄積する

スキャナー機能を使って読み取った文書を本機に蓄積します。スキャナー機能を使って蓄積した文書は、あとからメール送信したり、フォルダー送信したりすることができます。

蓄積をする前に

スキャナー機能を使った蓄積の概要や注意事項について説明します。

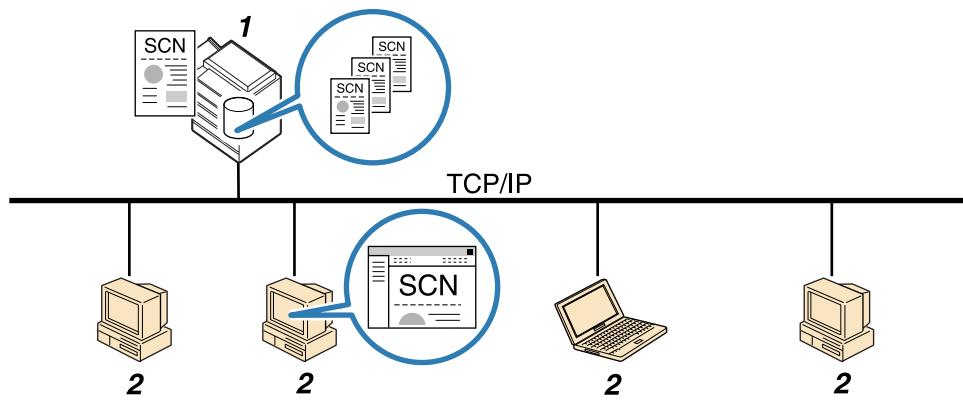
3

スキャナー機能を使った蓄積の概要

スキャナー機能を使った蓄積の概要について説明します。

★ 重要

- 蓄積文書は、文書ごとにパスワードの設定が可能です。パスワードの設定がない文書は、同じ LAN 内で Web Image Monitor を使ってアクセスできます。蓄積文書にはパスワードを設定するなど、不正なアクセスを防止する手段の検討をおすすめします。
- 万一、本体のハードディスクに不具合が発生した場合、記録保存したデータが消失することがあります。ハードディスクを重要なデータの記録保存には使用しないことをおすすめします。お客様のデータの消失による損害につきましては、当社は一切その責任を負えませんので、あらかじめご了承ください。



1. 本機

読み取った文書を本機のハードディスクに蓄積します。蓄積した文書はメール送信、フォルダー送信できます。

2. クライアントコンピューター

Web Image Monitor から、ネットワーク経由で本機の蓄積文書を閲覧、ダウンロード、削除、送信できます。Web Image Monitor については、Web Image Monitor のヘルプを参照してください。

補足

- 蓄積した文書は、一定日数経過すると自動的に消去されるように設定されています。設定、変更のしかたについては、『ネットワーク&システム初期設定編』「管理者用設定」を参照してください。
- スキャナー機能で蓄積した文書は、本機の操作部からは印刷できません。印刷は文書をクライアントコンピューターで引き取ったあとに行ってください。
- 送信と蓄積を同時に行うこともできます。「メール送信と蓄積を同時に行う」、「フォルダー送信と蓄積を同時に行う」を参照してください。
- オプションのメディアスロットを装着している場合、読み取った文書をメディアに保存できます。保存の方法については、「基本的なメディア保存の操作手順」を参照してください。

参照

- P.50 「メール送信と蓄積を同時に行う」
- P.90 「フォルダー送信と蓄積を同時に行う」
- P.115 「基本的なメディア保存の操作手順」

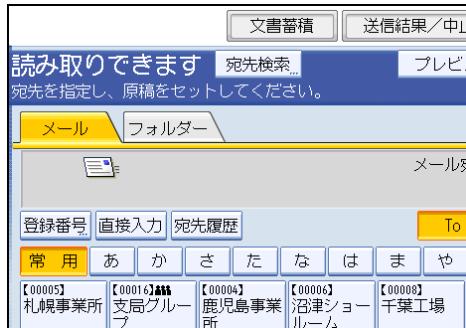
基本的な蓄積の操作手順

蓄積の基本的な操作手順について説明します。

1. 前の設定が残っていないことを確認します。

前の設定が残っているときは [リセット] キーを押します。

2. [文書蓄積] を押します。



3

3. [本体に蓄積] を押します。

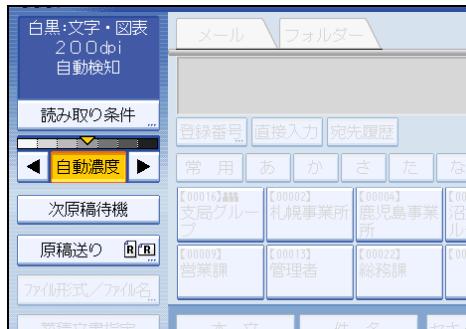
4. 必要に応じて、[ユーザー名]、[文書名]、[パスワード] などの文書情報を設定します。

「文書情報を設定する」を参照してください。

5. [OK] を押します。

6. 必要に応じて [読み取り条件] を押し、解像度や読み取りサイズなどを設定します。

「読み取り条件」での設定内容については、「いろいろな読み取りの設定」を参照してください。



7. 必要に応じて、読み取り濃度を調整します。

「読み取り濃度を調整する」を参照してください。

8. 必要に応じて [次原稿待機] を押します。

「次原稿を待機する」を参照してください。

9. 必要に応じて [原稿送り] を押し、原稿のセット方向を設定します。

「原稿送りについて設定する」を参照してください。

10. 原稿をセットします。

読み取りが自動で開始されない場合、[スタート] キーを押します。

 **補足**

3

- セキュリティの設定によっては、[ユーザー名] が [アクセス権] と表示される場合があります。[アクセス権] の設定手順については、管理者にお問い合わせください。
- [本体に蓄積+送信] を押すと、蓄積と送信を同時にを行うことができます。「メール送信と蓄積を同時に使う」、「フォルダー送信と蓄積を同時に使う」を参照してください。
- 以下の場合は [本体に蓄積] を選択できません。
 - 送信先が 1 件でも選択されているとき
 - [プレビュー] が選択されているとき
 - ファイル形式で PDF を選択し、セキュリティ設定をしているとき
- 読み取りを中止するには [クリア/ストップ] キーを押します。
- 蓄積の完了後、設定した文書情報は自動的にリセットされます。蓄積完了後に文書情報を自動的にリセットさせたくない場合は、サービス実施店または販売店にお問い合わせください。

 **参照**

- P.50 「メール送信と蓄積を同時に使う」
- P.90 「フォルダー送信と蓄積を同時に使う」
- P.95 「文書情報を設定する」
- P.127 「いろいろな読み取りの設定」
- P.136 「読み取り濃度を調整する」
- P.137 「次原稿を待機する」
- P.138 「原稿送りについて設定する」
- P.140 「複数枚の原稿を 1 つの文書として読み取る」

文書情報を設定する

蓄積する文書にユーザー名、文書名、パスワードの文書情報を設定します。

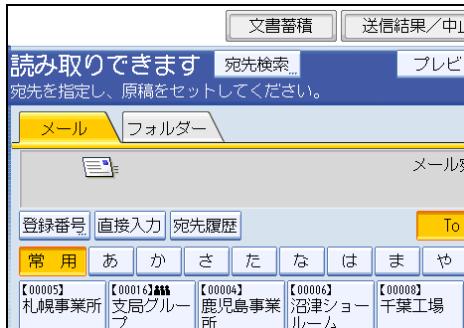
文書情報を設定しておくことにより、ユーザー名や文書名で目的の文書を検索したり、蓄積した文書を他の人が操作できないようにパスワードで管理したりできます。

ユーザー名を設定する

文書にユーザー名を設定します。

3

1. [文書蓄積] を押します。



文書蓄積画面に切り替わります。

2. [ユーザー名] を押します。

ユーザー名一覧が表示されます。

3. 設定するユーザー名を押します。

ここに表示されている一覧は、[システム初期設定] の [管理者用設定] タブで登録したアドレス帳の内容です。ここに表示されていない名称を設定するときは、[登録外文字列] を押してユーザー名を入力します。

4. [OK] を2回押します。

補足

- セキュリティの設定によっては、[ユーザー名] が [アクセス権] と表示される場合があります。[アクセス権] の設定手順については、管理者にお問い合わせください。

文書名を設定する

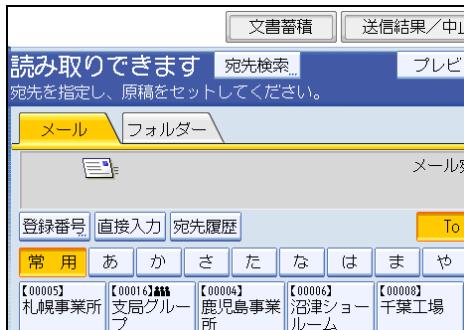
蓄積した文書の文書名を変更します。

蓄積した文書には、文字列「SCAN」と4桁の連番数字で作られる文書名が付与されます。

- 例：SCAN0001

この文書名を変更することができます。

1. [文書蓄積] を押します。



3

文書蓄積画面に切り替わります。

2. [文書名] を押します。

文書名入力のソフトキーボードが表示されます。

3. 文書名を変更します。

4. [OK] を2回押します。

補足

- 文字の入力方法については、『本機をお使いになる方へ』「文字入力のしかた」を参照してください。

パスワードを設定する

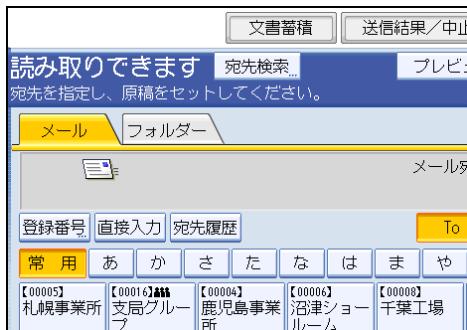
文書にパスワードを設定します。

★ 重要

- 設定したパスワードは忘れないようにしてください。もしパスワードを忘れてしまったときは、本機の管理担当者の方にお問い合わせください。

文書にパスワードを設定すると、パスワードを知っている人だけが文書を閲覧できるようになります。

1. [文書蓄積] を押します。



3

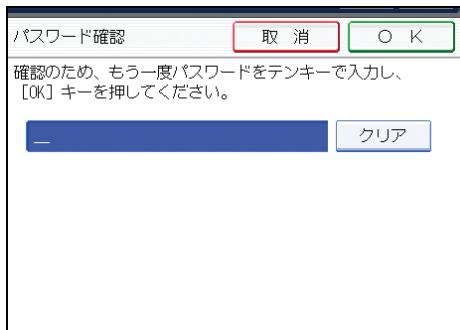
文書蓄積画面に切り替わります。

2. [パスワード] を押します。

3. テンキーで 4 行～8 行の数字を入力します。

4. [OK] を押します。

5. 入力した数字と同じ数字を再度、テンキーで入力します。



6. [OK] を 2 回押します。

蓄積した文書の一覧表示について

蓄積した文書の一覧表示について説明します。

蓄積した文書の消去や文書情報の変更は、蓄積文書の一覧画面で行います。

一覧画面について

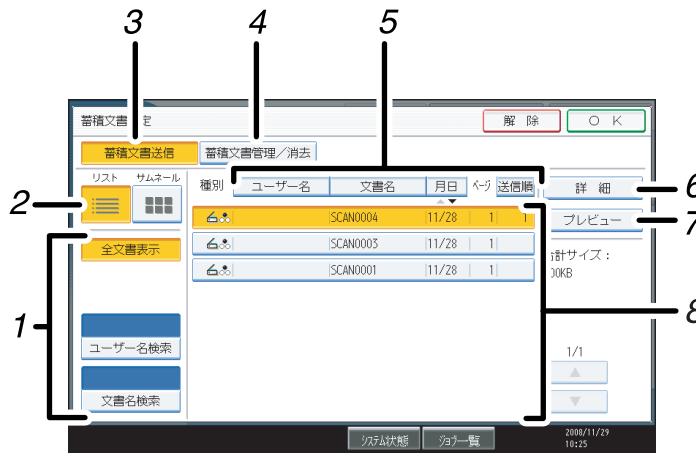
3

蓄積した文書の一覧画面の構成について説明します。

蓄積文書の一覧画面は、初期画面で [蓄積文書指定] を押すと表示されます。

表示されているそれぞれの機能項目は、選択キーになっています。選択キーを押すによって、項目を選んだり、指定したりすることができます。

機能項目を選択または指定したときは、**TIFF** のように反転表示されます。機能項目を選択または指定できないときは、**文書蓄積** のようにうすく表示されます。



BUX005

1. 文書検索用キー

ユーザー名または文書名で目的の文書を検索する画面と、すべての文書が表示される画面とを切り替えます。

2. リスト/サムネール

蓄積文書の一覧をリスト表示とサムネール表示に切り替えます。

3. [蓄積文書送信]

蓄積されている文書をフォルダー送信、メール送信するときに押します。

4. [蓄積文書管理/消去]

蓄積した文書を消去したり、文書情報を変更するときに押します。

5. 並べ替え用キー

選択した項目で文書を並べ替えます。同じ項目をもう一度押すと、昇順と降順が切り替わります。配信順は常に昇順です。

6. [詳細]

選択した文書の詳細情報が表示されます。

7. [プレビュー]

選択した文書のプレビューが表示されます。「一覧画面から蓄積文書を確認する」を参照してください。

8. 蓄積文書の一覧

蓄積されている文書の一覧が表示されます。

目的の文書が表示されていないときは、[▲] または [▼] を押して表示を切り替えます。

パスワードが設定されている文書には、ユーザー名の左横にカギマーク (I) が表示されます。

補足

- 長さが 1219 mm を超える原稿は、プレビュー表示できません。
- セキュリティーの設定によっては、表示される文書が制限される場合があります。
- スキャナー以外の機能から蓄積した文書は、ここでは表示されません。[ドキュメントボックス] キーを押して表示させます。

参照

- P.102 「一覧画面から蓄積文書を確認する」

一覧画面から目的の文書を検索する

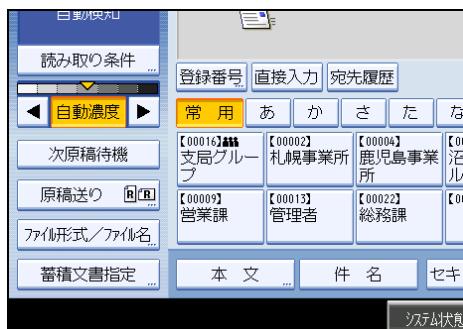
蓄積されている文書の中からユーザー名または文書名を使って目的の文書を検索します。

一覧画面から目的の文書を検索するには、次の方法があります。

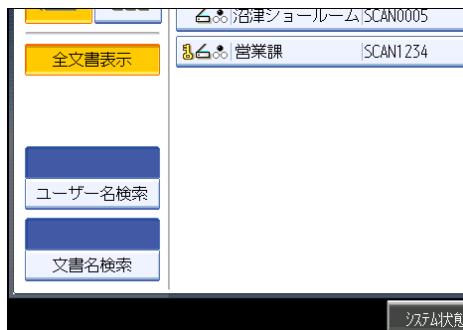
- ユーザー名で検索する
- 文書名で検索する

ユーザー名で検索する

蓄積されている文書をユーザー名で検索します。

1. [蓄積文書指定] を押します。

2. [ユーザー名検索] を押します。



3

3. 検索対象にするユーザー名を押します。

ここに表示されている一覧は、[システム初期設定] の [管理者用設定] で登録したアドレス帳の内容です。ここに表示されていない名称を設定するときは、[登録外文字列] を押してユーザー名を入力します。

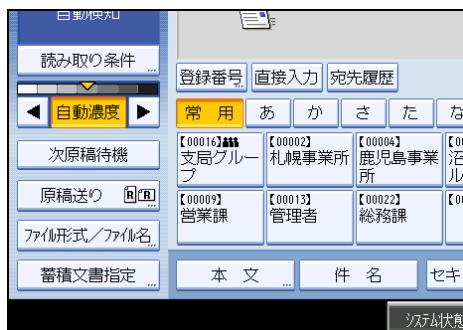
4. [OK] を押します。

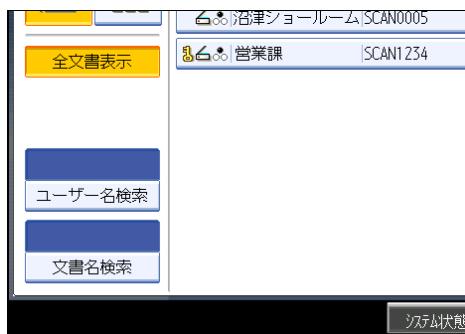
検索が開始され、指定したユーザー名で蓄積されている文書だけが表示されます。

文書名で検索する

蓄積されている文書を文書名で検索します。

1. [蓄積文書指定] を押します。



2. [文書名検索] を押します。

文書名検索のソフトキーボードが表示されます。

3. 検索対象にする文書名を入力します。

文字の入力方法については、『本機をお使いになる方へ』「文字入力のしかた」を参照してください。

4. [OK] を押します。

検索が開始され、入力した文字列で始まる文書名の文書だけが表示されます。

蓄積文書を確認する

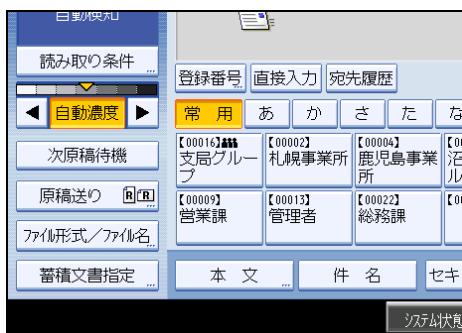
本機やクライアントコンピューターから、蓄積した文書を表示して確認できます。

一覧画面から蓄積文書を確認する

一覧画面から、選択した蓄積文書のプレビューを表示します。

3

1. [蓄積文書指定] を押します。



蓄積文書の一覧画面が表示されます。

画面の表示内容については、「一覧画面について」を参照してください。

2. 蓄積文書の一覧から、確認する文書を選択します。

複数の文書を指定できます。

3. [プレビュー] を押します。

蓄積文書のプレビュー画面が表示されます。

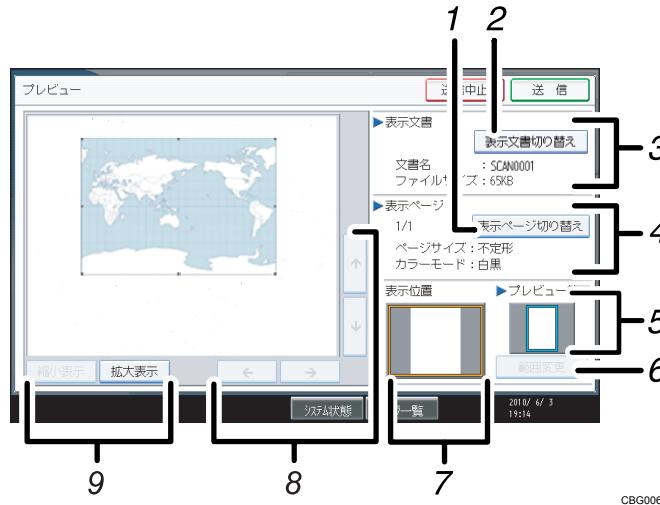
補足

- ・パスワードが設定されている蓄積文書を選択したときは、パスワードを入力する画面が表示されます。正しいパスワードを入力して [実行] を押すと、文書が選択されます。

参照

- ・P.98 「一覧画面について」

蓄積文書のプレビュー画面



1. [表示ページ切り替え]

選択した文書の表示ページを変更します。

2. [表示文書切り替え]

表示する文書を変更します。

3. 表示文書

文書名、ファイルサイズが表示されます。

4. 表示ページ

表示ページ番号と総ページ数、ページサイズ、カラーモードが表示されます。

5. プレビュー範囲

原稿のどの部分をプレビュー表示しているかが表示されます。

A2 または 457mm×609mm より大きいサイズの場合、原稿のすべての領域はプレビュー表示されず、特定した位置、サイズ、向きで切り出した画像が表示されます。

切り出し位置は [範囲変更] ボタンから設定できます。

6. [範囲変更]

A2 または 457mm×609mm より大きいサイズの場合、プレビュー表示させる原稿の位置、サイズ、向きを変更できます。

7. 表示位置

画像を拡大したときに、文書に対して表示されている位置が表示されます。

8. [←] [→] [↑] [↓]

表示させる部分を移動できます。

9. [縮小表示]、[拡大表示]

文書を縮小または拡大して表示できます。

補足

- 長さが 1219mm を超える原稿を読み取った場合、プレビュー表示できません。

クライアントコンピューターから蓄積文書を確認する

Web Image Monitor を使うと、本機に蓄積した文書をクライアントコンピューター側で表示できます。

3

- クライアントコンピューターから蓄積文書を確認するときは、Web Image Monitor 側で、本機の IPv4 アドレスが設定されている必要があります。

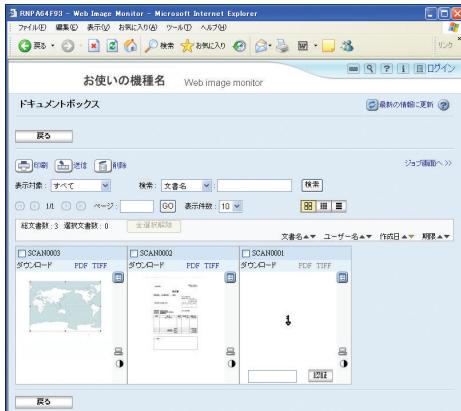
コピー機能、ドキュメントボックス機能、プリンター機能を使用して蓄積した文書も確認できます。

説明で使用している画面はサンプル例です。お使いの機種や環境によっては、表示される項目が実際のものと違う場合があります。

Web Image Monitor での表示

Web Image Monitor を使うと、蓄積した文書をクライアントコンピューター上で表示できます。

蓄積した文書は、Web Image Monitor では次のように表示されます。



画面はサンプル例です。表示される項目が実際のものと違う場合があります。

クライアントコンピューターから Web ブラウザーのアドレス入力欄に、<http://>（本機の IPv4 アドレスまたはホスト名）/を入力すると、Web Image Monitor のトップ画面が表示されます。

 重要

- 本機の IPv4 アドレスを入力する場合、各セグメントの先頭に付く「0」は入力しないでください。たとえば、「192.168.001.010」の場合は、「192.168.1.10」と入力します。「192.168.001.010」と入力すると、本機に接続できません。

 補足

- 蓄積文書をダウンロードできます。
- Web Image Monitor は、同一ネットワーク環境での使用を推奨します。
- Web Image Monitor を使った蓄積文書の表示・ダウンロード機能については、『コピー機能&ドキュメントボックス機能編』「蓄積文書を Web Image Monitor で表示する」「蓄積文書を Web Image Monitor でダウンロードする」を参照してください。
- Web Image Monitor を使用するための設定については、『ネットワーク&システム初期設定編』「機器の監視」を参照してください。
- Web Image Monitor を使った蓄積文書管理機能の詳細は、Web ブラウザーに表示された各画面右上の【ヘルプ】をクリックして表示させてください。

蓄積文書を送信する

蓄積されている文書の送信方法について説明します。

蓄積文書は、後からメール送信、フォルダー送信できます。

蓄積文書をメール送信するには、以下の2種類の方法があります。どちらで送信するかは【スキャナー初期設定】の設定によります。蓄積文書メール送信の設定については、「送信設定」を参照してください。

- URL アドレスをメール送信する

3

【スキャナー初期設定】の【送信設定】タブの「蓄積文書メール内容」で【URL リンク】を選択します。

ネットワーク環境に制限があり、メールに文書を添付できない場合などに便利です。

- 文書を添付してメール送信する

【スキャナー初期設定】の【送信設定】タブの「蓄積文書メール内容」で【文書】を選択します。

★ 重要

- URL アドレスをメール送信する場合、メールソフトによっては、メールを受信したときに、フィッシングの警告が出る可能性があります。回避方法については、メールソフトのヘルプを参照の上、送信者を警告対象外に設定してください。

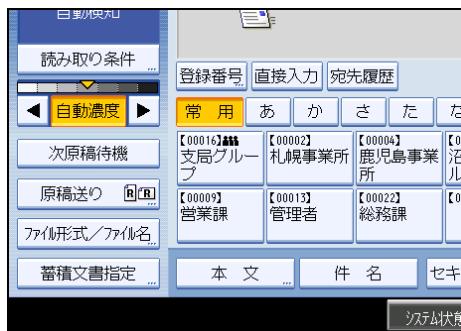
目 参照

- P.162 「送信設定」

蓄積されている文書を送信する

ここでは、蓄積文書を送信する手順について説明します。蓄積文書の選択方法や送信の詳しい設定については、それぞれの参照先で確認してください。

1. 【蓄積文書指定】を押します。



蓄積文書の一覧画面が表示されます。

2. 送信する文書を選択します。

複数の文書を選択できます。

複数の文書を選択したときは、選択した順に送信されます。

[送信順] を押すと、選択した文書だけが送信順に表示されます。

3. [OK] を押します。

4. 必要に応じてメール送信画面、フォルダー送信画面へ切り替えます。

画面の切り替えについては、「メール送信画面に切り替える」、「フォルダー送信画面に切り替える」を参照してください。

3

5. 送信先アドレスの指定など、送信するための設定をします。

メール送信、フォルダー送信のそれぞれの操作手順については「基本的なメール送信の操作手順」、「基本的なフォルダー送信の操作手順」を参照してください。

6. [スタート] キーを押します。

蓄積文書が送信されます。

補足

- ・パスワードが設定されている蓄積文書を選択したときは、パスワードを入力する画面が表示されます。正しいパスワードを入力して [実行] を押すと、文書が選択されます。
- ・URL アドレスをメール送信した場合、送信されたメールから URL アドレスをクリックして蓄積文書を確認できます。URL アドレスからの蓄積文書確認については、「URL アドレスをメール送信する」を参照してください。
- ・メールを暗号化したり、メールに署名して送信できます。「メールにセキュリティーの設定をする」を参照してください。

参照

- ・P.28 「基本的なメール送信の操作手順」
- ・P.31 「メール送信画面に切り替える」
- ・P.55 「URL アドレスをメール送信する」
- ・P.70 「基本的なフォルダー送信の操作手順」
- ・P.73 「フォルダー送信画面に切り替える」
- ・P.52 「メールにセキュリティーの設定をする」

蓄積文書の管理

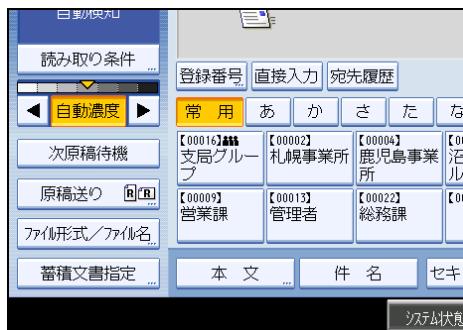
蓄積されている文書を消去したり、文書情報をあとから変更する操作手順について説明します。

蓄積文書を消去する

3

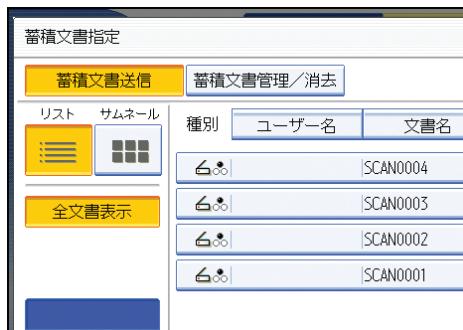
蓄積されている文書が不要になった場合に、文書を消去する操作手順について説明します。

1. [蓄積文書指定] を押します。



蓄積文書の一覧画面が表示されます。

2. [蓄積文書管理/消去] を押します。



3. 消去する文書を選択します。

パスワードが指定されている蓄積文書を選択したときは、パスワードを入力する画面が表示されます。正しいパスワードを入力し、[実行] を押してください。

4. [文書消去] を押します。

文書消去の確認メッセージが表示されます。

5. [消去する] を押します。

↓ 補足

- 送信待機中の文書は消去できません。
- クライアントコンピューターから Web Image Monitor を使って本機に蓄積されている文書を消去することもできます。Web Image Monitor については、Web Image Monitor のヘルプを参照してください。

蓄積文書の文書情報を変更する

蓄積されている文書のユーザー名、文書名、パスワードを変更します。

3

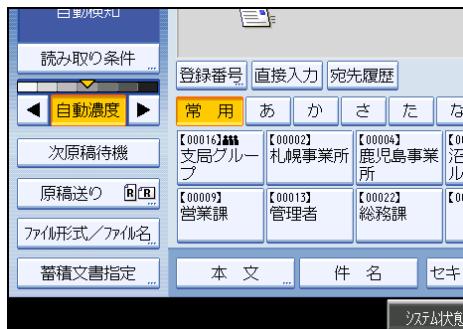
↓ 補足

- 送信待機中の文書の文書情報は変更できません。

ユーザー名を変更する

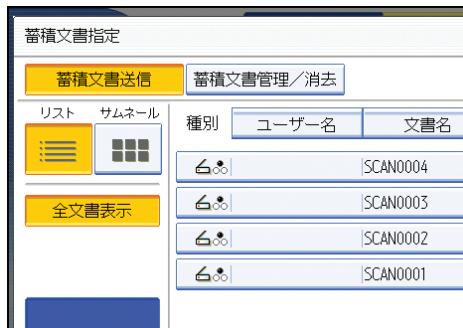
蓄積されている文書のユーザー名を変更します。

1. [蓄積文書指定] を押します。



蓄積文書の一覧画面が表示されます。

2. [蓄積文書管理/消去] を押します。



3. 文書情報を変更する文書を選択します。

パスワードが設定されている蓄積文書を選択したときは、パスワードを入力する画面が表示されます。正しいパスワードを入力し、[実行] を押してください。

4. [ユーザー名変更] を押します。

5. 新しいユーザー名を入力します。

ここに表示されている一覧は、[システム初期設定] の [管理者用設定] で登録したアドレス帳の内容です。ここに表示されていない名称を設定するときは、[登録外文字列] を押してユーザー名を入力します。

3

6. [OK] を押します。

7. 変更した文書情報を確認し、[閉じる] を押します。

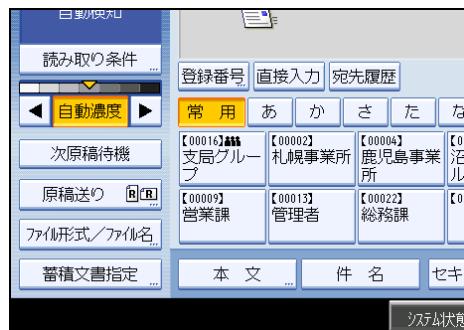
↓ 補足

- ・クライアントコンピューターから Web Image Monitor を使って、本機に蓄積されている文書のユーザー名を変更することもできます。Web Image Monitor については、Web Image Monitor のヘルプを参照してください。
- ・セキュリティーの設定によっては、[ユーザー名変更] が [アクセス権変更] と表示される場合があります。[アクセス権変更] の設定手順については、管理者にお問い合わせください。

文書名を変更する

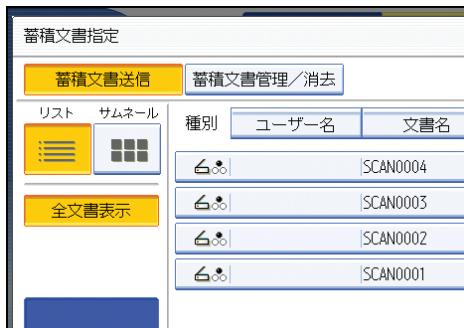
蓄積されている文書の文書名を変更します。

1. [蓄積文書指定] を押します。



蓄積文書の一覧画面が表示されます。

2. [蓄積文書管理/消去] を押します。



3

3. 文書情報を変更する文書を選択します。

パスワードが設定されている蓄積文書を選択したときは、パスワードを入力する画面が表示されます。正しいパスワードを入力し、[実行] を押してください。

4. [文書名変更] を押します。

5. 文書名を変更します。

6. [OK] を押します。

7. 変更した文書情報を確認し、[閉じる] を押します。

↓ 補足

- 文字の入力方法については、『本機をお使いになる方へ』「文字入力のしかた」を参照してください。
- クライアントコンピューターから Web Image Monitor を使って本機に蓄積されている文書の文書名を変更することもできます。Web Image Monitor については、Web Image Monitor のヘルプを参照してください。

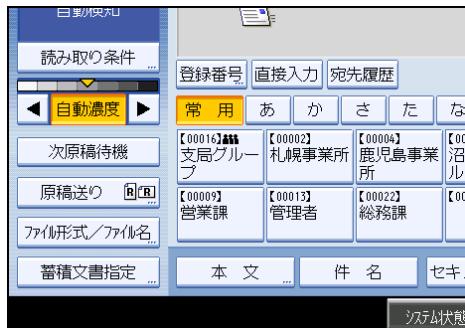
パスワードを変更する

蓄積されている文書のパスワードを変更します。

★ 重要

- 設定したパスワードは忘れないようにしてください。もしパスワードを忘れてしまったときは、本機の管理担当者の方にお問い合わせください。

1. [蓄積文書指定] を押します。



蓄積文書の一覧画面が表示されます。

2. [蓄積文書管理/消去] を押します。

3. 文書情報を変更する文書を選択します。

パスワードが設定されている蓄積文書を選択したときは、パスワードを入力する画面が表示されます。正しいパスワードを入力し、[実行] を押してください。

4. [パスワード変更] を押します。

5. テンキーで、新しいパスワードを4桁～8桁の数字で入力します。

6. [OK] を押します。

7. 入力した数字と同じ数字を再度、テンキーで入力します。

8. [OK] を押します。

9. [閉じる] を押します。

▼ 補足

- クライアントコンピューターから Web Image Monitor を使って本機に蓄積されている文書のパスワードを変更することもできます。Web Image Monitor については、Web Image Monitor のヘルプを参照してください。

4. 読み取った文書を外部メディアに保存する

オプションのメディアスロットを装着している場合、スキャナー機能を使って読み取った文書を、外部メディアに保存できます。コンピューターを使用せずに、簡単に紙文書の電子化・保存ができます。

メディアに読み取った文書を保存する前に

スキャナー機能を使ったメディア保存の概要や注意事項について説明します。

4

メディア保存の概要

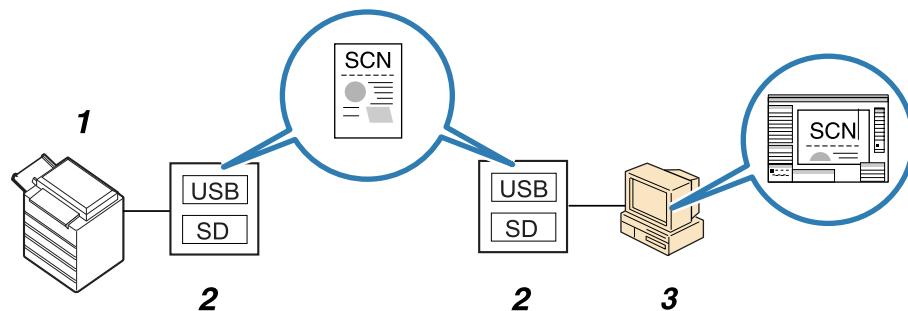
スキャナー機能を使ったメディア保存の概要について説明します。

★ 重要

- ・使用できるメディアは USB メモリーと SD カードです。ただし、すべてのメディアは保証していません。
- ・メディアは、FAT16 または FAT32 ファイルシステムでフォーマットされたものをお使いください。
- ・お使いになる USB メモリーがパスワード設定などのセキュリティー機能を有効にしている場合、正しく動作しない場合があります。
- ・メディアスロットは本機以外に接続しないでください。
- ・USB メモリー挿入口には、USB メモリー以外を挿入しないでください。正しく動作しない場合があります。
- ・メディアは、データの書き込みが完了してから取り出してください。書き込み中にメディアを取り出すと、メディアが破損することがあります。
- ・データ書き込み中に本体主電源スイッチを切らないでください。書き込み中のデータが破損することがあります。
- ・データ書き込み中にやむをえず本体の電源が切れてしまった場合は、メディア内のデータを確認してください。

↓ 補足

- ・ご使用の USB メモリー、SD カードによって保存までにかかる速度が異なります。



ZZZ807S

4

1. 本機

読み取った文書をメディアに保存します。

2. 外部メディア

本機で読み取った文書を保存します。

3. クライアントコンピューター

クライアントコンピューターのアプリケーションを使用して、メディアに保存した文書の印刷や表示などができます。

↓ 補足

- メディアに保存した文書は、蓄積文書一覧には表示されません。
- メディアに保存した文書は、本機の操作部から印刷や送信はできません。クライアントコンピューターのアプリケーションを使用して行ってください。

基本的なメディア保存の操作手順

読み取った文書を外部メディアに保存する方法について説明します。

1. メディアスロットにメディアを挿入します。

一度に挿入できるメディアは1種類です。SDカードとUSBメモリーを同時に挿入してのご使用はできません。

2. 前の設定が残っていないことを確認します。

前の設定が残っているときは [リセット] キーを押します。

3. [文書蓄積] を押します。

4. [メディアに蓄積] を押します。

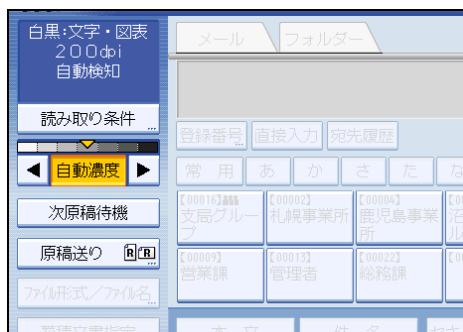
4



5. [OK] を押します。

6. 必要に応じて [読み取り条件] を押し、解像度や読み取りサイズなどを設定します。

「読み取り条件」での設定内容については、「いろいろな読み取りの設定」を参照してください。



7. 必要に応じて、読み取り濃度を調整します。

「読み取り濃度を調整する」を参照してください。

8. 必要に応じて [次原稿待機] を押します。

「次原稿を待機する」を参照してください。

9. 必要に応じて [原稿送り] を押し、原稿のセット方向を設定します。

「原稿送りについて設定する」を参照してください。

10. 必要に応じて [ファイル形式/ファイル名] を押し、ファイル形式とファイル名などを設定します。

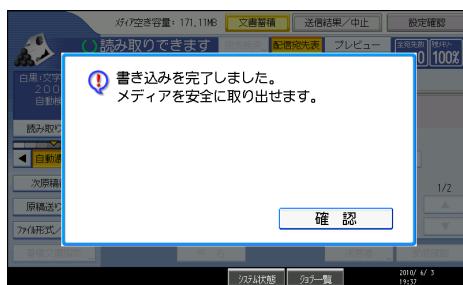
「ファイル形式とファイル名を設定する」を参照してください。

11. 原稿をセットします。

読み取りが自動で開始されない場合、[スタート] キーを押します。

メディアへの書き込みが完了すると、確認メッセージが表示されます。

12. [確認] を押します。



13. メディアスロットからメディアを取り外します。

メディアは、必ずデータの書き込みが完了してから取り出してください。書き込み中にメディアを取り出すと、メディアが破損することがあります。

補足

- 保存先の指定はできません。メディアのルートディレクトリに保存されます。
- メディアを複数の領域（パーティション）に分割している場合は、先頭のパーティションに書き込まれます。
- ユーザー名、文書名、パスワードなどの文書情報は設定できません。
- メディアを挿入すると、空き容量が表示されます。ただし、10GB を超えるメディアの場合は、空き容量は「9999.99MB」と表示されます。
- メディアへの書き込みを中止するには [クリア/ストップ] キーを押します。複数のファイルをメディアに書き込んでいる場合は、書き込みが完了したファイルだけがメディアに保存されます。
- [メディアアクセス] ランプは、次のとおり点灯または点滅します。

メディアの種類	点灯または点滅のタイミング
USB メモリー	挿している間は常に点灯します。
SD カード	SD カードにアクセスしているときだけ点滅します。

 参照

- P.127 「いろいろな読み取りの設定」
- P.136 「読み取り濃度を調整する」
- P.137 「次原稿を待機する」
- P.138 「原稿送りについて設定する」
- P.140 「複数枚の原稿を 1 つの文書として読み取る」
- P.143 「ファイル形式とファイル名を設定する」

5. ネットワーク TWAIN スキャナーで文書を読み取る

クライアントコンピューターから TWAIN ドライバーを使い、ネットワーク経由で本機の原稿を読み取ります。

TWAIN スキャナーを使用する前に

TWAIN スキャナーを使用するためには必要な準備や操作などについて説明します。

★ 重要

- TWAIN スキャナーを利用するには、クライアントコンピューターに TWAIN ドライバーをインストールしておく必要があります。TWAIN ドライバーは付属の CD-ROM に収録されています。TWAIN ドライバーのインストールについては、「付属 CD-ROM から TWAIN ドライバーをインストールする」を参照してください。
- TWAIN スキャナーを利用するには、TWAIN 対応アプリケーションがクライアントコンピューターにインストールされている必要があります。

5

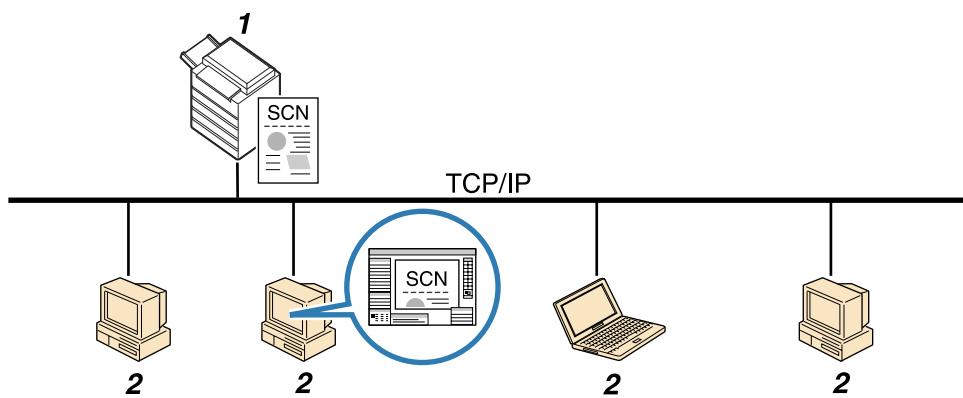
□ 参照

- P.122 「付属 CD-ROM から TWAIN ドライバーをインストールする」

TWAIN スキャナーの概要

TWAIN スキャナーを使った読み取りの概要について説明します。

TWAIN スキャナー機能を利用すると、本機を複数の PC で共有できるため、スキャナー専用 PC を用意したり、使用する PC ごとにスキャナーを接続しなおすなどの手間がいりません。



ZZZ805S

1. 本機

クライアントコンピューターからの指示を受信し、原稿を読み取ります。

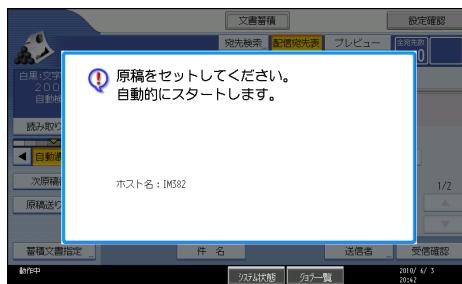
読み取った文書をクライアントコンピューターにネットワーク経由で送信します。

2. クライアントコンピューター

TWAIN 対応アプリケーションから、スキャナーの設定、操作をします。本機で読み取られた文書を受信し、TWAIN 対応アプリケーションで表示します。

補足

- TWAIN スキャナーとして使用するときは、操作部の【スキャナー】キーを押す必要はありません。TWAIN ドライバーを使いクライアントコンピューターで原稿を読み取ると、自動的に画面が切り替わります。



5

TWAIN スキャナーを使うための準備について

本機を TWAIN スキャナーとして使用するためには、事前に以下の準備が必要です。

- ネットワーク環境への接続を確認する
- [システム初期設定] でネットワークを設定する
- TWAIN ドライバーをインストールする
- TWAIN 対応アプリケーションをインストールする

ネットワーク環境への接続を確認する

本機がネットワーク環境に接続されているかを確認します。

接続の方法については、『ネットワーク&システム初期設定編』「接続と設定」を参照してください。

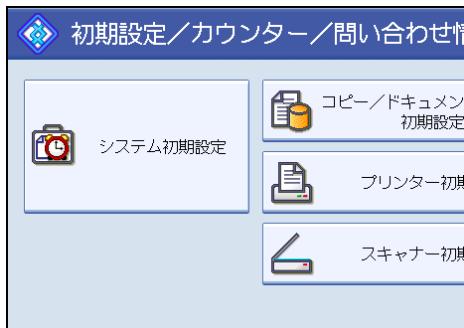
[システム初期設定] でネットワークを設定する

ご使用の環境や目的に応じて、[システム初期設定] でネットワークの各項目を設定します。

ここでは、本機のネットワーク接続にイーサネットケーブルおよび IPv4 を使用する場合を例に、設定手順を説明します。

ご使用の環境によって設定項目は異なります。詳しい設定方法や設定項目については、『ネットワーク&システム初期設定編』「ネットワークの設定」を参照してください。

1. [初期設定／カウンター／問い合わせ情報] キーを押して表示される画面で、[システム初期設定] を押します。



5

システム初期設定画面が表示されます。

2. [インターフェース設定] タブを押します。



3. [本体 IPv4 アドレス] を押して、本機に IPv4 アドレスを設定します。

本機に固定の IPv4 アドレスを設定する場合は、[指定] を押し、IPv4 アドレスとサブネットマスクをそれぞれ入力します。

DHCP サーバーから IPv4 アドレスを自動で取得する場合は、[自動的に取得 (DHCP)] を押します。

4. [IPv4 ゲートウェイアドレス] を押し、IPv4 ゲートウェイアドレスを入力します。
5. [有効プロトコル] を押し、[IPv4] を有効にします。
6. [終了] を 2 回押します。

↓ 補足

- ・拡張無線 LAN ボードを装着している場合で、イーサネット接続するときは、[インターフェース設定] タブの [ネットワークインターフェース選択] で、[イーサネット] を選択する必要があります。

TWAIN ドライバーをインストールする

お使いのコンピューターへ TWAIN ドライバーをインストールします。

TWAIN ドライバーのインストールについては、「付属 CD-ROM から TWAIN ドライバーをインストールする」を参照してください。

↓ 参照

- ・P.122 「付属 CD-ROM から TWAIN ドライバーをインストールする」

5

TWAIN 対応アプリケーションをインストールする

TWAIN スキャナーを利用するには、TWAIN 対応アプリケーションがクライアントコンピューターにインストールされている必要があります。

付属 CD-ROM から TWAIN ドライバーをインストールする

付属の CD-ROM に収録されてる TWAIN ドライバーのインストールについて説明します。TWAIN スキャナーを使用するには、TWAIN ドライバーがクライアントコンピューターにインストールされている必要があります。

1. Windows が起動していることを確認し、付属の CD-ROM をクライアントコンピューターの CD-ROM ドライブにセットします。
インストーラーが起動します。
2. [TWAIN ドライバー (スキャナードライバー)] をクリックします。
3. TWAIN ドライバーのインストーラーが起動します。メッセージにしたがって操作してください。

↓ 補足

- ・インストールを始める前に TWAIN ドライバーの動作環境を確認してください。詳しい動作環境については、「CD-ROM 収録ソフトウェア」を参照してください。
- ・インストールはオートランプログラムを使用して行います。インストーラーが自動的に起動しない場合は、「オートランプログラムについて」を参照してください。
- ・インストールが終了したときに、クライアントコンピューターを再起動するように指示するメッセージが表示されることがあります。この場合は、クライアントコンピューターを再起動してから操作を続けてください。

- インストールが終わると、[スタート] メニューの [プログラム] または [すべてのプログラム] にお使いの機器名のフォルダーが作成され、ここからヘルプを表示できます。
- 「Readme.txt」には、TWAIN スキャナーを使う上での注意事項などが書かれていますので、使用する前に必ずお読みください。

目 参照

- P.174 「CD-ROM 収録ソフトウェア」
- P.174 「オートランプログラムについて」

TWAIN スキャナーの使いかた

- TWAIN スキャナーを利用するには、TWAIN 対応アプリケーションと TWAIN ドライバーをクライアントコンピューターにインストールしておく必要があります。TWAIN 対応アプリケーションでは、読み取りに使用するスキャナーを選択し、スキャナーコントロールダイアログで読み取りの設定をしてください。
- お使いのアプリケーションを使用して、TWAIN スキャナーで読み取りを行う方法は、お使いのアプリケーションの説明書を参照してください

 重要

- 使用する OS が Windows XP SP2/Vista/7、Windows Server 2003/2003 R2/2008 の場合、Windows ファイアウォールやウィルス対策ソフトが有効なときは、「スキャナーが見つかりません。」または「スキャナーから応答がありません。」のメッセージが表示され、TWAIN スキャナーでの読み取りができない場合があります。この場合は、Windows ファイアウォールまたはウィルス対策ソフトの設定を確認してください。詳しくは Windows のヘルプを参照してください。

5

 補足

- すでにスキャナーが選択されている場合、次に変えるまでスキャナー選択は必要ありません。
- お使いのアプリケーションからスキャナーが見つからない場合は、スキャナーが正しくネットワークに接続され、IPv4 アドレスが設定されているかどうか確認してください。それでもリストに表示されない場合は、TWAIN ドライバーと同時にインストールされる「Network 接続限定ツール」で [特定のスキャナーを使用する] にチェックを入れて本機の IP アドレス、またはホスト名を指定してください。詳しくは、「Network 接続限定ツール」のヘルプを参照してください。

TWAIN スキャナー使用時の読み取りの設定

TWAIN スキャナー使用時の原稿セット方向、サイズが混在している原稿束を読み取るときの設定方法について説明します。

TWAIN スキャナー使用時の原稿セット方向を設定する

読み取った文書の天地（上下）をパソコン上で正しく表示させるには、原稿をセットする向きと、スキャナーコントロールダイアログでの設定を正しく組み合わせる必要があります。

1. スキャナーコントロールダイアログを開きます。

スキャナーコントロールダイアログの開きかたについては、「[基本的な TWAIN スキャナーの操作手順](#)」を参照してください。

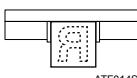
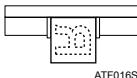
5

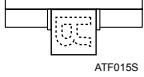
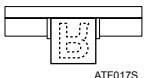


2. [原稿サイズ] を設定します。

原稿セット方向と設定の関係については次の表を参考にしてください。

原稿のセットのしかた

原稿のセット方向	TWAIN スキャナーコントロールダイアログの [画像回転] で指定するキー
原稿の上辺からセットした場合 	OFF
原稿を左右に回転させ裏返してセットします。	
原稿の上辺が右側になる向きにセットした場合 	右へ 90°
上辺が左側の原稿を左右に回転させ裏返してセットします。	

原稿のセット方向	TWAIN スキャナーコントロールダイアログの [画像回転] で指定するキー
原稿の上辺が左側になる向きにセットした場合  上辺が右側の原稿を左右に回転させ裏返してセットします。	左へ 90°
原稿の下辺からセットした場合  原稿を左右に回転させ裏返してセットします。	180°

↓ 補足

5

- 原稿サイズは通常縦長 (H) または横長 (W) ですが、原稿をセットする向きを分かれやすくするため、表では正方形の原稿で説明しています。実際にセットする原稿のサイズが変わっても、原稿をセットする向きと、スキャナードライバーで指定する向きの組み合わせは変わりません。
- スキャナーコントロールダイアログについては、TWAIN ドライバーのヘルプを参照してください。

参考

- P.124 「TWAIN スキャナーの使いかた」

6. いろいろな読み取りの設定

いろいろな読み取りの設定について説明します。

読み取り条件を設定する

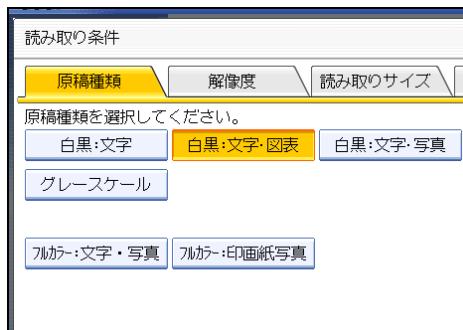
読み取り条件を設定する操作手順について説明します。

1. [読み取り条件] を押します。



2. 解像度や読み取りサイズなどの設定をします。

それぞれの設定項目については、「読み取り条件の設定項目」を参照してください。



3. [OK] を押します。

参照

- P.128 「読み取り条件の設定項目」

読み取り条件の設定項目

読み取り条件の設定項目について説明します。

原稿種類

原稿の種類に適した設定を選択します。

[白黒：文字]

読み取り後に OCR 対応アプリケーションで、認識精度を上げたい場合に適しています。

[白黒：文字・図表]

文字を主体とした標準的な白黒の原稿（2値）。印刷する場合に適しています。

[白黒：文字・写真]

写真や絵画と文字が混じった白黒の原稿（2値）。印刷する場合に適しています。

6

[白黒：写真]

写真や絵画の白黒の原稿（2値）。印刷する場合に適しています。

[白黒：線画]

線を強調して読み取ります。線以外の紙面の汚れなどを消して読み取ることが可能です。

[グレースケール]

写真や絵画の白黒の原稿（多値）。パソコンのディスプレイで表示する場合に適しています。

[フルカラー：文字・写真]

文字を主体としたカラー印刷原稿。

[フルカラー：印画紙写真]

銀塩写真や絵画カラー原稿。

解像度

原稿を読み取るときの解像度を選択します。

読み取る解像度を [150 dpi]、[200 dpi]、[300 dpi]、[400 dpi]、[600 dpi] から選択します。

読み取りサイズ

原稿を読み取る範囲を選択します。

選択できる項目、サイズは次のとおりです。

[自動検知]

本機の自動サイズ検知機能を使って原稿サイズを読み取ります。

[不定形サイズ]

指定したサイズで読み取ります。

原稿の縦横の読み取り範囲を mm 単位で指定できます。

定形サイズ

A0□、A1□、A1□、A2□、A2□、A3□、A3□、A4□、A4□、B1□、B2□、B2□、B3□、
 B3□、B4□、B4□、880×1189mm□、765×1085mm□、625×880mm□、625×880mm
 □、36×48□、34×44□、30×42□、24×36□、24×36□、22×34□、22×34□、18×24□、
 18×24□、17×22□、17×22□、12×18□、12×18□、11×17□、11×17□、8 $\frac{1}{2}$ ×14□、
 8 $\frac{1}{2}$ ×14□、9×12□、9×12□、8 $\frac{1}{2}$ ×11□、8 $\frac{1}{2}$ ×11□

補足

6

- ・[不定形サイズ] の原稿サイズ (X1 と Y1) で指定できるサイズは、210 mm 以上です。

編集

読み取った文書を編集します。

[枠消去]

読み取った文書の外周を指定した幅で消去します。

[同一幅] を選択すると、上下左右に同一の消去幅を mm 単位で指定できます。[個別に設定] を選択すると、上下左右各辺それぞれに消去幅を mm 単位で指定できます。

[反転]

[反転] を選択すると、原稿の色（階調）を反転して読み取ります。

[ミラー]

[ミラー] を選択すると、読み取った原稿を鏡に映したように左右に反転して表示します。

補足

- ・[枠消去] と [反転] を同時に設定すると、消去幅は黒になります。
- ・[枠消去] が選択できるのは、読み取りサイズを指定した場合だけです。

不定形サイズの原稿を読み取る

不定形サイズの原稿を読み取る場合の設定方法と、原稿のセットのしかたについて説明します。

不定形サイズを設定して読み取る方法には、次の2種類があります。

- 原稿の全面を読み取る方法
- 原稿の一部分を読み取る方法

不定形サイズの原稿の全面を読み取る場合

不定形サイズの原稿の全面を読み取る場合の設定方法について説明します。

原稿の全面を読み取る方法には、次の2種類があります。

- 縦の長さを自動検知する方法
- 縦の長さと横の長さを指定する方法

6

↓ 補足

- 原稿サイズ (X1 と Y1) に入力できる値は、210 mm 以上です。

縦の長さを自動検知するとき

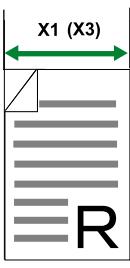
原稿の横の長さだけを入力し、縦の長さを自動検知させて原稿の全面を読み取ります。

縦の長さを自動検知させるとき、入力できるのは横の長さ (X1) だけです。

縦の長さが長い原稿を読み取るときに便利です。

不定形サイズ設定画面は、スキャナー機能の初期画面で [読み取り条件] > [読み取りサイズ] > [不定形サイズ] を押すと表示されます。

読み取る不定形原稿



BLS013S

不定形サイズ設定画面での入力方法



6

1. 自動検知

縦の長さを自動検知させるときに押します。

2. 原稿サイズ (X1)

不定形原稿の横の長さを入力します。

[X1] に横の長さの実測値を入力し、[#] を押します。

↓ 補足

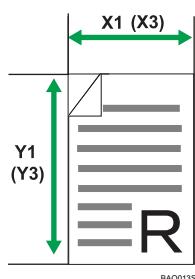
- 原稿サイズ (X1) に入力できる値は、210 mm~914 mm です。読み取り開始位置 (X2) は 0 mm、読み取りサイズ (X3) は X1 と同じ値が固定されます。

縦と横の両方の長さを指定するとき

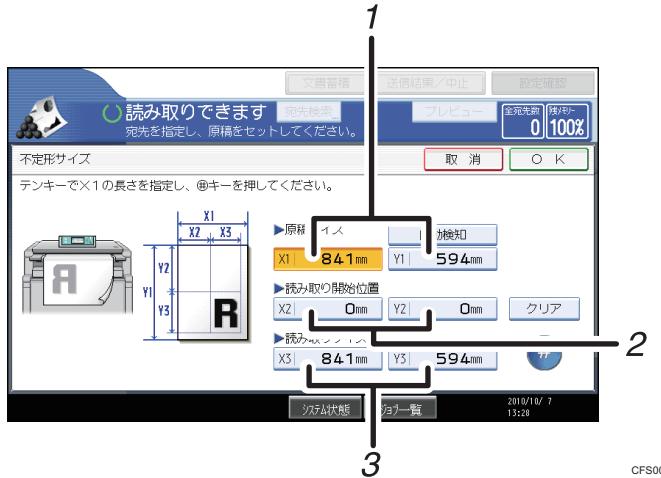
原稿の縦と横の長さを原稿サイズ (X1 と Y1) と読み取りサイズ (X3 と Y3) にそれぞれ入力し、原稿の全面を読み取ります。

不定形サイズ設定画面は、スキャナー機能の初期画面で [読み取り条件] > [読み取りサイズ] > [不定形サイズ] を押すと表示されます。

読み取る不定形原稿



不定形サイズ設定画面での入力方法



1. 原稿サイズ (X1, Y1)

不定形原稿の縦と横のサイズになります。

6

[X1] に横の長さ、[Y1] に縦の長さの実測値を入力し、[#] を押します。

2. 読み取り開始位置 (X2, Y2)

読み取り開始位置は (0,0) になります。

[X2] と [Y2] に “0” を入力し、[#] を押します。

3. 読み取りサイズ (X3, Y3)

読み取りサイズは、原稿サイズ (X1, Y1) と同じ値になります。

[X3] と [Y3] に原稿サイズ (X1, Y1) と同じ値を入力し、[#] を押します。

不定形サイズの原稿の一部分を読み取る場合

原稿の一部分を読み取る場合の不定形サイズの設定方法について説明します。

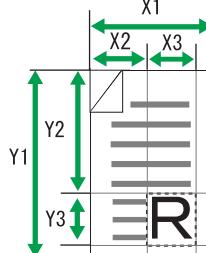
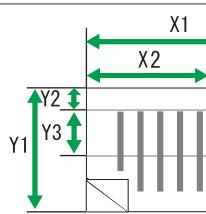
原稿の一部分を読み取る場合、原稿サイズ (X1, Y1)、読み取り開始位置 (X2, Y2)、読み取りサイズ (X3, Y3) を原稿の表面で実測し、不定形サイズ設定画面でそれぞれの値を入力します。

不定形サイズ設定画面は、スキャナー機能の初期画面で [読み取り条件] > [読み取りサイズ] > [不定形サイズ] を押すと表示されます。

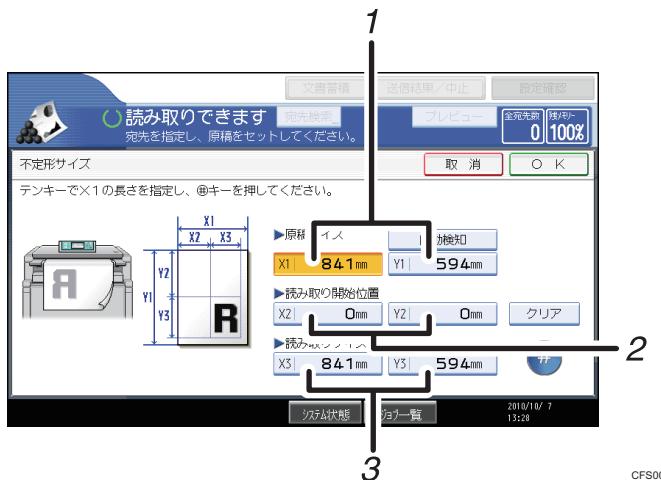
各サイズの測りかたは、原稿のセットのしかたによって異なります。「サイズの測りかた」を参考に、原稿サイズ (X1, Y1)、読み取り開始位置 (X2, Y2)、読み取りサイズ (X3, Y3) を正しく実測してください。

実測した値は、「不定形サイズ設定画面での入力方法」を参考に入力してください。

サイズの測りかた

原稿のセット方向	「R」部分読み取り時の実測方法
原稿セット方向が□□または□□のとき	 <p>BAO014S</p>
原稿セット方向が□□または□□のとき	 <p>BAO015S</p>

不定形サイズ設定画面での入力方法



1. 原稿サイズ (X1,Y1)

読み取る原稿の全面のサイズを入力します。

[X1] と [Y1] に、「サイズの測りかた」を参考に実測した値を入力し、[#] を押します。

2. 読み取り開始位置 (X2,Y2)

読み取り開始位置を入力します。

[X2] と [Y2] に、「サイズの測りかた」を参考に実測した値を入力し、[#] を押します。

3. 読み取りサイズ (X3,Y3)

読み取りたい部分のサイズを入力します。

[X3] と [Y3] に、「サイズの測りかた」を参考に実測した値を入力し、[#] を押します。

↓ 補足

- ・[不定形サイズ] で読み取るとき、指定したい [原稿サイズ]、[読み取り開始位置] の値が入力できない場合があります。この場合、[読み取りサイズ]、[読み取り開始位置] を先に入力してください。

不定形サイズで原稿を読み取る場合の原稿のセットのしかた

不定形のサイズで原稿を読み取る場合の、原稿のセット方法について説明します。

原稿セット方向の設定

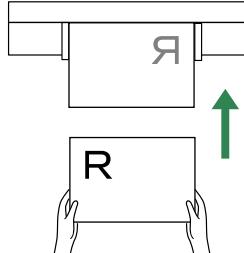
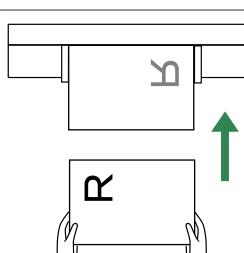
原稿の向きにあわせて、[原稿セット方向] の設定で [R]、[L]、[B]、[T] のいずれかを選択します。[原稿セット方向] の設定については、「原稿送りについて設定する」を参照してください。

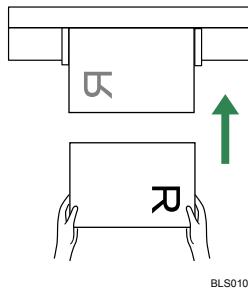
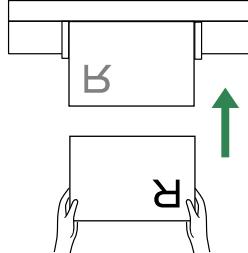
原稿セット方法

原稿を左右に回転させ裏返してセットします。

6

原稿のセットのしかた

原稿のセット方向	原稿セットの仕方
原稿セット方向が [R] のとき	 <p>BLS009S</p>
原稿セット方向が [L] のとき	 <p>BLS012S</p>

原稿のセット方向	原稿セットの仕方
原稿セット方向が [回] のとき	 BLS010S
原稿セット方向が [回] のとき	 BLS011S

■ 参照

- P.138 「原稿送りについて設定する」

読み取り濃度を調整する

読み取り濃度の調整方法について説明します。

読み取りの濃度を変更したいときは【自動濃度】の左右にある【◀】【▶】を押して濃度を調整します。濃度は7段階から調整できます。

【自動濃度】選択すると、新聞紙のような白色でない原稿や裏写りしてしまう原稿など、紙種による特徴を、読み取り濃度を補正して軽減できます。



6

↓ 補足

- 【自動濃度】は【読み取り条件】の【原稿種類】の設定で、【白黒：文字】、【白黒：文字・図表】、【白黒：文字・写真】、【白黒：線画】を選択していると、自動的に選択されます。

次原稿を待機する

ここでは複数の原稿を1つの文書として読み取る場合に次原稿を待機させる設定について説明します。

【次原稿待機】を選択すると、【スキャナー初期設定】の【次原稿待機設定】の設定内容に関わらず、一旦読み取りが終わったあとも、読み取り終了するまでは、次原稿の読み取りを無制限に受け付けます。

原稿の読み取りを終了して、送信または蓄積を行うときは【#】キーを押します。



補足

- 【次原稿待機】ボタンを押さない場合は、【スキャナー初期設定】の【次原稿待機設定】の設定内容に従います。ただし、【待機する】を設定している場合は、常に次原稿を無制限に待機するため、【次原稿待機】ボタンは表示されません。
- 複数枚の原稿を1つの文書として読み取らせるときの操作手順については、「複数枚の原稿を1文書として読み取る」を参照してください。

参照

- P.140 「複数枚の原稿を1つの文書として読み取る」

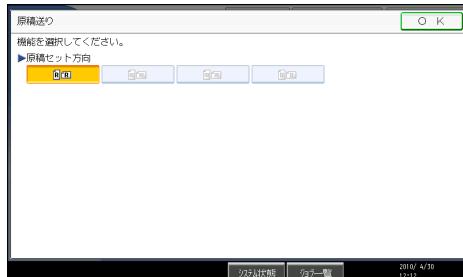
原稿送りについて設定する

原稿のセット方向を設定します。

原稿セット方向

読み取った原稿の天地（上下）をパソコン上で正しく表示させる方法について説明します。

1. [原稿送り] を押します。
2. セットした原稿の向きと同じ方向のキーを押します。



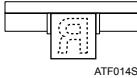
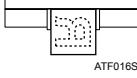
6

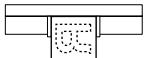
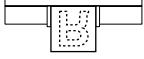
3. [OK] を押します。

読み取った原稿の天地（上下）をパソコン上で正しく表示させるには、原稿をセットする向きと、本機の操作部での設定を正しく組み合わせる必要があります。

次の表を参考に、正しくセットしてください。

原稿のセットのしかた

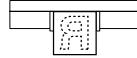
原稿のセット方向	操作部の画面で指定するキー
原稿の上辺からセットした場合  ATF014S	
原稿を左右に回転させ裏返してセットします。	
原稿の上辺が右側になる向きにセットした場合  ATF016S	
上辺が左側の原稿を左右に回転させ裏返してセットします。	

原稿のセット方向	操作部の画面で指定するキー
原稿の上辺が左側になる向きにセットした場合  <small>ATF015S</small> 上辺が右側の原稿を左右に回転させ裏返してセットします。	
原稿の下辺からセットした場合  <small>ATF017S</small> 原稿を左右に回転させ裏返してセットします。	

↓ 補足

- 原稿サイズは通常縦長 (■) または横長 (■) ですが、原稿をセットする向きを分かりやすくするため、表では正方形の原稿で説明しています。実際にセットする原稿のサイズが変わっても、原稿をセットする向きと、本機の操作部で指定する向きの組み合わせは変わりません。
- 原稿セット方向は、読み取りサイズを指定した場合だけ選択できます。
- 原稿種類でフルカラーまたはグレースケールを設定し、ファイル形式でシングルページの TIFF/JPEG またはマルチページの TIFF を選択して読み取る場合は、次の表の通りに原稿をセットしてください。このセット方向以外で読み取った場合、原稿の天地(上下)がパソコン上で正しく表示されないことがあります。

原稿のセット方向

原稿のセット方向	操作部の画面で指定するキー
原稿の上辺からセットします。  <small>ATF014S</small> 原稿を左右に回転させ裏返してセットします。	

複数枚の原稿を1つの文書として読み取る

複数枚の原稿を1つのマルチページの文書として送信する場合や、1つの蓄積文書として蓄積する操作手順について説明します。

★ 重要

- 複数枚の原稿を1つのマルチページの文書として送信する場合は、[ファイル形式/ファイル名]でマルチページのファイル形式を選択してください。ファイル形式の設定については、「ファイル形式を設定する」を参照してください。

原稿追加に時間制限を設ける時

あらかじめ、追加原稿待機のタイムリミットの秒数を設定しておきます。

[スキャナー初期設定] の [次原稿待機設定] で [指定時間待機する] を設定します。

1. 読み取り条件、原稿のセット方向を設定します。

6

読み取り条件については「読み取り条件を設定する」、原稿のセット方向については「原稿送りについて設定する」を参照してください。

2. [次原稿待機] が選択されていないことを確認します。

[次原稿待機] の選択については、「次原稿を待機する」を参照してください。

3. メール送信、フォルダー送信、蓄積の設定をします。

メール送信、フォルダ送信、蓄積の設定については、「基本的なメール送信の操作手順」「基本的なフォルダー送信の操作手順」「基本的な蓄積の操作手順」を参照してください。

4. 原稿をセットします。

原稿は読み取った順にまとめられます。先頭のページから順にセットしてください。

原稿読み取りが開始され、終了すると、次の原稿を受け付けるまでの残り時間が表示されます。

原稿読み取り待機中は、指定した送信先が表示されます。

5. 追加原稿があるときは、指定時間内にセットします。

原稿がなくなるまで、この手順を繰り返します。

途中で読み取り条件を変更した場合は、原稿受け付けまでのカウントダウンが中断されます。原稿をセットすると途中で原稿が読み取られ、次の原稿を受け付けるまでのカウントダウンが開始されます。

6. すべての原稿を読み取り終えてカウントダウンが終了すると、自動的に蓄積/送信が開始されます。

[#] キーを押して、蓄積/送信を開始させることもできます。

↓ 補足

- 原稿の読み取りが自動で開始されない場合は、[スタート] キーを押してください。
- [スキャナー初期設定] の [次原稿待機設定] については「スキャナー初期設定」を参照してください。

参考

- P.127 「読み取り条件を設定する」
- P.138 「原稿送りについて設定する」
- P.137 「次原稿を待機する」
- P.28 「基本的なメール送信の操作手順」
- P.70 「基本的なフォルダー送信の操作手順」
- P.93 「基本的な蓄積の操作手順」
- P.143 「ファイル形式を設定する」

原稿追加に時間制限を設けないとき

6

追加原稿を無制限に待機する方法は、[スキャナー初期設定] の [次原稿待機設定] の設定内容によって異なります。

- [待機する] を設定している場合
常に原稿を無制限に待機します。[次原稿待機] ボタンは表示されず、原稿読み取り時の設定は不要です。
- [指定時間待機する] または [待機しない] を設定している場合
[次原稿待機] ボタンが表示されますので、次の手順に従ってください。

1. 読み取り条件、原稿のセット方向を設定します。

読み取り条件については「読み取り条件を設定する」、原稿のセット方向については「原稿送りについて設定する」を参照してください。

2. [次原稿待機] を選択します。

[次原稿待機] の選択について詳しくは、「次原稿を待機する」を参照してください。

3. メール送信、フォルダ送信、蓄積の設定をします。

メール送信、フォルダ送信、蓄積の設定については「基本的なメール送信の操作手順」「基本的なフォルダー送信の操作手順」「基本的な蓄積の操作手順」を参照してください。

4. 原稿をセットし、読み取りを開始します。

原稿は読み取った順にまとめられます。先頭のページから順にセットしてください。原稿読み取り待機中は、指定した送信先が表示されます。

5. 追加原稿があるときは、原稿をセットします。

原稿がなくなるまで、この手順を繰り返します。

6. すべての原稿を読み取り終えたら、[#] キーを押します。蓄積/送信が開始されます。

蓄積/送信が開始されます。

 **補足**

- 原稿の読み取りが自動で開始されない場合は、[スタート] キーを押してください。

 **参照**

- P.127 「読み取り条件を設定する」
- P.138 「原稿送りについて設定する」
- P.137 「次原稿を待機する」
- P.28 「基本的なメール送信の操作手順」
- P.70 「基本的なフォルダー送信の操作手順」
- P.93 「基本的な蓄積の操作手順」
- P.157 「初期設定を変更する」

ファイル形式とファイル名を設定する

ファイル形式とファイル名、PDF ファイルのセキュリティーなどの設定手順を説明します。

ファイル形式を設定する

送信する文書のファイル形式の設定手順を説明します。

ファイル形式は、メール送信するとき、フォルダー送信するとき、蓄積文書をメール送信またはフォルダー送信するとき、外部メディアに保存するときに設定できます。

送信する文書のファイル形式には、以下の種類を選択できます。

- ・シングルページ：[TIFF/JPEG]、[PDF]

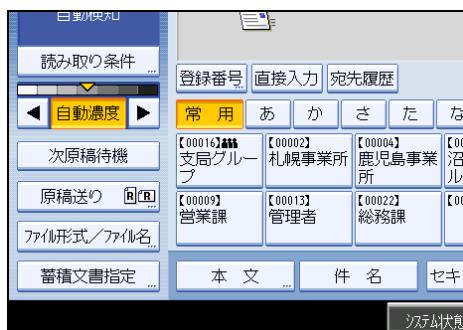
複数枚の原稿を読み取る場合、シングルページのファイル形式を選択すると、1ページごとにファイルが作成され、読み取ったページと同じ数のファイルが送信されます。

- ・マルチページ：[TIFF]、[PDF]

複数枚の原稿を読み取る場合、マルチページのファイル形式を選択すると、複数ページが1つのファイルにまとめられて送信されます。

ただし、読み取り条件などの設定によって、選択できるファイル形式は異なります。ファイル形式選択時の制限および注意事項については、「ファイル形式の選択に関する制限および注意事項」を参照してください。

1. [ファイル形式/ファイル名] を押します。



2. ファイル形式を選択します。



3. [OK] を押します。

補足

- ・[文書蓄積] で [本体に蓄積] を選択した場合は、ファイル形式を設定できません。
- ・[文書蓄積] で [本体に蓄積+送信] を選択した場合、メール送信、フォルダー送信する文書は設定したファイル形式で送信されますが、蓄積文書は設定したファイル形式では蓄積されません。蓄積文書は圧縮設定と原稿種類により、以下の形式で自動的に保存されます。
 - JPEG
[スキャナー初期設定] の [圧縮設定 (グレースケール / フルカラー)] で [圧縮する] を設定し、フルカラーまたはグレースケールで読み取った場合
 - TIFF
上記の読み取り以外すべて
- ・作成される PDF ファイルのバージョンは 1.4 です。

参考

- ・P.144 「ファイル形式の選択に関する制限および注意事項」

ファイル形式の選択に関する制限および注意事項

選択するファイル形式の種類によっては、以下のような制限および注意事項があります。

シングルページ [TIFF/JPEG] の選択について

- ・原稿を白黒で読み取った場合、TIFF ファイルで送信されます。
- ・原稿をフルカラーまたはグレースケールで読み取った場合、[スキャナー初期設定] の [圧縮設定 (グレースケール/フルカラー)] の設定により、以下のファイル形式で送信されます
 - ・[圧縮する] → JPEG ファイル
 - ・[圧縮しない] → TIFF ファイル

マルチページ [TIFF] の選択について

- 読み取り設定でフルカラー、グレースケールを選択している場合、[スキャナー初期設定] の [圧縮設定 (グレースケール/フルカラー)] で [圧縮する] が設定されているときは、マルチページの [TIFF] を選択できません。
- JPEG 形式で保存されている蓄積文書を送信する場合、マルチページの [TIFF] を選択しても無効となり、自動的にマルチページ PDF ファイルで送信されます。

ファイル名を設定する

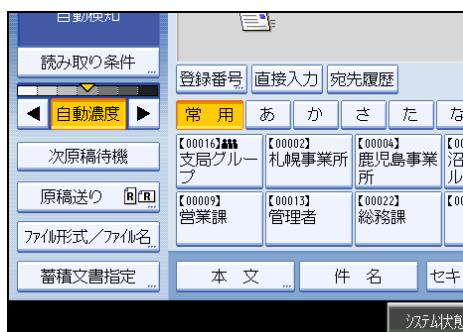
ファイル名の設定手順を説明します。

読み取った文書には、読み取った年月日時刻や 4 衔のページ番号などで作られるファイル名が付与されます。

- ファイル形式がシングルページの文書や、文書分割されたマルチページの文書の場合、年月日時刻と 4 衔のページ番号で構成されたファイル名が付与されます。年月日時刻と 4 衔のページ番号の間にはアンダーバーが入ります。
(例：2020 年 12 月 31 日の午後 3 時 30 分 15 秒 10 ミリ秒にシングルページ TIFF 形式で読み取った場合は 20201231153015010_0001.tif)
- ファイル形式がマルチページの文書の場合、読み取った年月日時刻のファイル名が付与されます。
(例：2020 年 12 月 31 日の午後 3 時 30 分 15 秒 10 ミリ秒にマルチページ TIFF 形式で読み取った場合は 20201231153015010.tif)

この文書名を変更することができます。

1. [ファイル形式/ファイル名] を押します。



2. [ファイル名] を押します。



ファイル名のソフトキーボードが表示されます。

3. ファイル名を入力します。

4. [OK] を 2 回押します。

補足

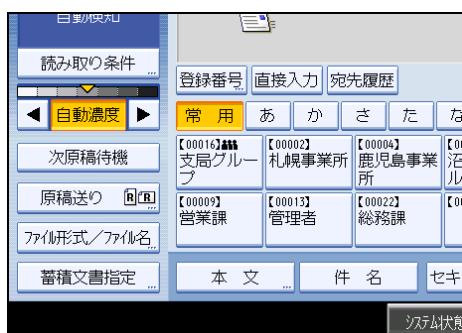
6

- FTP サーバーにフォルダー送信する場合、ファイル名は、ASCII コードに対応した半角英数文字、記号で入力してください。半角カタカナなどの ASCII コードに対応していない文字、記号を入力すると、送信先でファイル名が正しく表示されない場合があります。
- 外部メディアに保存する場合、ファイル名は ASCII コードに対応した文字、記号で入力してください。半角カタカナなどの ASCII コードに対応していない文字、記号を入力すると、文書の読み取りや保存ができない場合があります。

ファイル名の連番の開始番号を変更する

シングルページのファイルには、ファイル名のうしろに連番の数字が付与されます。この連番の開始番号を変更します。

1. [ファイル形式/ファイル名] を押します。



2. 連番開始番号の右の【変更】を押します。



3. 連番開始番号をテンキーで入力します。

4. 【#】キーを押します。

5. 【OK】を押します。

補足

- ファイル形式でシングルページを選んだときだけ、開始番号を変更できます。
- 連番の桁数を変更することもできます。変更は【スキャナー初期設定】の【シングルページ番号桁設定】で行います。変更できる桁数は、4桁または8桁です。

6

PDF ファイルにセキュリティを設定する

PDF ファイルのセキュリティ設定について説明します。

不正利用に対する安全性を強化するため、PDF ファイルにセキュリティ設定をすることができます。

重要

- PDF 以外のファイル形式を選択していると、セキュリティ設定はできません。

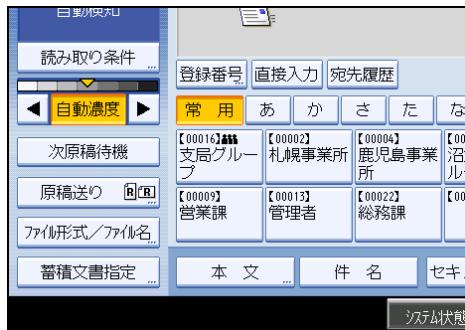
PDF ファイルを暗号化する

PDF ファイルに文書パスワードを設定し、暗号化して保護します。パスワードを知らない人は PDF ファイルを開くことができなくなります。

重要

- 暗号化の設定は、メール送信時、フォルダー送信時、外部メディアに保存時のみ行えます。
- 文書パスワードを忘れるとき、暗号化したファイルを開くことができなくなります。設定した文書パスワードは、忘れないように大切に保管しておいてください。

1. [ファイル形式/ファイル名] を押します。

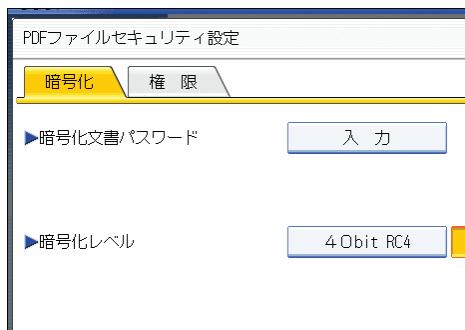


2. ファイル形式で [PDF] が選択されていることを確認します。

3. [セキュリティ設定] を押します。

4. [暗号化] タブを選択します。

5. 暗号化文書パスワードの [入力] を押します。



6. パスワードを入力して [OK] キーを押します。

ここで入力した文書パスワードは、PDF ファイルを開くときに必要です。

7. 確認のためもう一度パスワードを入力し、[OK] キーを押します。

8. 暗号化レベルを選択します。



9. [OK] を 2 回押します。

補足

- 文書パスワードは、権限変更パスワードと同じものは使えません。
- 文書パスワードは半角英数 32 文字まで入力できます。
- 暗号化レベルで [128bit RC4] を選択して作成した PDF ファイルは、Adobe Acrobat Reader 3.0 および 4.0 とは互換性がありません。
- 暗号化レベルで [128bit AES] を選択して作成した PDF ファイルは、Adobe Reader 7.0 以降のバージョンだけ互換性があります。
- 暗号化レベルで [40bit RC4] を選択していると、セキュリティ権限項目の文書を印刷する権限で [低解像度のみ許可] は選択できません。

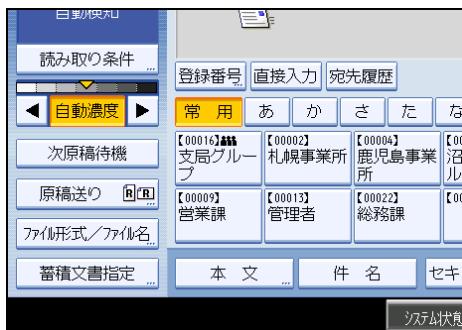
PDF ファイルのセキュリティ権限を変更する

PDF ファイルに権限変更パスワードを設定して、PDF ファイルの印刷、変更、内容のコピーまたは抽出を制限します。権限変更パスワードを知っている人だけが、制限を解除、変更できます。

重要

- 暗号化の設定は、メール送信時、フォルダー送信時、外部メディアに保存時のみ行えます。
- 権限変更パスワードを忘れると、ファイルの制限の解除、変更ができなくなります。設定した権限変更パスワードは、忘れないように大切に保管しておいてください。

1. [ファイル形式/ファイル名] を押します。

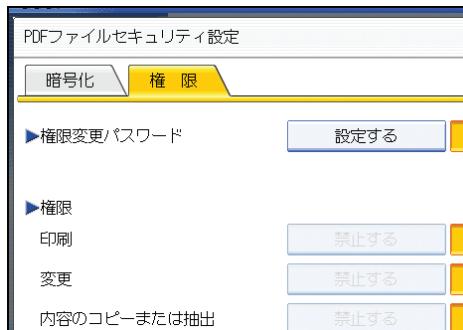


2. ファイル形式で [PDF] が選択されていることを確認します。

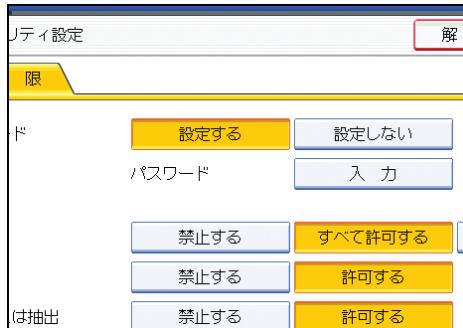
3. [セキュリティ設定] を押します。

4. [権限] タブを選択します。

5. 権限変更パスワードの【設定する】を選択します。



6. パスワードの【入力】を押します。



6

7. パスワードを入力して【OK】キーを押します。

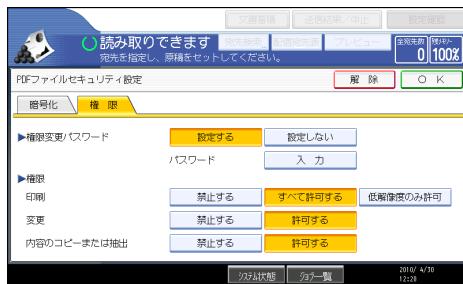
ここで入力したパスワードは、セキュリティを設定した PDF ファイルのセキュリティ権限を変更するときに必要です。

8. 確認のためもう一度パスワードを入力し、【OK】キーを押します。

9. セキュリティ権限項目を選択します。

設定できるセキュリティ権限項目は次のとおりです。

- 文書を印刷する権限
[禁止する]、[すべて許可する]、[低解像度のみ許可] から選択します。
- 文書を変更する権限
[禁止する]、[許可する] から選択します。
- 文書中のテキストをコピー、または抽出する権限
[禁止する]、[許可する] から選択します。



10. [OK] を 2 回押します。

↓ 補足

- ・権限変更パスワードは、文書パスワードと同じものは使えません。
- ・権限変更パスワードは半角英数 32 文字まで入力できます。
- ・PDF ファイルの暗号化レベルで [40bit RC4] を選択していると、セキュリティー権限項目の文書を印刷する権限で [低解像度のみ許可] は選択できません。

プログラム

よく使う設定は、設定した内容を記憶させることによって繰り返し使うことができます。

補足

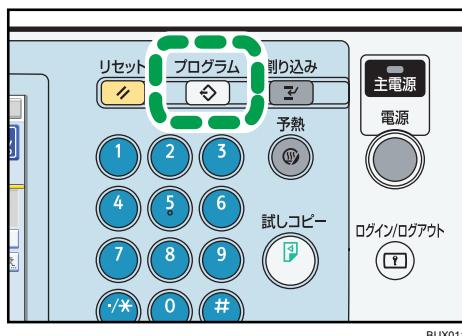
- ・プログラムはスキャナー機能で10件まで登録できます。
- ・消去またはあらたに登録しない限り、電源を切ったり、[リセット]キーを押したりしても登録した内容は取り消されません。
- ・プログラムとして登録可能な設定は、読み取り条件、原稿セット方向、ファイル形式、文書蓄積、プレビュー、受信確認、セキュリティー（メールの暗号化・署名）です。
- ・簡単画面での設定は、プログラムに登録できません。

よく使う設定を登録する

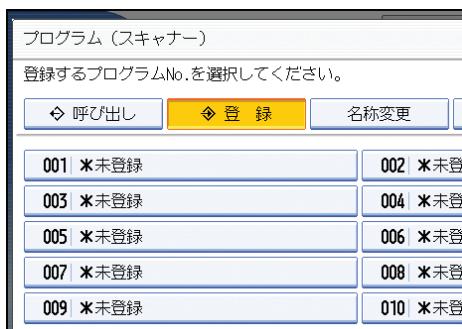
6

よく使う設定をプログラムに登録します。

1. スキャナー機能の初期画面で、登録する内容を設定します。
2. [プログラム] キーを押します。



3. [登録] を押します。



4. 登録するプログラム No.を選択します。

◇が表示されている No.には、すでにプログラムが登録されています。

5. プログラム名を入力します。

6. [OK] を押します。

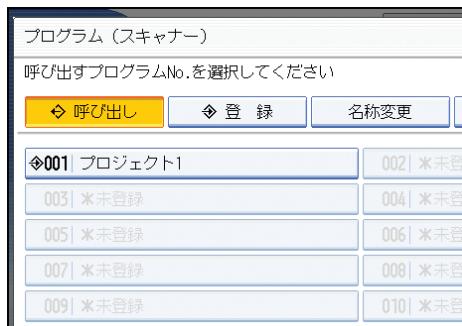
プログラム画面に戻り、登録したプログラム No.の前には◇が、後ろにはプログラム名が表示されます。しばらくすると初期画面に戻ります。

登録内容を呼び出す

プログラムに登録した設定内容を呼び出して使用します。

1. [プログラム] キーを押します。

2. [呼び出し] を押します。



6

3. 呼び出すプログラム No.を押します。

登録されているプログラムが呼び出され、スキャナー初期画面に戻ります。

◇が表示されていない No.にはプログラムは登録されていません。

4. 原稿をセットし、[スタート] キーを押します。

登録されている内容を変更する

プログラムに登録されている内容を変更します。

1. [プログラム] キーを押します。

2. [呼び出し] を押します。

3. 変更するプログラム No.を押します。

4. 呼び出された設定を変更します。

5. [プログラム] キーを押します。

6. [登録] を押します。

7. 内容を変更したプログラム No.、または新しいプログラム No.を選択します。

8. 登録されているプログラム No. に上書きする場合は確認メッセージが表示されますので、[登録する] を押します。

新しいプログラム No. を選択した場合はここでの操作は不要です。次の手順へ進んでください。

9. プログラム名を入力します。

10. [OK] を押します。

上書きをしたとき、登録されていたプログラムは消去されます。

新しいプログラム名が表示され、しばらくすると初期画面に戻ります。

登録されている内容を消去する

登録したプログラムを消去します。

6

1. [プログラム] キーを押します。

2. [消去] を押します。



3. 消去するプログラム No.を選択します。

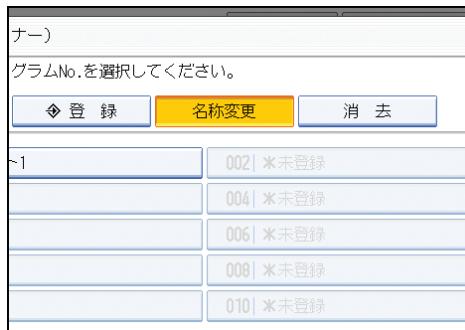
4. [消去する] を押します。

プログラムが消去されて、初期画面に戻ります。

プログラムの登録名称を変更する

登録されているプログラムの名称を変更します。

1. [プログラム] キーを押します。

2. [名称変更] を押します。

The screenshot shows a software interface for changing program names. The window title is '名称変更' (Name Change). The text inside says 'グラムNo.を選択してください。' (Please select a Gram No.). There are three buttons at the top: '登録' (Register) in blue, '名称変更' (Name Change) in yellow, and '消去' (Delete) in blue. Below these are five rows of data, each with a number and a note: '002| *未登録', '004| *未登録', '006| *未登録', '008| *未登録', and '010| *未登録'. The '名称変更' button is highlighted with a yellow background.

3. 名称を変更するプログラム No.を選択します。**4. 新しいプログラム名を入力します。****5. [OK] を押します。**

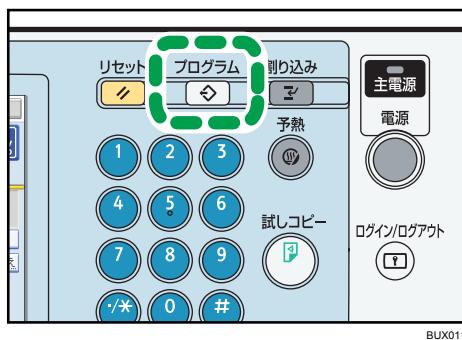
新しいプログラム名が表示され、しばらくすると初期画面に戻ります。

スキャナー初期画面に表示される機能を変更する

電源を入れた直後、オートクリアしたとき、またはリセットしたときの初期画面の状態を設定する手順について説明します。

初期値として登録可能な設定は、読み取り条件、原稿セット方向、ファイル形式、文書蓄積、プレビュー、受信確認、セキュリティー（メールの暗号化・署名）です。

1. 初期画面で読み取り条件などの設定をします。
2. [プログラム] キーを押します。



6

3. [初期値として登録] を押します。



4. [登録] を押します。
5. 確認画面が表示されますので、[登録する] を押します。

現在の設定が初期値として登録され、初期画面に戻ります。

補足

- [工場出荷時に戻す] を押すと、初期画面の初期値を工場出荷時の状態に戻すことができます。
- 初期画面の初期値は、通常画面と簡単画面で別々に登録できます。

7. スキャナー初期設定

[スキャナー初期設定] の設定項目について説明します。

初期設定を変更する

本機の運用に沿って、初期設定値や操作の条件を変更します。

補足

- 初期設定値の変更は、通常の機能とは別の機能で操作します。操作後は、通常の画面に戻してください。通常の画面への戻り方は、「初期設定の終了」を参照してください。
- 設定/変更した内容は、設定し直さないかぎり有効です。主電源スイッチを切ったり、[電源] キー、[リセット] キー、[予熱] キーを押しても取り消されません。
- 送信方法によっては、設定しても反映されない項目があります。

参照

- P.158 「初期設定の終了」

初期設定の変更

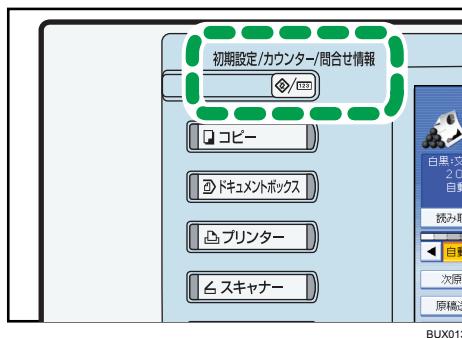
7

スキャナー初期設定の変更方法を説明します。

★ 重要

- 管理者認証が設定されているときは、管理者にお問い合わせください。

1. [初期設定／カウンター／問合せ情報] キーを押します。



2. [スキャナー初期設定] を押します。

3. 設定する項目を選択します。

4. 画面のメッセージにしたがって初期設定値を変更し、[設定] を押します。

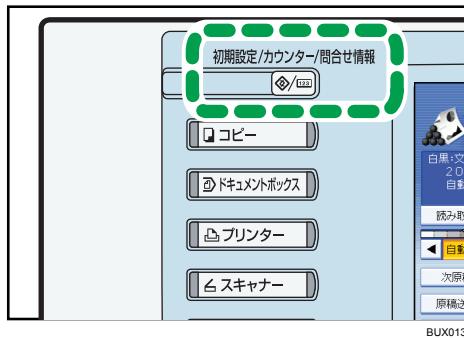
↓ 補足

- 初期設定値の変更を中止し通常の画面に戻したいときは、[初期設定／カウンター／問合せ情報] キーを押します。

初期設定の終了

初期設定の終了方法を説明します。

1. [初期設定／カウンター／問合せ情報] キーを押します。



7

↓ 補足

- 初期設定のメニュー画面の [終了] を押しても終了できます。

基本設定

[スキャナー初期設定] にある [基本設定] タブの各種項目について説明します。

宛先表見出し切り替え

メール送信、フォルダー送信の宛先およびグループ宛先を分類した見出しを選択します。選択した見出しはメール送信先またはフォルダー送信先の一覧表示画面に表示され、宛先の検索に使用します。

[見出し 1] (五十音順)、[見出し 2] (アルファベット順)、または [見出し 3] (5 分類順) のいずれかから選択します。

- 見出し 1 (五十音順)
- 見出し 2 (アルファベット順)
- 見出し 3 (5 分類順)

工場出荷時の設定：見出し 1

宛先検索対象

スキャナー機能で検索する宛先表の対象を本機のアドレス帳か、または登録されている LDAP サーバーから選択します。

LDAP サーバーの登録方法については、『ネットワーク・システムネットワーク&システム初期設定編』「管理者用設定」を参照してください。

検索対象を登録されている LDAP サーバーに設定する場合は、[システム初期設定] の [LDAP 検索] が [する] に設定されている必要があります。

工場出荷時の設定：本体アドレス帳

PC からの読み取り要求禁止時間

メール送信、フォルダー送信、または蓄積のモードで本機を使用中にクライアントコンピューターから TWAIN スキャナーの読み取り要求があった場合、常に TWAIN スキャナーのモードに切り替えるか、一定時間キー操作をしていないときだけ切り替えるかを選択します。

- 設定する

TWAIN スキャナーに切り替えるための秒数 (3~30 秒) をテンキーで入力してください。最後のキー操作後、ここで設定した時間が経過すると TWAIN スキャナーのモードに切り替わります。

- 設定しない

TWAIN スキャナーのモードにすぐに切り替わります。

工場出荷時の設定：設定する：10 秒

優先本体宛先表

本体宛先表で、初期状態に表示させる宛先表を選択します。

- メール宛先

- フォルダー宛先

工場出荷時の設定：メール宛先

送信履歴満杯時印刷設定

本機では送信/配信結果を過去 250 件まで確認できます。送信/配信結果が過去 250 件に達した場合に、送信履歴を印刷するかしないかを以下の項目から選択します。

セキュリティーの設定によっては、履歴が印刷されない場合があります。

- する

送信/配信履歴を印刷します。印刷された履歴は消去されます。

- しない

履歴が 1 件増えるたびに古い履歴から 1 件ずつ消去されます。

- しない（送信不可）

履歴が満杯になった時点で、送信/配信ができなくなります。[送信履歴印刷] で履歴を印刷するか、[送信履歴消去] で履歴を消去すると、送信/配信ができるようになります。

工場出荷時の設定：する

送信履歴印刷

送信履歴情報を印刷し、印刷後履歴情報は消去されます。

7

送信履歴消去

送信履歴情報を消去します。履歴情報は消去されますが、印刷は行われません。

宛先履歴消去

宛先履歴情報を消去します。

読み取り設定

[スキャナー初期設定] にある [読み取り設定] タブの各種項目について説明します。

次原稿待機設定

複数枚の原稿を 1 つの文書として読み取らせる場合に、追加原稿を待機するときの動作を [待機する]、[待機しない]、[指定時間待機する] のいずれかから選択します。

原稿読み取り時に [次原稿待機] を押すと、ここでの設定に関わらず原稿を無制限に待機します。

[次原稿待機] を押さない場合の動作は、以下のとおりです。

工場出荷時の設定：指定時間待機する：60 秒

- 指定時間待機する

あらかじめ指定した時間だけ次原稿を待機します。

- 待機しない

次原稿を待機せず、読み取りと同時に送信されます。

- 待機する

常に無制限に次原稿を待機するため、[次原稿待機] は表示されません。

送信設定

[スキャナー初期設定] にある [送信設定] タブの各種項目について説明します。

圧縮設定（白黒 2 値）

2 値（白黒）で読み取った原稿のデータを圧縮する/圧縮しないを設定します。

- 圧縮する
- 圧縮しない

工場出荷時の設定：圧縮する

データを圧縮することにより、データの転送時間が短くなります。

データのサイズやネットワークの状態によって、データの転送にかかる時間は異なります。

圧縮設定（グレースケール/フルカラー）

多値（グレースケール/フルカラー）で読み取った原稿を圧縮するかしないかを設定します。

- 圧縮する
- 圧縮しない

工場出荷時の設定：圧縮する

[圧縮する] を設定した場合は、圧縮率を 5 段階から選択できます。

工場出荷時は 5 段階調整の [高く] から 2 番目に設定されています。

低圧縮の方が画質はよくなりますが、データの転送時間は長くなります。

データのサイズやネットワークの状態によって、データの転送にかかる時間は異なります。

送信メールサイズ制限

画像を添付したメールのサイズを制限するかしないかを選択します。

- する
- しない

工場出荷時の設定：する：2048KB

[する] を選択した場合は、制限するサイズ（128～102,400KB）をテンキーで入力します。

お使いの SMTP サーバーでメールサイズが制限されている場合は、その SMTP サーバーの設定に合わせてください。

メールサイズ制限オーバー時分割

[送信メールサイズ制限] で [する] を選択した場合に有効な機能です。

画像のサイズが [送信メールサイズ制限] で設定したサイズを超えた場合に、画像を複数のメールに振り分けて送信するかしないかを選択します。

- する（最大サイズ）
- する（ページごと）
- しない

工場出荷時の設定：する（最大サイズ）

工場出荷時の最大分割数は「5」に設定されています。

[する（最大サイズ）] を選択した場合は、最大分割数（2～500）をテンキーで入力します。

ファイル形式として [マルチページ] の [TIFF] または [PDF] を選択した場合は、[する（ページごと）] を選択しても分割されません。

[する（最大サイズ）] を選択した場合、メールソフトによっては、受信した分割ファイルを復元できない場合があります。

[しない] を選択していくと、設定したメールサイズ制限より大きいサイズのメールを送信したときに、制限サイズまで読み取った時点で読み取りを中断します。その後、読み取ったページまでを送信するか、破棄するかを選択します。

SMTP サーバーでの許容量の範囲で、[送信メールサイズ制限] で最大サイズを設定してください。

メール付加情報

表題、日付、管理者メールアドレスなどの文書情報をどの言語で、メール本文として送信するかを選択します。

- 付加する
- 付加しない

工場出荷時の設定：付加する：日本語

[付加する] を選択した場合は、以下の 22 カ国語から選択します。

英語（英）、英語（米）、ドイツ語、フランス語、イタリア語、スペイン語、オランダ語、ポルトガル語、ポーランド語、チェコ語、スウェーデン語、フィンランド語、ハンガリー語、ノルウェー語、デンマーク語、日本語、簡体字、繁体字、ロシア語、ハングル、カタロニア語、トルコ語

[付加しない] に設定している場合でも、スキャナー画面で直接入力した本文は付加されます。

定型文となっているメール本文は、変更することはできません。

シングルページ番号桁設定

シングルページのファイル名に付ける連番数字の桁数を設定します。

- 4 桁
- 8 桁

工場出荷時の設定：4 桁

蓄積文書メール内容

蓄積文書をメールする時に文書を添付するか URL リンクを送信するかの初期値を設定します。

セキュリティーの設定によっては、蓄積文書メールに添付した URL リンク先にある文書を閲覧できない場合があります。

メールソフトによっては、蓄積文書メール内容を URL に設定したときにフィッシングの警告が出る可能性があります。回避方法については、メールソフトのヘルプを参照のうえ、送信者を警告対象外に設定してください。

- 文書
- URL リンク

工場出荷時の設定：文書

デフォルトメール件名

メール送信時に件名を設定します。本機の操作部で件名が未設定の場合に、ここで設定した内容を送信メールに反映します。

デフォルトメール件名は、ホスト名か任意文字列かを選択できます。

- ホスト名
- 任意文字列

工場出荷時の設定：ホスト名

[ホスト名] を選択した場合、[システム初期設定] の [インターフェース設定] タブで設定されているホスト名が使用されます。

導入設定

[スキャナー初期設定] にある [導入設定] タブの項目について説明します。

メニュー プロテクト 設定

管理者以外のユーザーでも設定を変更できる機能に対して、ユーザーのアクセス権のレベルを設定します。メニュー プロテクトの設定によっては、管理者以外のユーザーが設定できる機能が制限されています。

メニュー プロテクト機能はスキャナー初期設定の設定項目にあり、各機能の初期設定に対して設定できます。

メニュー プロテクト設定についての詳細は、管理者にお問い合わせください。

8. 付録

スキャナー機能の仕様や補足事項、お問い合わせ先などを記載しています。

解像度と読み取りサイズの関係

解像度と読み取りサイズの関係について説明します。

解像度と読み取りサイズは相反する関係にあります。そのため、解像度 (dpi) を高く設定するほど、読み取ることができる領域は小さくなります。また逆に、読み取り領域が大きいほど、設定できる解像度は低くなります。

↓ 補足

- 文書の圧縮程度によっては、読み取ることができる文書サイズが制限される場合があります。

メール送信、フォルダー送信、蓄積機能を使用するとき

メール送信、フォルダー送信、蓄積機能を使用するときの解像度と読み取りサイズの関係について説明します。

原稿種類として【白黒:文字】【白黒:文字・図表】【白黒:文字・写真】【白黒:写真】【白黒:線画】を選択した場合

- A1～A4、B2～B4

600 dpi まですべての組み合わせで読み取ることができます。

- A1、B2 より大きいサイズの場合

設定できる解像度の最大値は、読み取りサイズと原稿セット方向により異なります。

以下の表を参考にして解像度を設定してください。

最大解像度

名称	幅 (mm)	高さ (mm)	原稿セット方向が回のときの最大解像度 (dpi)	原稿セット方向が回のときの最大解像度 (dpi)	原稿セット方向が回または回のときの最大解像度 (dpi)
長尺	914	～30000	600	400	不可
長尺	914	～15000	600	400	不可
長尺	914	～13400	600	600	不可
長尺	914	～3680	600	600	150
長尺	914	～2760	600	600	200

名称	幅 (mm)	高さ (mm)	原稿セット方 向が回のと きの最大解像 度 (dpi)	原稿セット方 向が回のと きの最大解像 度 (dpi)	原稿セット方 向が回または 回のとき の最大解像度 (dpi)
長尺	914	~1840	600	600	300
長尺	914	~1380	600	600	400
長尺	914	~920	600	600	600
A0×2	841	2378	600	600	200
A1×2	594	1682	600	600	300
A0	841	1189	600	600	400
B1	728	1030	600	600	400
36×48	914	1219.2	600	600	400
34×44	864	1117.6	600	600	400

原稿種類として【グレースケール】を選択した場合

- A0～A4、B1～B4

600 dpi まですべての組み合わせで読み取ることができます。

- A0 より大きいサイズの場合

設定できる解像度の最大値は、読み取りサイズとデータ圧縮の有無により異なります。

以下の表を参考にして解像度を設定してください。

最大解像度

名称	幅 (mm)	高さ (mm)	データを圧縮しな い場合の最大解像 度 (dpi)	データを圧縮する 場合の最大解像度 (dpi)
長尺	914	~30000	不可	不可
長尺	914	~26000	150	不可
長尺	914	~15000	200	不可
長尺	914	~11000	200	150
長尺	914	~8000	200	200
長尺	914	~6000	300	200
長尺	914	~5000	300	300
長尺	914	~4000	300	300*1
長尺	914	~3680	400	400

名称	幅 (mm)	高さ (mm)	データを圧縮しない場合の最大解像度 (dpi)	データを圧縮する場合の最大解像度 (dpi)
長尺	914	~2760	400	400 ^{*2}
長尺	914	~1520	600	600
A0×2	841	2378	400	400 ^{*2}

*1 圧縮後のファイルサイズによっては、400 dpi まで読み取りできる場合があります。

*2 圧縮後のファイルサイズによっては、600 dpi まで読み取りできる場合があります。

原稿種類として【フルカラー:文字・写真】【フルカラー:印画紙写真】を選択した場合

- A1～A4、B2～B4

600 dpi まですべての組み合わせで読み取ることができます。

- A1、B2 より大きいサイズの場合

設定できる解像度の最大値は、読み取りサイズとデータ圧縮の有無により異なります。

以下の表を参考にして解像度を設定してください。

最大解像度

名称	幅 (mm)	高さ (mm)	データを圧縮しない場合の最大解像度 (dpi)	データを圧縮する場合の最大解像度 (dpi)
長尺	914	~30000	不可	不可
長尺	914	~15000	不可	不可
長尺	914	~11000	不可	不可 ^{*1}
長尺	914	~8000	150	150 ^{*2}
長尺	914	~5000	200	200 ^{*3}
長尺	914	~4000	200	200 ^{*4}
長尺	914	~2000	300	300 ^{*5}
長尺	914	~1000	400	400 ^{*5}
A0×2	841	2378	300	300 ^{*5}
A1×2	594	1682	400	400 ^{*5}
A0	841	1189	400	400 ^{*5}
B1	728	1030	400	400 ^{*5}
36×48	914	1219.2	400	400 ^{*5}
34×44	864	1117.6	400	400 ^{*5}

*1 圧縮後のファイルサイズによっては、150 dpi まで読み取りできる場合があります。

*2 圧縮後のファイルサイズによっては、200 dpi まで読み取りできる場合があります。

*3 圧縮後のファイルサイズによっては、300 dpi まで読み取りできる場合があります。

*4 圧縮後のファイルサイズによっては、400 dpi まで読み取りできる場合があります。

*5 圧縮後のファイルサイズによっては、600 dpi まで読み取りできる場合があります。

TWAIN スキャナーとして使用するとき

TWAIN スキャナーとして使用するときの解像度と読み取りサイズの関係について説明します。

TWAIN スキャナーとして使用する場合に読み取り領域や解像度を設定するときは、TWAIN ドライバーのヘルプを参照してください。

▼ 補足

- ・大きいサイズの原稿を読み取る場合、クライアントコンピューターのメモリー不足、他のアプリケーションの使用状況、OS の制約などにより、読み取れない場合があります。
- ・読み取る原稿の種類や解像度の設定によっては、色のずれや画像のぼけが発生することがあります。

色/階調として【白黒 2 値(文字)】【白黒 2 値(写真)】を選択した場合

8

設定できる解像度の最大値は、読み取りサイズごとに異なります。

以下の表を参考にして解像度を設定してください。

読み取りサイズと最大解像度

読み取りサイズ	幅 (mm)	高さ (mm)	最大解像度 (dpi)
最大	914	15000	600
A0×2	841	2378	652
A1×2	594	1682	923
A0	841	1189	652
B1	728	1030	753
A1	594	841	923
B2	515	728	1065
A2	420	594	1200
B3	364	515	1200
A3	297	420	1200

読み取りサイズ	幅 (mm)	高さ (mm)	最大解像度 (dpi)
B4	257	364	1200
A4	210	297	1200

色/階調として【カラー 8 色】【カラー 8 色 (写真)】を選択した場合

設定できる解像度の最大値は、読み取りサイズごとに異なります。

以下の表を参考にして解像度を設定してください。

読み取りサイズと最大解像度

読み取りサイズ	幅 (mm)	高さ (mm)	最大解像度 (dpi)
最大	914	15000	324
A0×2	841	2378	652
A1×2	594	1682	923
A0	841	1189	652
B1	728	1030	753
A1	594	841	923
B2	515	728	1065
A2	420	594	1200
B3	364	515	1200
A3	297	420	1200
B4	257	364	1200
A4	210	297	1200

色/階調として【白黒 256 値 (グレースケール)】【カラー 1677 万色】を選択し、データを圧縮する場合

設定できる解像度の最大値は、読み取りサイズごとに異なります。

以下の表を参考にして解像度を設定してください。

読み取りサイズと最大解像度

読み取りサイズ	幅 (mm)	高さ (mm)	最大解像度 (dpi)
最大	914	11097	150
A0×2	841	2378	652
A1×2	594	1682	923

読み取りサイズ	幅 (mm)	高さ (mm)	最大解像度 (dpi)
A0	841	1189	652
B1	728	1030	753
A1	594	841	923
B2	515	728	1065
A2	420	594	1200
B3	364	515	1200
A3	297	420	1200
B4	257	364	1200
A4	210	297	1200

色/階調として【白黒 256 値 (グレースケール)】を選択し、データを圧縮しない場合

設定できる解像度の最大値は、読み取りサイズごとに異なります。

以下の表を参考にして解像度を設定してください。

読み取りサイズと最大解像度

読み取りサイズ	幅 (mm)	高さ (mm)	最大解像度 (dpi)
最大	914	15000	198
A0×2	841	2378	520
A1×2	594	1682	736
A0	841	1189	652
B1	728	1030	753
A1	594	841	923
B2	515	728	1065
A2	420	594	1200
B3	364	515	1200
A3	297	420	1200
B4	257	364	1200
A4	210	297	1200

色/階調として【カラー 1677 万色】を選択し、データを圧縮しない場合

設定できる解像度の最大値は、読み取りサイズごとに異なります。

以下の表を参考にして解像度を設定してください。

読み取りサイズと最大解像度

読み取りサイズ	幅 (mm)	高さ (mm)	最大解像度 (dpi)
最大	914	8775	150
A0×2	841	2378	300
A1×2	594	1682	425
A0	841	1189	424
B1	728	1030	490
A1	594	841	601
B2	515	728	693
A2	420	594	850
B3	364	515	981
A3	297	420	1200
B4	257	364	1200
A4	210	297	1200

CD-ROM 収録ソフトウェア

CD-ROM に収録されているソフトウェアについて説明します。

オートランプログラムについて

オートランプログラムについて説明します。

Windows 2000/XP/Vista/7 および Windows Server 2003/2003 R2/2008/2008 R2 上で CD-ROM をクライアントコンピューターにセットすると、インストーラーが自動的に起動（オートラン）し、各種ソフトウェアのインストールを行うことができます。

補足

- ・ソフトウェアをインストールするときは、Administrators グループのユーザー アカウントを使用してください。
- ・OS の設定によってはオートランプログラムが起動しない場合があります。その場合は、CD-ROM のルートディレクトリにある「Setup.exe」を起動してください。
- ・オートランを無効にしたいときは、Shift キーを押しながら CD-ROM をセットし、クライアントコンピューターが CD-ROM をアクセスし終わるまで Shift キーを押したままにします。
- ・インストールの途中で【キャンセル】を押すと、以降のすべてのソフトウェアのインストールが中止されます。キャンセルした場合は、再起動後、残りのソフトウェアをインストールし直してください。

8

TWAIN ドライバー（スキャナードライバー）

TWAIN ドライバーのファイル格納場所と動作環境について説明します。

スキャナーから原稿を読み取るために必要なドライバーです。本機をネットワーク TWAIN スキャナーとして利用するためには、必ずインストールする必要があります。

ファイル格納場所

CD-ROM 内の次のフォルダーに格納されています。

¥DRIVERS¥TWAIN

動作環境

- ・コンピューター本体
対象 OS が問題なく動作する、PC/AT 互換機
- ・対象 OS
Microsoft Windows 2000 Professional 日本語版 SP1 以降
Microsoft Windows 2000 Server 日本語版 SP1 以降

Microsoft Windows 2000 Advanced Server 日本語版 SP1 以降

Microsoft Windows XP Professional/Home Edition 日本語版

Microsoft Windows Vista Ultimate/Enterprise/Business/Home Premium/Home Basic
日本語版

Microsoft Windows 7 Ultimate/Enterprise/Professional/Home Premium/Starter 日本
語版

Microsoft Windows Server 2003 Standard Edition/Enterprise Edition 日本語版

Microsoft Windows Server 2003 R2 Standard Edition/Enterprise Edition 日本語版

Microsoft Windows Server 2008 Standard/Enterprise 日本語版

- ディスプレイ

800×600 ドット 256 色以上

 **重要**

- TWAIN ドライバーは、64bitOS に対応していません。

送信/蓄積機能の各設定項目の値

送信/蓄積機能の各設定項目の値について説明します。

補足

- 文書や原稿の種類、設定などによっては、次に示す最大値まで宛先を指定したり、文字を入力したりできない場合があります。

送信機能

送信機能の設定項目の値について説明します。

メール送信

メール送信の設定項目の値について説明します。

メール送信時の設定項目の値

項目	数値	備考
件名の最大入力文字数	半角英数で 128 文字	-
本文の最大入力文字数	一覧からの選択時 400 文字 (80 文字×5 行) 直接入力時 80 文字	一覧からの選択と直接入力の組み合わせはできません。
メールアドレスの最大入力文字数	半角英数で 128 文字	LDAP サーバーから検索したメールアドレスで、文字数が半角英数で 128 文字を超えるものは、正しい宛先として指定できません。
一度に指定可能な宛先数	500 件	直接入力 (LDAP 検索指定を含む) をする場合は、100 件まで指定可能です。残りは登録されている宛先から 400 件以内で選択してください。
送信可能な文書サイズ	1 文書あたり最大 725.3MB	-
送信可能なページ数	1 文書あたり最大 1000 ページ	-

フォルダー送信

フォルダー送信の設定項目の値について説明します。

フォルダー送信時の設定項目の値

項目	数値	備考
SMB プロトコルでのパス名の最大入力文字数	半角英数で 256 文字	-
SMB プロトコルでのユーザー名の最大入力文字数	半角英数で 128 文字	-
SMB プロトコルでのパスワードの最大入力文字数	半角英数で 128 文字	-
FTP プロトコルでのサーバー名の最大入力文字数	半角英数で 64 文字	-
FTP プロトコルでのパス名の最大入力文字数	半角英数で 256 文字	-
FTP プロトコルでのユーザー名の最大入力文字数	半角英数で 64 文字	-
FTP プロトコルでのパスワードの最大入力文字数	半角英数で 64 文字	-
NCP プロトコルでのパス名の最大入力文字数	半角英数で 256 文字	-
NCP プロトコルでのユーザー名の最大入力文字数	半角英数で 128 文字	-
NCP プロトコルでのパスワードの最大入力文字数	半角英数で 64 文字	-
一度に指定可能な宛先数	50 件	直接入力をする場合も 50 件まで入力可能です。
送信可能サイズ	1 文書あたり 2000MB	-

同報送信

メール送信とフォルダー送信を同時に行うときの設定項目の値について説明します。

同報送信時の設定項目の値

項目	数値	備考
メール送信/フォルダー送信合わせて指定可能な宛先数	550 件	-
メール送信時に指定可能な宛先数	500 件	直接入力 (LDAP 検索指定を含む) をする場合は、100 件まで指定可能です。
フォルダー送信時に指定可能な宛先数	50 件	-

蓄積機能

蓄積機能の各設定項目の値について説明します。

文書蓄積時の設定項目の値

項目	数値	備考
文書名の最大入力文字数	半角英数で 64 文字	操作部の画面には先頭から半角英数で 16 文字分が表示されます。
ユーザー名の最大入力文字数	半角英数で 20 文字	操作部の画面には先頭から半角英数で 16 文字分が表示されます。
パスワードの最大入力文字数	4 ~ 8 行の数字	-
一度に選択可能な文書数	30 文書	-
蓄積可能な総文書数	最大 3000 文書	スキャナー機能だけでなく、コピー機能、ドキュメントボックス機能、プリンター機能を使用して蓄積した文書を含めた値です。
蓄積可能な総ページ数	最大 3000 ページ	スキャナー機能だけでなく、コピー機能、ドキュメントボックス機能、プリンター機能を使用して蓄積した文書を含めた値です。
蓄積可能な 1 文書あたりのページ数	最大 1000 ページ	-
蓄積可能サイズ	1 文書あたり 2000MB	-

仕様

スキャナーの仕様について説明します。

項目	仕様
形式	フルカラースキャナー
原稿読み取り方式	原稿搬送走査方式
イメージセンサーの種類	密着イメージセンサー
複写原稿	シート原稿
読み取り可能な原稿サイズ	縦 (210 ~ 30000 mm) × 横 (210 ~ 914 mm)
原稿読み取り速度	<ul style="list-style-type: none"> 白黒原稿読み取り時 150 dpi: 320 mm/秒 200 dpi: 240 mm/秒 300 dpi: 160 mm/秒 600 dpi: 80 mm/秒 1200 dpi: 40 mm/秒 グレースケール原稿読み取り時 150 dpi: 320 mm/秒 200 dpi: 240 mm/秒 300 dpi: 160 mm/秒 600 dpi: 80 mm/秒 1200 dpi: 40 mm/秒 フルカラー原稿読み取り時 150 dpi: 53.3 mm/秒 200 dpi: 40 mm/秒 300 dpi: 53.3 mm/秒 600 dpi: 26.7 mm/秒 1200 dpi: 13.3 mm/秒
階調	モノクロ: 2 階調 フルカラー/グレースケール: 256 階調
基本読み取り解像度	600 dpi
白黒 2 値の場合の画像圧縮形式	TIFF (MH、MR、MMR)
グレースケール/フルカラーの場合の画像圧縮形式	JPEG
インターフェース	<ul style="list-style-type: none"> 標準 イーサネット (100BASE-TX、10BASE-T) オプション ギガビットイーサネット (1000BASE-T、100BASE-TX、10BASE-T) IEEE 802.11a/b/g (無線 LAN)
ネットワーク接続時の使用プロトコル	TCP/IP

項目	仕様
メール送信時の読み取解像度（主走査×副走査）	150 dpi、200 dpi、300 dpi、400 dpi、600 dpi から指定可能
メール送信時の対応プロトコル	SMTP、POP3
メール送信時の出力フォーマット	TIFF、JPEG、PDF
フォルダー送信時の読み取解像度（主走査×副走査）	150 dpi、200 dpi、300 dpi、400 dpi、600 dpi から指定可能
フォルダー送信時の対応プロトコル	SMB、FTP、NCP
フォルダー送信時の出力フォーマット	TIFF、JPEG、PDF
ネットワーク TWAIN スキャナー使用時の読み取解像度（主走査×副走査）	150～1200 dpi の範囲で指定可能
ネットワーク TWAIN スキャナー使用時の対応プロトコル	TCP/IP
ネットワーク TWAIN スキャナーの対応 OS	Windows 2000/XP/Vista/7、Windows Server 2003/2003 R2/2008 (ネットワーク TWAIN スキャナーは、64bitOS に対応していません。)

リサイクル部品について

本製品には、新品と同一の当社品質基準に適合した、リサイクル部品を使用している場合があります。

商標

ドキュメントボックス、RPCS、RP-GL/2、RTIFF、RPDL は、株式会社リコーの商標または登録商標です。

Microsoft®、Windows®、Windows Server®、Windows Vista®は、米国 Microsoft Corporation の米国及びその他の国における登録商標または商標です。

Adobe、Acrobat、Acrobat Reader、Adobe Reader、PostScript は、Adobe Systems Incorporated (アドビ システムズ社) の米国ならびにその他の国における登録商標または商標です。

Mac OS は、米国および他の国々で登録された Apple Inc.の商標です。

NetWare®は、米国 Novell, Inc.の登録商標です。

- Windows 2000 の製品名は以下のとおりです。

Microsoft® Windows® 2000 Professional

Microsoft® Windows® 2000 Server

Microsoft® Windows® 2000 Advanced Server

- Windows XP の製品名は以下のとおりです。

Microsoft® Windows® XP Professional Edition

Microsoft® Windows® XP Home Edition

Microsoft® Windows® XP Media Center Edition

Microsoft® Windows® XP Tablet PC Edition

- Windows Vista の製品名は以下のとおりです。

Microsoft® Windows Vista® Ultimate

Microsoft® Windows Vista® Business

Microsoft® Windows Vista® Home Premium

Microsoft® Windows Vista® Home Basic

Microsoft® Windows Vista® Enterprise

- Windows 7 の製品名は以下のとおりです。

Microsoft® Windows 7® Home Premium

Microsoft® Windows 7® Professional

Microsoft® Windows 7® Ultimate

Microsoft® Windows 7® Enterprise

- Windows Server 2003 の製品名は以下のとおりです。

Microsoft® Windows Server® 2003 Standard Edition

Microsoft® Windows Server® 2003 Enterprise Edition

- Windows Server 2003 R2 の製品名は以下のとおりです。
Microsoft® Windows Server® 2003 R2 Standard Edition
Microsoft® Windows Server® 2003 R2 Enterprise Edition
- Windows Server 2008 の製品名は以下のとおりです。
Microsoft® Windows Server® 2008 Standard
Microsoft® Windows Server® 2008 Enterprise
- Windows Server 2008 R2 の製品名は以下のとおりです。
Microsoft® Windows Server® 2008 R2 Standard
Microsoft® Windows Server® 2008 R2 Enterprise
- その他の製品名、名称は各社の商標または登録商標です。

索引

アルファベット

Bindery	83, 85
CD-ROM	122, 174
FTP サーバー	58, 81
LDAP 検索	37
LDAP サーバー	21, 37
NCP	83, 85
NDS	83, 85
NetWare サーバー	59, 83, 85
PC からの読み取り要求禁止時間	159
PDF	143
PDF ファイル	
暗号化	147
権限変更パスワード	149
セキュリティー	147
SMB	78
SMB プロトコル	59
S/MIME	52
SMTP サーバー	21
TIFF	143
TIFF/JPEG	143
TWAIN スキャナー	119
概要	119
準備	120
操作手順	124
読み取りの設定	125
TWAIN ドライバー	122, 174
URL アドレス	55
Web Image Monitor	55, 104

あ

圧縮設定（グレースケール/フルカラー）	162
圧縮設定（白黒 2 値）	162
宛先検索	34, 37, 76
宛先検索対象	159
宛先登録	40, 41, 87, 88
宛先表一覧	32, 74
宛先表初期表示選択	159
宛先表見出し切り替え	159
宛先履歴	36, 86
宛先履歴消去	159
アドレス帳	
宛先履歴からメールアドレスを登録	41

送信先フォルダーの登録	66
送信先を選択	32, 74
送信者を選択	44
直接入力した宛先を登録	40
メールアドレスの登録	24

暗号化

PDF ファイル	147
メール	52

インストール

TWAIN 対応アプリケーション	122
TWAIN ドライバー	122

オートランプログラム

オプション	10
-------	----

か

解像度

解像度	128
-----	-----

解像度と読み取りサイズ

外部メディア	115
--------	-----

概要

TWAIN スキャナー	119
蓄積	91
フォルダー送信	57
メール送信	21
メディア保存	113

拡張無線 LAN ボード

確認画面	14
------	----

画面

確認画面	14
簡単画面	13
設定確認画面	14
送信結果表示/送信中止画面	17
蓄積文書一覧画面	98
フォルダー送信画面	67
プレビュー画面	15
メール送信画面	25

画面切り替え

フォルダー送信画面	73
メール送信画面	31

カラー 1677 万色

カラー 1677 万色	170
-------------	-----

カラー 8 色

カラー 8 色	170
---------	-----

カラー 8 色（写真）

カラー 8 色（写真）	170
-------------	-----

簡単画面

簡単画面	13
------	----

基本設定

基本設定	159
------	-----

共有フォルダー

共有フォルダー	57, 62, 65, 77
---------	----------------

グレースケール

グレースケール	128, 167
---------	----------

権限変更パスワード

権限変更パスワード	149
-----------	-----

原稿送り	138
原稿種類	128
原稿セット方向	125, 134, 138
原稿読み取り開始方法	20
件名	47
この本の読みかた	9

さ

最大解像度	167, 170
次原稿待機	137, 141
次原稿待機設定	137, 140, 161
システム初期設定	22, 60
TWAIN スキャナー	120
自動検知	129
自動濃度	136
受信確認	28
準備	
TWAIN スキャナー	120
フォルダー送信	59
メール送信	22
仕様	179
消去	108
使用説明書の紹介	6
商標	182
初期画面	156
初期設定	157
初期設定を終了する	158
初期設定を変更する	157
初期値として登録	156
署名	53
白黒 256 値 (グレースケール)	170
白黒 2 値 (写真)	170
白黒 2 値 (文字)	170
シングルページ	143
シングルページ番号桁設定	162
スキャナー機能	11
スキャナー初期設定	24, 61, 157
基本設定	159
送信設定	162
導入設定	165
読み取り設定	161
スキャナードライバー	174
制限 (ファイル形式)	144
セキュリティー	
PDF ファイル	147

メール	52
接続確認	22, 60, 120
設定確認画面	14
設定項目の値	176
蓄積機能	178
同報送信	177
フォルダー送信	176
メール送信	176

操作手順

TWAIN スキャナー	124
蓄積	93
フォルダー送信	70
メール送信	28
メディアに保存	115
送信結果表示/送信中止画面	17
送信先 (フォルダー)	74
FTP サーバー	81
NetWare サーバー	83
宛先表一覧から選択	74
宛先履歴	86
アドレス帳から選択	74, 76
アドレス帳に登録	87, 88
共有フォルダー	77
直接入力	78
登録番号を入力して選択	75
ネットワーク参照	79
送信先 (メール)	32
LDAP サーバーから検索	37
宛先表一覧から選択	32
宛先履歴	36
アドレス帳から検索	34
直接入力	35
登録番号を入力して選択	33
送信者 (メール)	43
アドレス帳から検索	44
送信者一覧から選択	43
登録番号を入力して選択	44
送信設定	162
送信メールサイズ制限	162
送信履歴印刷	159
送信履歴消去	159
送信履歴満杯時印刷設定	159

た

蓄積	50, 90, 91
蓄積文書	
Web Image Monitor で表示	104

一覧画面	98	準備	59
一覧画面から確認	102	操作手順	70
確認	102	フォルダー送信画面	67, 73
管理	108	複数枚の原稿を 1 つの文書として読み取る	140
クライアントコンピューターから確認	104	不定形サイズ	129, 130
検索	99	原稿セット方向	134
消去	108	原稿の一部分を読み取る	132
送信	106	原稿の全面を読み取る	130
パスワード	96	縦と横の長さを指定する	131
パスワード変更	111	縦の長さを自動検知	130
文書情報	95	プレビュー画面	15
文書名	95	プログラム	152
文書名検索	100	消去する	154
文書名変更	110	登録する	152
変更	109	登録内容を変更する	153
ユーザー名	95	登録名称を変更する	154
ユーザー名検索	99	呼び出す	153
ユーザー名変更	109	文書情報	95
蓄積文書暗号化カード	10	文書蓄積	50, 90, 91, 93, 115
蓄積文書メール内容	162	文書名	95
注意事項 (ファイル形式)	144	文書名検索	100
直接入力	78	文書名変更	110
FTP サーバー	81	編集	129
NetWare サーバー	83	本体に蓄積	93
NetWare サーバー参照	85	本体に蓄積+送信	50, 90
本文	49	本文	48
メールアドレス	35	一覧から選択	48
定形サイズ	129	直接入力	49
導入設定	165		
登録番号	25, 33, 75		
登録番号指定	44		
な			
ネットワーク環境への接続	22, 60, 120	ま	
ネットワーク参照	79		
濃度調整	136	マーク	9
は		マルチページ	143
パスワード	96	ミラー	129
パスワード変更	111	無線 LAN ボード	10
反転	129	メールアドレスの登録	24
ファイル形式を設定する	143	メールサイズ制限オーバー時分割	162
ファイル名の連番の開始番号を変更する	146	メール送信	21, 28
ファイル名を設定する	143, 145	URL アドレス	55
フォルダー送信	57	準備	22
概要	57	セキュリティー	52

メディア保存.....	113
メニュー/プロジェクト設定.....	165

や

ユーザー名.....	95
ユーザー名検索.....	99
ユーザー名変更.....	109
優先本体宛先表.....	159
読み取りサイズ.....	129
読み取りサイズと最大解像度.....	167, 170
読み取り条件.....	127, 128
読み取り設定.....	161
読み取り速度.....	179

わ

枠消去.....	129
----------	-----

使用説明書 〈スキャナー機能編〉

